

薬剤師のための

アンチ・ドーピング ガイドブック

2018 年版

作 成

日本薬剤師会

日本スポーツ協会(スポーツ医・科学専門委員会 アンチ・ドーピング部会)

協 力

福井県薬剤師会

問い合わせ対応手順

本書は、使用可能薬を一般用医薬品等・医療用医薬品に分け、さらにそれぞれ薬効群別に細分しており、使用可能薬を探す上で利便性の高いものとなっています。一方、ある医薬品が使用できるのかできないのかは、索引を使うことで手軽に検索することが出来ます。本書の使用に慣れるまでは、下記のような流れでの検索をお勧めします。

選手・コーチ等からドーピング禁止薬に関する質問を受けた場合には、まず本書の『索引(使用可能薬リスト掲載医薬品の一覧表(50音順))』を開き、該当の医薬品名があるかどうかをご確認ください。後発医薬品の場合には、先発品の販売名か一般名で検索して下さい。



索引に該当の医薬品がある場合には、そのページの内容や注意をご確認の上、質問者にご回答下さい。



索引に該当の医薬品がない場合には、本書第2章の『2018年WADA禁止表掲載のドーピング禁止物質の作用と医薬品例』(色付きページ)で、該当の医薬品が禁止物質に該当するかどうかをご確認下さい。成分が禁止リストに掲載されていた場合には、使用不可の旨をご回答下さい。

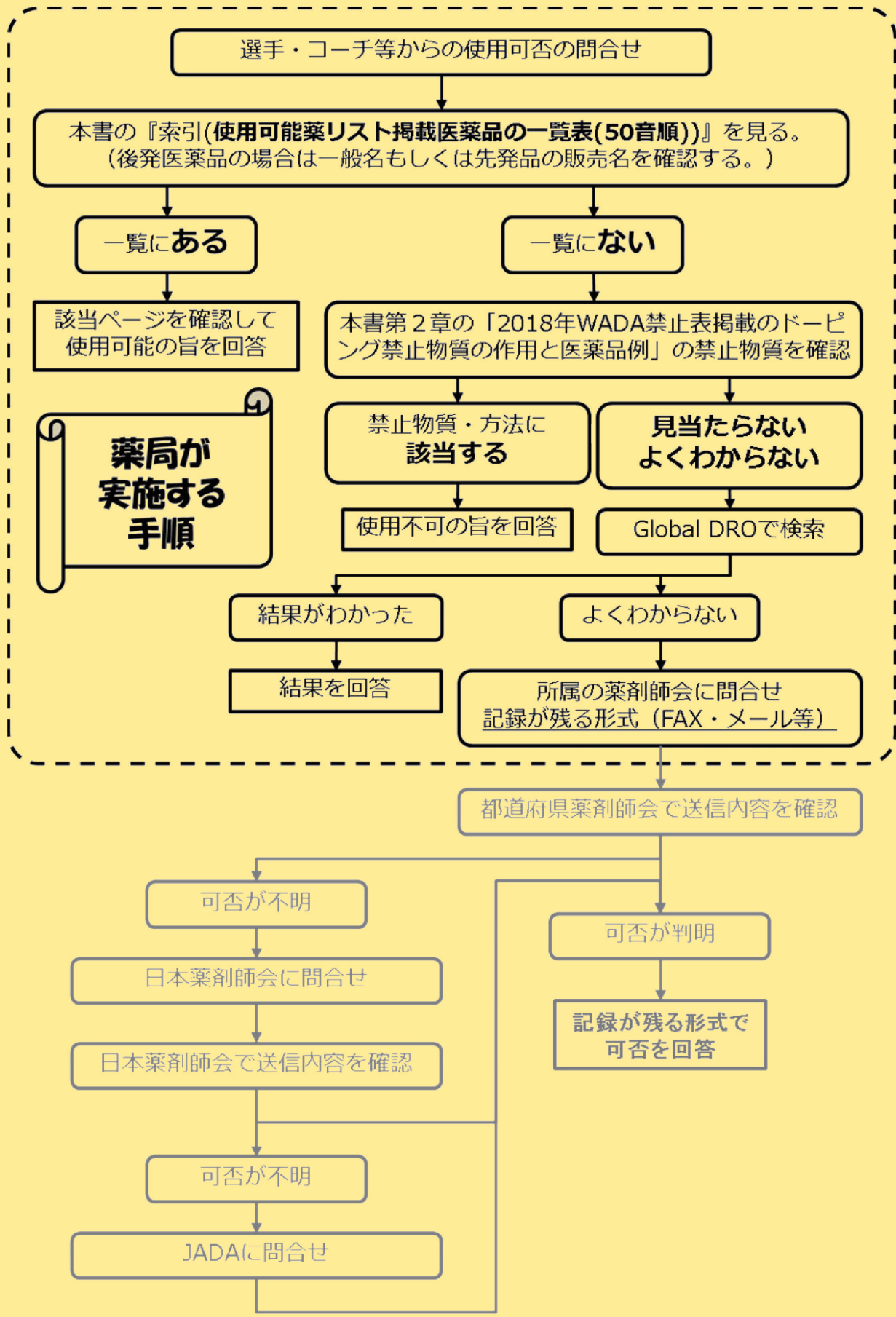


該当の医薬品が索引にも禁止リストにも掲載されていない場合、『薬剤師会ホットライン用問合せ用紙』等を利用して、所属の都道府県薬剤師会ホットライン宛に記録に残る形(FAX・メール等)でお問い合わせ下さい。



お問い合わせ受付後、都道府県薬剤師会は、医薬品の内容を確認して、使用の可否が判明した場合には、出来るだけ速やかにご回答致します。

なお、医薬品の内容によっては、都道府県薬剤師会から、本会、さらに、日本アンチ・ドーピング機構(JADA)への問合せを実施致します関係上、回答にお時間がかかることがありますので、ご了承下さい。



序

ドーピングは、公正さを基本とするスポーツ競技において重大なルール違反であるというだけでなく、選手の健康そのものにも影響を及ぼす可能性のある危険な行為であり、世界的にも注目を集めている問題です。また、医薬品の供給を担う薬剤師として、医薬品の適正使用という観点からもドーピングは看過できるものではなく、アンチ・ドーピング活動への貢献は薬剤師にとって非常に重要な役割であると考えております。

その一方で、薬物の力を借りて競技力を向上するという明確な目的をもって、不正に禁止物質を使用したわけではないものの、不注意から市販のかぜ薬等を服用した結果、ドーピング陽性と判定されることが危惧されます。例えば、興奮薬としてその使用が禁止されるメチルエフェドリンを含むかぜ薬が数多く市販されています。スポーツドクター等の支援が十分受けられない選手の中には、自分でこのような製品を購入し、使用してしまった事例も報告されています。このような「うっかりドーピング」を未然に防止するうえで、地域で医薬品の提供に関わっている薬剤師の活用は、極めて効果的な手段と言えるでしょう。2003年の静岡国体における静岡県薬剤師会の活動を受けて開始した日本薬剤師会のアンチ・ドーピング活動も、今年で15年目に入りました。この間に開催された国体においては、開催地の薬剤師会並びに薬剤師の皆様のご尽力により、関係団体からもその活動について高い評価を受けており、アンチ・ドーピング活動における薬剤師の存在感と期待感は、年を重ねるごとに確実に高まってきております。こうした地道で弛まぬ活動は、本年の国体開催県である福井県にも引き継がれ、薬剤師の新たな職能として更なる浸透が図られるものと期待しております。

一方、(公財)日本アンチ・ドーピング機構(JADA)が立ち上げ、本会も協力する「公認スポーツファーマシスト認定制度」もすでに10年目を迎えました。競技者等からのドーピングに関する相談に応じ、医薬品及びスポーツに関する知識に基づき適切なアドバイスを行うことで、競技者が安心して医薬品を購入、使用できる手助けを行うスポーツファーマシストには、各界から大きな期待が寄せられております。引き続き本制度がより効果的に運用されるよう、本会も協力していく所存です。

昨年、2020年の東京五輪・パラリンピックに向けて、ドーピング防止法案が超党派のスポーツ議員連盟の会合で了承されました。現在、国会での審議に向けた調整が続けられています。同法案では、不正な目的で禁止物質を使用することや、それを手助けすることを違法とし、トップアスリートのみならず、国体などの全国大会に出場する選手や指導者らも対象とされているとのこと。このようにアンチ・ドーピングに向けた活動がますます推進される流れのなかで、医薬品の専門家である薬剤師に寄せられる期待やアンチ・ドーピング活動の分野における存在は、今後ますます必要不可欠なものになると考えられます。また、世界各国では青少年のドーピングが問題となっている中で、学校教育の現場で実施されている医薬品の適正使用の教育・啓発や薬物乱用防止活動などとともに、薬剤師によるアンチ・ドーピング教育・啓発活動は非常に重要な任務と言えます。

本書は、アンチ・ドーピング活動の一貫として、日本スポーツ協会スポーツ医・科学専門委員会アンチ・ドーピング部会からご提供いただいた情報に基づいて、2004年より作成しており、薬剤師のアンチ・ドーピング活動の参考書として多くの方から高い評価をいただいております。本書が、薬局をはじめとする幅広い場所で積極的に活用され、健全なスポーツ競技の実現を目指す多くの方々の医薬品適正使用に貢献することを願っております。

末筆ながら、本書の作成作業に格別のご協力を賜りました、日本薬剤師会アンチ・ドーピング委員会委員諸氏並びに情報の提供をご快諾下さった日本スポーツ協会スポーツ医・科学専門委員会アンチ・ドーピング部会の皆様、福井県薬剤師会、愛媛県薬剤師会の皆様のご労苦に、心より厚く御礼を申し上げます。

2018年6月

公益社団法人日本薬剤師会

会長 山本 信夫

発刊によせて

世界アンチ・ドーピング機構(WADA)の禁止物質リスト(禁止表)2018年改訂に伴い、このたび「薬剤師のためのアンチ・ドーピングガイドブック 2018年版」が発刊されました。このガイドブックは、2003年国民体育大会にドーピング検査が導入されたことを機に、日本薬剤師会、国民体育大会開催都道府県の薬剤師会と日本スポーツ協会(旧日本体育協会)アンチ・ドーピング部会が共同で2004年から毎年作成してきたもので、今回で15年目となります。関係者の方々のご努力に敬意を表したいと思います。

この1年間における最大のスポーツイベントは2~3月に開催された平昌冬季オリンピック・パラリンピック大会でした。平昌オリンピックでは日本選手が大活躍、金メダル4個、銀5個、銅4個、総メダル13個と冬季オリンピックとしては最多のメダルを獲得し、日本中が喜びに沸きました。特に、けがを克服して2大会連続の金メダルを獲得したフィギアスケートの羽生結弦選手、スピードスケート女子で初の金メダルを獲得した小平奈緒選手の活躍と立派な態度には多くの国民が感動しました。

平昌大会でもドーピング問題が影を落としていました。リオ大会前に指摘されたロシアの国ぐるみのドーピングとその隠蔽に対して国際オリンピック委員会はロシア選手団としての参加は認めず、認められた選手のみOAR(Olympic Athlete from Russia)として個人資格での参加を許可しました。一方、国際パラリンピック委員会はロシア選手の参加を認めませんでした。2020年東京大会までの決着が望まれます。

WADAの報告書によると平昌オリンピックでは、参加選手2,963名のうち1,615名(55%)に対して3,189回の検査が実施されました。日本選手は124名が参加しましたが、受けたドーピング検査は110回で、1人で何回ものドーピング検査を受けた選手もいました。その中でショートトラックリレーの控え選手からアセタゾラムドが検出され、陽性とされたのは残念なことでした。本人は否定しましたが、一時資格停止は受け入れ、大会後にヒアリングを受けることになりました。意図的なドーピングでないこと証明するためには、どのようにして体内に入ったかを証明しなければなりません。本人は心当たりがないと主張しており、どのような判断が下されるか注目されます。冬季オリンピックで日本人選手がドーピング検査で陽性になったのは初めてでしたが、夏季オリンピックではロスアンゼルスオリンピックで2件の陽性がありました。1例は葛根湯を服用してエフェドリンが検出された例です。もう1例はテストステロン/エピテストステロンの比が高いとされたものですが、後日、体質によるものでありドーピングではないことが分かりました。

国内では、海外製サプリメントを服用してドーピング検査で陽性とされる例が相次いでいます。2016年の国体で自転車選手が陽性だったことが昨年公表されましたが、これも海外製サプリメントによるものでした。また、カヌー選手が他の選手の飲料に禁止物質を混入するというショックな事件がおき、スポーツマンシップがあらためて問われました。

国体で陽性となったのは2003年にドーピング検査を開始してから初めてのことでした。残念なことではありましたが、これまで長い間陽性例がなかったことは、関係者の努力の賜物だったと思います。今後、さらにアンチ・ドーピングの啓発を強化する必要があります。2020年に向けて、薬剤師会の方々のさらなるスポーツ界への貢献を期待します。

公益財団法人日本スポーツ協会 アンチ・ドーピング部会
部会長 川原 貴

目次

1. 本書について.....	1
2. 2018年WADA禁止表掲載のドーピング禁止物質の作用と医薬品例.....	4
3. 2018年WADA禁止表 主要な変更の要約と注釈.....	22
4. 特に気をつけたい要指導医薬品・一般用医薬品と健康食品・サプリメント.....	25
5. 使用可能薬リスト 2018年版 / 要指導医薬品・一般用医薬品: OTC DRUGS etc.....	28
(1) 解熱鎮痛薬.....	28
(2) 解熱鎮痛薬【坐剤】.....	29
(3) 総合感冒薬.....	29
(4) 鎮咳・去痰薬.....	30
(5) 鎮咳・去痰薬【トローチ/ドロップ】.....	30
(6) 胃腸薬.....	31
(7) 消化薬.....	32
(8) 便秘治療薬.....	32
(9) 整腸薬・下痢止め.....	33
(10) アレルギー用薬(鼻炎内服薬を含む).....	33
(11) 点鼻薬.....	34
(12) 吐き気・乗り物酔い予防薬.....	35
(13) 催眠・鎮静薬.....	35
(14) 鉄欠乏性貧血用薬.....	35
(15) 痔疾用薬.....	36
(16) 女性用薬(膣カンジダ関連薬).....	36
(17) 目薬.....	36
(18) うがい薬・口腔内用薬.....	38
(19) 皮膚外用薬.....	39
6. 使用可能薬リスト 2018年版 / 医療用医薬品: ETHICAL DRUGS.....	42
(1) 解熱・鎮痛・抗炎症薬.....	42
(2) 中枢性筋弛緩薬.....	44
(3) 鎮咳・去痰薬.....	44
(4) 気管支拡張薬・喘息・COPD治療薬.....	45
(5) アレルギー治療薬.....	46
(6) 抗めまい薬(乗り物酔い予防).....	47
(7) 胃腸薬.....	48
(8) 消化酵素.....	49
(9) 便秘治療薬.....	49
(10) 止痢・整腸薬.....	50
(11) 頻尿・過活動膀胱治療薬.....	51
(12) 前立腺肥大治療薬.....	51
(13) 肝疾患治療薬.....	51
(14) 高脂血症用薬.....	52
(15) 血圧降下薬.....	52
(16) 抗狭心薬.....	54

(17) 催眠・鎮静・抗不安薬	54
(18) 抗精神病薬(悪心・嘔吐)	55
(19) 抗うつ薬	56
(20) 抗てんかん薬	56
(21) 自律神経系作用薬	57
(22) 鉄欠乏性貧血薬	57
(23) 痛風・高尿酸血症治療薬	57
(24) 糖尿病用薬	58
(25) 抗菌薬・抗生物質	59
(26) 化学療法剤	60
(27) 抗真菌薬	61
(28) 抗ウイルス薬	61
(29) ワクチン(保険適用外)	62
(30) 甲状腺疾患治療薬	62
(31) 経口避妊薬(保険適用外)	62
(32) 卵胞、黄体、混合ホルモン	63
(33) 痔疾用薬	63
(34) 耳鼻咽喉科用薬	64
(35) 眼科用薬	64
(36) 口腔用薬	66
(37) 皮膚外用薬	66
(38) 消毒薬	68
7. 歯科領域で汎用される医療用医薬品 2018 年版	69
8. 使用可能薬リスト 2018 年版 携帯用	75
9. よくある質問	78
10. 問い合わせ対応手順	81
11. 薬剤師会アンチ・ドーピングホットライン	83
12. 索引(使用可能薬リスト掲載医薬品の一覧表(50音順))	85

1. 本書について

(1) 作成の経緯

2003年静岡県で開催された「NEW!!わかふじ国体」から国体におけるドーピング検査が初めて行なわれました。ドーピングとは競技能力を高めるために薬物などを使用することで、健全なスポーツの発展を妨げる「ずるく」「危険」な行為です。その一方で、故意に使用した訳ではなく、不注意のうっかりミスで検査にひっかかってしまう場合もあります。市販されている風邪薬や胃腸薬等には禁止物質を含むものが少なくなく、「風邪気味だから」、「胃が痛いから」などと安易に使用してアンチ・ドーピング規則違反と判断され、その結果、重い罰則が科せられてしまうことがあります。

このような『うっかりドーピング』を防ぐため、静岡県薬剤師会は、2003年に『薬局におけるアンチ・ドーピングガイドブック』を作成し、アンチ・ドーピング活動を行ないました。翌年、日本薬剤師会は「アンチ・ドーピングに関する特別委員会」を設置し、2004年「彩の国まごころ国体」、2005年「晴れの国おかやま国体」、2006年「のじぎく兵庫国体」、2007年「秋田わか杉国体」、2008年「チャレンジ！おおい国体」、2009年「トキめき新潟国体」、2010年「ゆめ半島千葉国体」、2011年「おいでませ！山口国体」、2012年「ぎふ清流国体」、2013年「スポーツ祭東京2013」、2014年「長崎がんばらんば国体」、2015年「2015紀の国わかやま国体」、2016年「希望郷いわて国体」、2017年「愛(え)顔(がお)つなぐえひめ国体」に合わせ「薬剤師のためのアンチ・ドーピングガイドブック」を毎年作成し、そして、今年「福井しあわせ元気国体」をモデル事業と位置付け、2018年版「薬剤師のためのアンチ・ドーピングガイドブック」が出来上がりました。

(2) 2018年禁止表について

国際レベルのあらゆるスポーツにおけるドーピング行為は1999年に設立された世界アンチ・ドーピング機構(WADA)が監視しています。2004年1月1日、これまでのオリンピックムーブメントドーピング防止規程(OMADC)に代わり、スポーツ界の統一規則として、WADAが世界アンチ・ドーピング規程(WADA code)を発効し、2009年1月1日、2015年1月1日に改訂し、禁止される薬物は、この国際基準の禁止表が利用されています。

禁止表は毎年改訂され、「福井しあわせ元気国体」では、2018年1月1日に発効した禁止表が適用されます。

禁止表の改訂に伴う留意すべき主なポイントを下記に示します。なお、禁止表の変更点は本書第3章の他、JADAのウェブサイト(<http://www.playtruejapan.org/>)に掲載されています。

●2018年禁止表改訂に伴う留意すべき主なポイント

1. S3.ベータ作用薬の例として、ツロブテロール(ホクナリンテープ)が追加された。
2. グリセロールが禁止表から除外された。
3. 静脈内投与の許容量とタイミングが、6時間あたり50mLを超える点滴から、12時間あたり計100mLを超える点滴へ変更した。なお、無床診療所での静脈内注入および/または静脈注射で、12時間あたり計100mLを超える場合はTUEが必要となる。
4. アルコールが禁止表から除外されたが、アルコール使用がスポーツのインテグリティや安全性を損なうものではなく、むしろこれらのスポーツにおいてアルコール使用を禁止する他の手段を是認するもの。

○治療使用特例(TUE)の提出について

禁止物質であっても治療目的であれば、所定の手続きによって使用が認められることがあります(「治療使用特例(TUE)」)。手続きの詳細は、日本アンチ・ドーピング機構(JADA)のウェブサイトをご参照ください。<http://www.realchampion.jp/process/tue>

(3) 本書の使い方

「薬剤師のためのアンチ・ドーピングガイドブック」には、「使用可能薬リスト(一般用医薬品 19 薬効群)」、「使用可能薬リスト(医療用医薬品 38 薬効群)」だけでなく、「2018 年 WADA 禁止表掲載のドーピング禁止物質の作用と医薬品例」、「特に気をつけたい市販の要指導医薬品・一般用医薬品と健康食品・サプリメント」、「よくある質問」、「薬剤師会アンチ・ドーピングホットライン」等を掲載し薬局店頭において常時使用できるようにしました。

医薬品が使用可能であるかを判断する場合には、まず、索引にて成分名や販売名を探します。

○索引の一覧表に掲載がある場合

まず、該当ページの一般用医薬品、または医療用医薬品の「はじめに」を読みます。次に、薬効群別に掲載してある四角に囲まれた(注意)を読み、〈使用可能薬例〉の表の中から成分名や販売名を確認します。

○索引の一覧表に掲載がない場合

「索引に掲載されていないから使用可能薬ではない」という訳ではありません。すべての使用可能薬を掲載しているのではないので、まず、禁止物質に該当しないかを禁止表にて確認し、該当しない、もしくはわからない場合は、最寄りの薬剤師会ホットラインにご確認ください。使用可能の可否に迷ったり、不明な点がある場合も、決して、安易な判断はしないでください。

なお、本書中程の色付きののページは、2018 年 WADA 禁止表と禁止医薬品の例、特に気をつけたい一般用医薬品(禁止薬物を含む製品)などが掲載されております。この部分には禁止医薬品が多く掲載されておりますので、間違えないように特にご注意下さい！！

(4) 最後に

ドーピングは医薬品集等に掲載されている薬効ではなく、いわゆる薬の裏の作用を期待し、また、毎年禁止表は発効されるため、とてもわかりにくくなっています。しかし、「薬剤師のためのアンチ・ドーピングガイドブック」は「使用可能薬を探す」ことを目的に、販売名と薬効別の販売上の注意を記載してあり、単に薬の使用可否だけでなく、なぜ使用禁止なのかを薬理作用から考えることができ、薬剤師としての利用価値は高くなっています。薬局等における薬剤師の先生方は、日頃の業務の一環として『うっかりドーピング』の防止に取り組むことができます。

2009 年から公認スポーツファーマシスト制度が始まりました。その知識も学び、国体だけでなく、2020 年東京オリンピックに向け、これまでのような安全使用の確保とは視点を異にした活動を行い、また、運動生理に基づいた身体の仕組み、運動の効果及び運動指導方法を習得し、運動支援ができる薬剤師としてスポーツ界はもとより、一般社会に対しても薬剤師の新職能として貢献していただければと期待します。

日本薬剤師会 アンチ・ドーピング委員会
「薬剤師のためのアンチ・ドーピングガイドブック」作成
ワーキンググループ委員 大石順子

文献

- 1) The World Anti-Doping Agency : 2015 World Anti-Doping Code
- 2) The World Anti-Doping Agency : The 2018 Prohibited List
- 3) アンチ・ドーピング活動と薬剤師, 日本薬剤師会雑誌, 56, 959-961(2004)
- 4) スポーツファーマシスト <https://www.sp.playtruejapan.org/>

● スポーツファーマシスト

最新のアンチ・ドーピング規則に関する正確な情報・知識を持ち、競技者を含めたスポーツ愛好家などに対し、薬の正しい使い方の指導、薬に関する健康教育などの普及・啓発を行う JADA 公認の薬剤師。

スポーツファーマシスト検索

<http://www3.playtruejapan.org/sports-pharmacist/search.php>

Sports Pharmacist スポーツファーマシスト | フライバシーポリシー | よくある質問 | お問い合わせ |

お薬に関するお問い合わせは
全国のスポーツファーマシストがお答えします。

■マップから絞り込み



■住所から絞り込み

都道府県: 都道府県を選択 ▼ 郵便番号:
(ハイフン不要)

住所入力:
入力例: 渋谷区 等

■勤務先名で絞り込み

入力例: ○○薬局 等

業種:

病院・診療所勤務 薬局勤務
 ドラッグストア勤務 製薬企業勤務
 大学勤務 その他

■その他で絞り込み

土・日/祝日 対応可 夜間対応可(17時～)
 学校薬剤師 英語対応可
 手話通訳可

※認定スポーツファーマシストのうち、依頼掲載にご賛同いただいた方のみ掲載しています。※本ページを営業や勧誘等の営利目的で利用することはご遠慮ください。※検索して得た依頼の転用・転載を禁止します。※掲載内容に関する責任は掲載者にあります。いかなる場合もスポーツファーマシスト事務局では責任を負いかねますので、予めご了承ください。※本ページに関するお問い合わせはこちらから

検索

2. 2018年WADA禁止表掲載のドーピング禁止物質の作用と医薬品例

WADA 禁止表では、大会中に実施する「競技会検査」および不定期に実施する「競技会外検査」の対象となる物質を2つに分類しており、「競技会検査」ではすべての禁止物質、禁止方法が対象となります(下表)。

さらに「禁止物質」、「禁止方法」、「特定競技において禁止される物質」について、具体的かつ詳細に規定しています。

また、すべての禁止物質は、S1,S2,S4.4,S4.5,S6.a および禁止方法 M1,M2 および M3 を除き、「特定物質」として扱われます。特定物質は、いかなる意味においても、その他のドーピング物質と比べ重要性が低い、又は危険性が低いと判断されるべきではありません。むしろ、これらの物質は、単に、競技力向上以外の目的のために競技者により摂取される可能性が高いというに過ぎないものです。

WADA禁止表(2018年)	
常に禁止される物質と方法 (競技会(時)及び競技会外)	競技会検査で禁止される 物質と方法
[禁止物質] S0. 無承認物質 S1. 蛋白同化薬 S2. ペプチドホルモン,成長因子,関連物質および模倣物質 S3. ベータ2作用薬 S4. ホルモン調節薬および代謝調節薬 S5. 利尿薬および隠蔽薬 [禁止方法] M1. 血液および血液成分の操作 M2. 化学的および物理的操作 M3. 遺伝子ドーピング	[禁止物質] S6. 興奮薬 a.特定物質でない興奮薬 b.特定物質である興奮薬 S7. 麻薬 S8. カンナビノイド S9. 糖質コルチコイド 特定競技において禁止される 物質 P1. ベータ遮断薬
S1, S2, S4.4,S4.5, S6.a, M1, M2, M3以外は「特定物質」	

この他にも、WADA は、禁止物質ではありませんが、スポーツにおける濫用の動向を把握する目的で調査対象とする物質を「監視プログラム」として定めています。

I. 常に禁止される物質と方法(競技会(時)および競技会外)

[禁止物質]

S0. 無承認物質

禁止表の以下のどのセクションにも対応せず、人体への治療目的使用が現在どの政府保健医療当局でも承認されていない薬物(例えば、前臨床段階、臨床開発中、あるいは臨床開発が中止になった薬物、デザイナードラッグ、動物への使用のみが承認されている物質)は常に(競技会(時)および競技会外)禁止される。

Q. 動物用薬でもその成分が人体への使用が認められている製剤の場合は「S0.無承認物質」には該当しませんが、その場合、人体への使用は可能ですか？(例：ヒト用軟膏と同じ成分が入っている馬用軟膏をヒトが使用)

A. 動物用薬は、ドーピングとは関係なく、人体への使用が禁止されています。

S1. 蛋白同化薬

蛋白同化薬は禁止される。

1. 蛋白同化男性化ステロイド薬(AAS)

a. 外因性 * AAS: 例として以下の物質(下表①)がある。
および類似の化学構造又は類似の生物学的効果を有するもの。

b. 外因的に投与した場合の内因性 ** AAS: (下表②)
および以下の代謝物と異性体が含まれるが、これらに限定するものではない:

3β	3β-ヒドロキシ-5α-アンドロスタン-17-オン
5α	5α-アンドロスタ-2-エン-17-オン
	5α-アンドロスタン-3α, 17α-ジオール
	5α-アンドロスタン-3α, 17β-ジオール
	5α-アンドロスタン-3β, 17α-ジオール
	5α-アンドロスタン-3β, 17β-ジオール
5β	5β-アンドロスタン-3α, 17β-ジオール
7α	7α-ヒドロキシ-DHEA
7β	7β-ヒドロキシ-DHEA
4	4-アンドロステンジオール(アンドロスタ-4-エン-3β, 17β-ジオール)
5	5-アンドロステンジオン(アンドロスタ-5-エン-3, 17-ジオン)
7	7-ケト-DHEA
19	19-ノルアンドロステロン
	19-ノルエチオコラノロン
A	アンドロスタ-4-エン-3α, 17α-ジオール
	アンドロスタ-4-エン-3α, 17β-ジオール
	アンドロスタ-4-エン-3β, 17α-ジオール
	アンドロスタ-5-エン-3α, 17α-ジオール
	アンドロスタ-5-エン-3α, 17β-ジオール
	アンドロスタ-5-エン-3β, 17α-ジオール
	アンドロステロン
E	エピジヒドロテストステロン
	エピテストステロン
	エチオコラノロン

2. その他の蛋白同化薬

以下の物質(下表③)が禁止されるが、これらに限定されるものではない:

このセクションにおいて:

*「外因性(exogenous)」とは、通常、体内で自然につくられない物質に対して用いる。

**「内因性(endogenous)」とは、通常、体内で自然につくられる物質に対して用いる。

①外因性 AAS の禁止医薬品例

	成分名	販売名(メーカー)
1-A	1-アンドロステンジオール(5α-アンドロスタ-1-エン-3β, 17β-ジオール)	—
	1-アンドロステンジオン(5α-アンドロスタ-1-エン-3, 17-ジオン)	—
	1-アンドロステロン(3α-ヒドロキシ-5α-アンドロスタ-1-エン-17-オン)	—
1-T	1-テストステロン(17β-ヒドロキシ-5α-アンドロスタ-1-エン-3-オン)	—

4	4-ヒドロキシテストステロン(4, 17 β -ジヒドロキシアンドロスタ-4-エン-3-オン)	—
B	ボランジオール(エストラ-4-エン-3 β , 17 β -ジオール)	—
	ボラステロン	—
C	カルステロン	—
	クロステボール	—
D	ダナゾール([1, 2]オキサゾロ[4', 5':2, 3]プレグナ-4-エン-20-イン-17 α -オール)	ボンゾール(田辺三菱):子宮内膜症・乳腺症治療薬
	デヒドロクロロメチルテストステロン(4-クロロ-17 β -ヒドロキシ-17 α -メチルアンドロスタ-1, 4-ジエン-3-オン)	—
	デスオキシメチルテストステロン(17 α -メチル-5 α -アンドロスタ-2-エン-17 β -オール)	—
	ドロスタノロン	—
E	エチルエストレノール(19-ノルプレグナ-4-エン-17 α -オール)	—
F	フルオキシメステロン	—
	ホルメボロン	—
	フラザボール(17 α -メチル[1, 2, 5]オキサジアゾロ[3', 4':2, 3]-5 α -アンドロスタ-17 β -オール)	—
G	ゲストリノン	—
M	メスタノロン	—
	メステロロン	—
	メタンジエノン(17 β -ヒドロキシ-17 α -メチルアンドロスタ-1, 4-ジエン-3-オン)	—
	メテノロン	プリモボラン(バイエル)他:蛋白同化ホルモン
	メタンドリオール	—
	メタステロン(17 β -ヒドロキシ-2 α , 17 α -ジメチル-5 α -アンドロスタ-3-オン)	—
	メチルジエノロン(17 β -ヒドロキシ-17 α -メチルエストラ-4, 9-ジエン-3-オン)	—
	メチル-1-テストステロン(17 β -ヒドロキシ-17 α -メチル-5 α -アンドロスタ-1-エン-3-オン)	—
	メチルノルテストステロン(17 β -ヒドロキシ-17 α -メチルエストラ-4-エン-3-オン)	—
	メチルテストステロン	エナルモン錠(あすか-武田)、OTC:男性ホルモン製剤
	メトリボロン(メチルトリエノロン、17 β -ヒドロキシ-17 α -メチルエストラ-4, 9, 11-トリエン-3-オン)	—
	ミボレロン	—
N	ノルボレトン	—
	ノルクロステボール	—
	ノルエタンドロロン	—
O	オキサボロン	—
	オキサンドロロン	—
	オキシメステロン	—
	オキシメトロン	—
P	プロスタノゾール(17 β -[(テトラヒドロピラン-2-イル)オキシ]-1'-H-ピラゾロ[3', 4':2, 3]-5 α -アンドロスタ)	—
Q	キンボロン	—
S	スタノゾロール	—
	ステンボロン	—

T	テトラヒドロゲストリノン(17-ヒドロキシ-18 α - ホモ-19-ノル-17 α -プレグナ-4, 9,11-トリエン-3-オン)	—
	トレンボロン(17 β -ヒドロキシエストラ-4, 9, 11-トリ エン-3-オン)	—

②外因的に投与した場合の内因性 AAS の禁止医薬品例

	成分名	販売名(メーカー)
19	19-ノルアンドロステンジオール(エストラ -4-エン-3, 17-ジオール)	—
	19-ノルアンドロステンジオン(エストラ -4-エン-3, 17-ジオン)	—
A	アンドロスタノロン(5 α -ジヒドロテストステロ ン、17 β -ヒドロキシ-5 α -アンドロスタン-3-オン)	—
	アンドロステンジオール(アンドロスタ-5-エ ン-3 β , 17 β -ジオール)	—
	アンドロステンジオン(アンドロスタ-4-エン -3, 17-ジオン)	—
B	ボルデノン	—
	ボルジオン(アンドロスタ-1, 4-ジエン-3, 17-ジ オン)	—
N	ナンドロロン(19-ノルテストステロン)	—
P	プラステロン(デヒドロエピアンドロステロン、 DHEA、3 β -ヒドロキシアンドロスタ-5-エン-17-オ ン)	レボスパ静注用(コーアイセイ-ポーラ):子宮頸管熟化薬
T	テストステロン	エナルモン注(あすか-武田)他、OTC:男性ホルモン製剤

③その他の蛋白同化薬の禁止医薬品例

成分名	販売名(メーカー)
クレンプテロール	スピロペント(帝人)他:気管支拡張薬
選択的アンドロゲン受容体調節薬 (SARMs[アンダリン、LGD-4033、オスタリ ン、RAD140等]);	—
チボロン	日本未発売:骨粗鬆症薬
ゼラノール	—
ジルパテロール	—

[禁止される理由]

- いわゆる筋肉増強剤として、筋力の強化と筋肉量の増加によって運動能力を向上させ、同時に闘争心を高める目的で使用され、様々な投与方法で大量に使用されるため禁止。
- 肝臓癌など致命的な有害作用が発生。脂質異常症、HDL コレステロールの低下、血圧上昇など心血管系障害の発症も示唆。
- 女性では多毛、嚙声などの男性化や痤瘡が発現。
- 男性では女性化乳房、無精子症、インポテンツが発現。
- クレンプテロールは、気管支拡張薬であるが、交感神経興奮作用、蛋白同化作用による筋組織量の増加を期待して使用されるため、使用禁止。
- ゼラノールは、主に動物に肥育ホルモンとして利用され、体重増加など成長促進作用を有するので禁止。
- 選択的アンドロゲン受容体調節薬(SARMs)は、筋萎縮症の治療とアンドロゲン代替治療のために開発中。作用機序からドーピング物質とされている。

Q. クレンプテロールは、臨床では気管支拡張薬として気管支喘息等の治療で用いられるのではないですか？

[禁止される理由]

- エリスロポエチン等は、赤血球生成促進因子であるため酸素運搬能が上昇し、持久力が必要な運動種目では運動能力の強化につながるため禁止。
- 成長ホルモンは、脂肪組織におけるトリグリセリドの加水分解、肝臓でのグルコース排泄促進作用などを有するが、筋肉増強を期待する乱用はアレルギー症状や糖尿病を誘発し、大量投与で末端肥大症などの有害作用が発現するため禁止。
- 絨毛性ゴナドトロピン(CG)及び黄体形成ホルモン(LH)は、男子不妊症や男性の下垂体性性腺機能不全の治療に投与され、男性ホルモンの産生量を増加させるため、男性においてのみ禁止。
- コルチコトロピン類(ACTH)は副腎皮質を刺激し、血中の糖質コルチコイド、鉱質コルチコイドを上昇させ弱い男性ホルモンの分泌促進作用を有するため禁止。
- 低酸素誘導因子(HIF)安定薬のFG-4592(ロキサデュスタット)は、腎性貧血治療薬として開発中。

Q. 低酸素誘導因子(HIF)安定薬としてコバルトが禁止物質になっていますが、コバルトを含むシアノコバラミン(ビタミンB12)も禁止されますか？
 A. 禁止されません。

S3. ベータ2作用薬

すべての選択的および非選択的ベータ2作用薬は、すべての光学異性体を含めて禁止される。

以下の物質(下表)が禁止されるが、これらに限定するものではない:

但し以下のものは除く:

- 吸入サルブタモール(24時間で最大1600 μ g、いかなる用量から開始しても12時間ごとに800 μ gを超えないこと);
- 吸入ホルモテロール(24時間で最大投与量54 μ g);
- 吸入サルメテロール(24時間で最大200 μ g)

尿中のサルブタモールが1000ng/mL、あるいは尿中ホルモテロールが40ng/mLを超える場合は、治療を意図した使用ではないため、管理された薬物動態研究を通してその異常値が上記の最大治療量以下の吸入使用の結果であることを競技者が立証しないかぎり、違反が疑われる分析報告(AAF)として扱われることになる。

ベータ2作用薬の禁止医薬品例

	成分名	販売名(メーカー)
F	フェノテロール	ペロテック(日本ベーリンガー)他
	ホルモテロール	オーキシス(アストラゼネカ-Meiji Seika)他
H	ヒゲナミン	生薬:イボツツラフジ、附子、丁子、細辛、南天実、呉茱萸
I	インダカテロール	オンブレス(ノバルティス)他
O	オロダテロール	スピオルト(日本ベーリンガー)
P	プロカテロール	メプチン(大塚)他
R	レプロテロール	—
S	サルブタモール	アイロミール(大日本住友)、サルタノール(GSK)、ベネトリン(GSK)他
	サルメテロール	セレベント(GSK)他
T	テルブタリン	ブリカニール(アストラゼネカ)他
	ツオブテロール	ホクナリン(マイラン EPD)他
V	ビランテロール	アノーロ(GSK)他

[禁止される理由]

- ・ 気管支拡張薬であるが、交感神経興奮作用、蛋白同化作用による筋組織量の増加を期待して使用されるため、常時使用禁止。

Q.	サルブタモール、ホルモテロールを、利尿薬もしくは隠蔽薬と併用する場合の注意は？
A.	治療使用特例（TUE）が、利尿薬もしくは隠蔽薬に加え、競技会（時）および競技会外の状況に応じて必要となります。（参照：S5.利尿薬および隠蔽薬）
Q.	イソクスプリン（脳・末梢血行動態改善剤、子宮鎮痙剤）は使用可能ですか？
A.	明記されていませんが、ベータ2作用薬として使用禁止です。
Q.	ヒゲナミンについて、どのような注意が必要ですか？
A.	非選択的ベータ2作用薬の「ヒゲナミン」は、植物のイボツツラフジ（ <i>Tinospora crispa</i> ）の成分であると報告されており、栄養補助食品から検出されています。 JADA の事務連絡によれば、ヒゲナミンは、以下の名称の成分や生薬に含まれるとされています（平成28年12月19日付、JADA 事務連絡、2017年禁止表国際基準の Higenamine（ヒゲナミン）に関する 注意喚起）。 <ul style="list-style-type: none"> ・ Norcoclaurine（ノルコクラウリン） ・ Demethylcoclaurine（デメチルコクラウリン） ・ <i>Tinospora crispa</i>（イボツツラフジ） ・ 附子（フシ） ・ 丁子（チョウジ） ・ 細辛（サイシン） ・ 南天実（ナンテンジツ） ・ 呉茱萸（ゴシュユ）

S4. ホルモン調節薬および代謝調節薬

以下のホルモン調節薬および代謝調節薬は禁止される:

1. アロマトーゼ阻害薬としては、以下の物質(下表①)があるが、これらに限定するものではない:
2. 選択的エストロゲン受容体調節薬(SERMs)としては、以下の物質(下表②)があるが、これらに限定するものではない:
3. その他の抗エストロゲン作用を有する薬物としては、以下の物質(下表③)があるが、これらに限定するものではない:
4. ミオスタチン機能を修飾する薬物としては、以下の物質(下表④)があるが、これらに限定するものではない
5. 代謝調節薬:(下表⑤)

ホルモン調節薬および代謝調節薬の禁止医薬品例

	成分名	販売名(メーカー)
①	1.アロマトーゼ阻害薬	
4	4-アンドロステン-3,6,17-トリオン(6-オキソ)	—
A	アミノグルテチミド	—
	アナストロゾール	アリミデックス(アストラゼネカ)他:乳癌治療薬
	アンドロスタ-1,4,6-トリエン-3,17-ジオン(アンドロスタトリエンジオン)	—
	アンドロスタ-3,5-ジエン-7,17-ジオン(アリミスタン)	—
E	エキセメスタン	アロマシン(ファイザー)他:乳癌治療薬
F	ホルメスタン	—
L	レトロゾール	フェマーラ(ノバルティス-中外)他:乳癌治療薬
T	テストラクトン	—

②	2.選択的エストロゲン受容体調節薬(SERM _s)	
R	ラロキシフェン	エビスタ(イーライリリー)他:骨粗鬆症治療薬
T	タモキシフェン	ノルバデックス(アストラゼネカ)他:乳癌治療薬
	トレミフェン	フェアストン(日本化薬)他:乳癌治療薬
③	3.その他の抗エストロゲン作用を有する薬物	
C	クロミフェン	クロミッド(富士)他:排卵誘発剤
	シクロフェニル	セキノビット(あすか-武田):排卵誘発剤
F	フルベストラント	フェソロデックス(アストラゼネカ):乳癌治療薬
④	4.ミオスタチン機能を修飾する薬物 ミオスタチン阻害薬	—
⑤	5.代謝調節薬:	
	5.1 AMP 活性化プロテインキナーゼ(AMPK)の活性化薬(AICAR、SR9009等)	—
	ペルオキシソーム増殖因子活性化受容体δ(PPARδ)作動薬(GW1516GW501516等)	—
	5.2 インスリン類およびインスリン模倣物質	インスリン(各社)
	5.3 メルドニウム	—
	5.4 トリメタジジン	バスタレル F(京都-日本セルヴィエ、大日本住友)

[禁止される理由]

- ・ アロマトーゼ阻害薬、選択的エストロゲン受容体調節薬(SERM_s)等は、乳癌治療薬、骨粗鬆症治療薬、排卵誘発剤として使われるが、抗エストロゲン作用を有するため禁止。
- ・ ミオスタチン阻害薬は、筋肉の増強を抑制するミオスタチンを阻害することにより、筋力向上等が期待できるため禁止。
- ・ インスリンは筋肉におけるグルコースの利用とアミノ酸の貯蔵を促進し、蛋白の合成を刺激し分解を抑制するため禁止。その他の糖尿病用薬である SU 系、ビッグアナイド系、インスリン抵抗性改善薬、食後血糖改善薬、DPP-4 阻害薬、GLP-1 受容体作動薬は禁止されない。
- ・ トリメタジジンは、心臓代謝の調節薬として禁止される。

Q. 骨粗鬆症治療薬のバゼドキシフェン(ビピアント錠)は使用可能ですか?

A. 明記されていませんが、SERM_sとして禁止されます。

S5. 利尿薬および隠蔽薬

以下の利尿薬と隠蔽薬、および類似の化学構造又は類似の生物学的効果を有するものは禁止される。

以下の物質(下表)が禁止されるが、これらに限定するものではない:

但し以下のものは除く:

- ドロスプレノン; パマブロム; および眼科用に使用される炭酸脱水酵素阻害薬[ドルゾラミド、布林ゾラミド等];
- 歯科麻酔におけるフェリプレシンの局所投与

常に(競技会(時)および競技会外)、あるいは**競技会(時)**それぞれの場合に応じて、利尿薬もしくは隠蔽薬とともに、閾値水準が設定されている物質(ホルモテロール、サルブタモール、カチン、エフェドリン、メチルエフェドリン、プソイドエフェドリン)がいかなる用量でも**競技者**の検体から検出される場合は、**競技者**に対して、利尿薬もしくは隠蔽薬に加え、閾値水準が設定されている物質についても**治療使用特例(TUE)**が承認されていない限り、**違反が疑われる分析報告(AAF)**として扱われることになる。

利尿薬・隠蔽薬の禁止医薬品例

成分名	販売名(メーカー):例示
デスマプレシン	デスマプレシン(協和発酵キリン)、ミニリンメルト(フェリ ング-協和発酵キリン)他
プロベネシド	ベネシッド(科研):尿酸排泄促進薬
血漿増量物質 アルブミン(静脈内投与) デキストラン(静脈内投与) ヒドロキシエチルデンプン(静脈内投与) マンニトール(静脈内投与)	赤十字アルブミン(日本血液製剤機構)他 低分子デキストランL注(大塚製薬工場-大塚)他 サリンヘス輸液(フレゼニウスカービジャパン)他 マンニットT注(テルモ)他
成分名	販売名(メーカー):例示
アセタゾラミド	ダイアモックス(三和化学)
アミロリド	—
ブメタニド	ルネトロン(第一三共)
カンレノン	—
クロルタリドン	—
エタクリン酸	—
フロセミド	ラシックス(サノフィ-日医工)他
インダパミド	ナトリックス(京都-日本セルヴィエ、大日本住友)他
メトラゾン	—
スピロラクトン	アルダクトンA(ファイザー)他
チアジド類	フルイトラン(塩野義)他
トリアムテレン	トリテレン(京都-大日本住友)
パプタン類	サムスカ(大塚)、フィズリン(大塚)

[禁止される理由]

利尿薬が禁止される理由には、下記が考えられる。

- ① 排出する尿量を増加させ尿中に排泄する禁止薬物や代謝物の尿中濃度を下げて禁止物質の検出を逃れること。
- ② 柔道、ボクシング、重量挙げなどの体重別種目で競技成績を有利に導くため、体水分の排泄を促して体重を急速に減量すること。

Q. 高血圧治療用の配合剤は禁止されますか？

A. 利尿薬が配合されているものも多く発売されているため、注意が必要です。

Q. メニエール病の改善等に使用される「イソソルビド」は禁止されますか？

A. 明記されていませんが、「S5.利尿薬および隠蔽薬」に該当する禁止物質です。

Q. グリセロールは禁止表から除外されたのですか？

A. 3章の2018年WADA禁止表 主要な変更の要約と注釈 に記載されている通り、グリセロールは禁止表から除外されました。[2012年以降科学論文で発表されたグリセロールに関する情報、特にアスリート・バイオリジカル・パスポート(ABP)のパラメーターとアスリートの血漿量に影響するグリセロールの作用について考慮した結果、グリセロールによる効果は軽微であると考えられる。したがって、グリセロールを禁止表から除外した。]

[禁止方法]

M1. 血液および血液成分の操作

以下の事項が禁止される:

1. 自己血、他者血(同種血)、異種血又はすべての赤血球製剤をいかなる量でも循環系へ投与するあるいは再び戻すこと。
2. 酸素摂取や酸素運搬、酸素供給を人為的に促進すること。過フルオロ化合物; エファプロキシラール(RSR13)、修飾ヘモグロビン製剤[ヘモグロビンを基にした血液代替物質、ヘモグロビンのマイクロカプセル製剤等]が含まれるが、これらに限定するものではない。但し、吸入による酸素自体の補給は除く。

3. 血液あるいは血液成分を物理的あるいは化学的手段を用いて血管内操作すること。

Q. 吸入による酸素自体の補給とは何を指しますか？

A. 酸素カプセルや携行酸素缶であり、「飲む酸素」のようなサプリメントは除きます。

Q. 血管内操作とは、具体的にはどのようなことですか？

A. 例えば、人体から採取した血液にオゾンを溶解させ、その血液を再び戻す「オゾン療法（血液クレンジング）」は禁止されます。

M2. 化学的および物理的操作

以下の事項が禁止される：

1. ドーピング・コントロールで採取された検体の完全性及び有効性を変化させるために改ざん又は改ざんしようとする事は禁止される。これらには尿のすり替え、尿の改質（蛋白分解酵素等）などが含まれるが、これらに限定するものではない。
2. 静脈内注入および／または静脈内注射で、12時間あたり100mLを超える場合は禁止される。但し、入院*、外科手術、または臨床検査のそれぞれの過程において正当に受ける場合は除く。

*JADA の日本語訳では「入院」となっていますが、原文（英語）は「in the course of hospital treatments」であり、本邦に当てはめれば「病院（あるいは有床診療所）での治療（入院・外来）」とも受け取れます。TUE 申請に関する事項ですので、詳細は JADA にお問い合わせ下さい。なお、JADA のホームページには、「無床診療所での静脈内注入および／または静脈注射で、12 時間あたり計 100mL を超える場合は TUE が必要であることに注意してください。」との記載があります。

Q. 静脈内注入および／または静脈注射についてどのように考えればいいですか？

A. 下記参照

○ 静脈内注入および／または静脈注射の考え方

1. 禁止物質を含む点滴が治療のために必要な場合は、TUE 申請が必要。
2. 禁止物質を含まず、12 時間あたり 100mL 以内の静脈注射は禁止ではなく、TUE が不要。
3. 禁止物質を含まなくても、静脈内注入および／または静脈内注射で、12 時間あたり 100mL を超える場合は禁止。しかし、入院、外科手術、または臨床検査のそれぞれにおいて正当に行われるものは禁止ではない。

なお、本会から JADA に問合せを行ったところ、

- ①入院施設のある医療機関（病院あるいは有床診療所）で受けた、外来での点滴は 禁止方法ではないため TUE 申請は不要。
- ②入院施設のない医療機関（無床の診療所等）で受けた、外来での点滴は禁止方法となり TUE 申請が必要。
- ③「救護所」は入院施設のない医療機関（無床の診療所等）にあたる。そのため、
 - 1) 「救護所」での点滴後、帰宅した場合は、禁止方法となるため TUE 申請が必要。
 - 2) 「救護所」での点滴後、入院施設のない医療機関（無床の診療所等）へ搬送され、処置を受けた場合は、禁止方法となるため TUE 申請が必要。
 - 3) 「救護所」での点滴後、入院施設のある医療機関（病院あるいは有床診療所）へ搬送され処置を受けた場合は、入院治療およびその受診過程となるため、TUE 申請は不要。との回答を得ていますが、TUE 申請に係る詳細については、JADA にお問合せいただけますよう、お願い致します。

M3. 遺伝子ドーピング

以下の競技能力を高める可能性のある事項は禁止される：

1. 核酸のポリマーまたは核酸類似物質の移入。
2. ゲノム配列の変更および遺伝子発現の転写および／またはエピジェネティック調節の変更を目的に設計された遺伝子編集用物質の使用。
3. 正常なあるいは遺伝子を修飾した細胞の使用。

II. 競技会(時)に禁止される物質と方法

S6. 興奮薬

すべての興奮薬(関連するすべての光学異性体[*d*体および/*l*体等]を含む)は禁止される。

興奮薬には以下の物質(下表①、②)が含まれる:

a: 特定物質でない興奮薬:(下表①)

このセクションに掲載されていない興奮薬は特定物質である。

b: 特定物質である興奮薬

以下の物質(下表②)が禁止されるが、これらに限定するものではない:

下表②および類似の化学構造又は類似の生物学的効果を有するもの。

但し以下のものは除く:

● クロニジン

● 局所/眼科用に使用されるイミダゾール誘導体および 2018 年監視プログラム*に含まれる興奮薬

* プロピオン、カフェイン、ニコチン、フェニレフリン、フェニルプロパノールアミン、ピプラドロール、シネフリン:これらの物質は 2018 年監視プログラムに含まれ、禁止物質とみなさない。

** カチン:尿中濃度 5 μg/mL を超える場合は禁止される。

*** エフェドリンとメチルエフェドリン:尿中濃度 10 μg/mL を超える場合は禁止される。

**** エピネフリン(アドレナリン):局所使用[鼻、眼等]あるいは局所麻酔薬との同時投与は禁止されない。

***** プソイドエフェドリン:尿中濃度 150 μg/mL を超える場合は禁止される。

興奮薬の禁止医薬品例

a. 特定物質でない興奮薬①

	成分名	販売名(メーカー)
A	アドラフィニル	—
	アンフェプラモン	—
	アンフェタミン	—
	アンフェタミニル	—
	アミフェナゾール	—
B	ベンフルオレックス	—
	ベンジルピペラジン	—
	ブロマンタン	—
C	クロベンゾレックス	—
	コカイン	コカイン塩酸塩(塩野義、武田):麻薬
	クロプロパミド	—
	クロテタミド	—
F	フェンカミン	—
	フェネチリン	—
	フェンフルラミン	—
	フェンプロポレックス	—
	フォンツラセタム [4-フェニルピラセタム(カルフェドン)]	—
	フルフェノレックス	—
L	リスデキサンフェタミン	—
M	メフェノレックス	—
	メフェンテルミン	—
	メソカルブ	—
	メタンフェタミン(<i>d</i> 体)	ヒロポン(大日本住友):覚せい剤
	p-メチルアンフェタミン	—

	モダフィニル	モディオダール(アルフレッサ-田辺三菱)
N	ノルフェンフルアミン	—
P	フェンジメトラジン	—
	フェンテルミン	—
	プレニラミン	—
	プロリント	—

b. 特定物質である興奮薬②

	成分名	販売名(メーカー)
1	1,3-ジメチルブチルアミン	—
4	4-メチルヘキサン-2-アミン(メチルヘキサンアミン)	—
B	ベンズフェタミン	—
C	カチン**	—
	カチンおよび類似物(メフェドロン、メドロン、 α -ピロリジノバレロフェノン等)	—
D	ジメチルアンフェタミン	—
E	エフェドリン***	エフェドリン塩酸塩(各社):気管支拡張薬
	エピネフリン(アドレナリン)****	ボスミン(第一三共):強心薬、エピペン(ファイザー):アナフィラキシー補助治療剤 他
	エタミバン	—
	エチルアンフェタミン	—
	エチレフリン	エホチール(日本ベーリンガー)他:昇圧薬
F	ファンプロファゾン	—
	フェンブトラゼート	—
	フェンカンファミン	—
H	ヘプタミノール	—
	ヒドロキシアンフェタミン(パラヒドロキシアンフェタミン)	—
I	イソメテプテン	—
L	レブメタンフェタミン	—
M	メクロフェノキサート	ルシドリール(共和):脳循環代謝改善薬
	メチレンジオキシメタンフェタミン	—
	メチルエフェドリン***	メチエフ(田辺三菱)他:気管支拡張薬
	メチルフェニデート	リタリン(ノバルティス)他:精神刺激薬
N	ニケタミド	—
	ノルフェネフリン	—
O	オクトパミン	—
	オキシロフリン(メチルシネフリン)	—
P	ペモリン	ベタナミン(三和化学):精神刺激薬
	ペンテトラゾール	—
	フェネチルアミンおよびその誘導体	—
	フェンメトラジン	—
	フェンプロメタミン	—
	プロピルヘキセドリン	—
	プソイドエフェドリン****	ディレグラ(サノフィ)、OTC:鼻炎用薬等
S	セレギリン	エフピー(エフピー)他:パーキンソン病治療薬
	シブトラミン	—
	ストリキニーネ	ホミカエキス(各社)、OTC:胃腸薬等
T	テナンフェタミン(メチレンジオキシアンフェタミン)	—

ツアミノヘプタン	—
----------	---

[禁止される理由]

- ・ 中枢神経系を刺激して敏捷性を高め、疲労感を低減して競争心を高める効果を有するが、疲労の限界に対する正常な判断力を失わせ、ときには競技相手に危害を与えかねないため禁止。
- ・ アンフェタミンは有害な中枢神経興奮作用をもち、オリンピック大会の自転車競技で本剤に起因する死亡事故が発生しているため禁止。
- ・ エフェドリンは中枢神経興奮作用をもち、大量投与で精神を高揚させ、血流を増加させるため禁止。

Q. 興奮薬はどのような薬に含まれていますか？
A. 多くの一般用医薬品等の感冒・鼻炎用薬には、エフェドリンやメチルエフェドリン、プソイドエフェドリンなどが配合されています。 また、明記されていませんが、低血圧治療薬のミドドリン、アメジニウムも興奮薬として禁止されます。
Q. 禁止物質のメチルヘキサミンはサプリメントとしてよく販売されているようですが、表記されているのですか？
A. “ゼラニウム油”、“ゼラニウム根エキス”等と書かれていることもあるので注意が必要です。
Q. フェネチルアミンは通常の食品摂取でも違反が疑われますか？
A. 2017年のWADA 禁止表 主要な変更の要約と注釈 では、「通常の食品の消費量では、フェネチルアミンは違反が疑われる分析報告となるには十分な量ではないであろう。」とされています。

S7. 麻薬

以下の物質(下表)は禁止される: ※JADA 訳注:このセクションには国内法の麻薬以外の物質が含まれる。

禁止表に掲載され明確に禁止されている物質

	成分名	販売名(メーカー)	分類
B	ブプレノルフィン	レペタン(大塚)、ノルスパン(ムンディー久光)他	非麻薬性鎮痛薬
D	デキストロモラミド	—	
	ジアモルヒネ(ヘロイン)	—	
F	フェンタニルおよび誘導体	アブストラル(協和発酵キリン-久光)、アルチバ(ヤンセン)、イーフェンバツカル(帝國-大鵬)、タラモナール(第一三共プロファーマ)、デュロテップ MT(ヤンセン)、フェンタニル(各社)、フェントス(久光-協和発酵キリン)、ワンデュロパッチ(ヤンセン)他	麻薬
H	ヒドロモルフォン	ナルラピド(第一三共)	
M	メサドン	メサペイン(帝國-テルモ)	麻薬
	モルヒネ	モルヒネ塩酸塩(各社)、オプソ(大日本住友)、アンペック(大日本住友)、プレペノン(テルモ)、MS コンチン(塩野義)、カディアン(大日本住友)、ピーガード(田辺三菱)、モルペス(藤本)、MS ツワイスロン(帝國-日本化薬)、モヒアト(武田)、パシーフ(武田)他	麻薬
N	ニコモルフィン	—	
O	オキシコドン	オキシコンチン(塩野義)、オキノーム(塩野義)、オキファスト(塩野義)、パビナール(武田)他	麻薬
	オキシモルフォン	—	
P	ペンタゾシン	ソセゴン(丸石)、トスパリアル(小林化工)、ペルタゾン(あすか-日本化薬)、ペンタジン(第一三共)	非麻薬性鎮痛薬
	ペチジン	オピスタン(田辺三菱)他	麻薬

[禁止される理由]

- ・ 麻薬は鎮痛、鎮静による精神・心理機能の向上とリラクゼーション、また、陶酔感、多幸感を期待して使用されるため禁止。
- ・ 副作用として、呼吸抑制、呼吸麻痺、依存性、血圧低下、ショック、めまい、眠気、嘔吐、虚脱、便秘、筋萎縮、視調節障害が見られる。

Q.” Open List” ,” Closed List” とは？

A. 「S7.麻薬」のように禁止される物質・方法を限定したセクションを” Closed List” と言い、「類似の化学構造又は類似の生物学的効果を有するもの」「以下の物質が禁止されるが、これらに限定するものではない」等と記載があり、禁止される物質・方法の代表例が掲載されているセクションを” Open List” と言います。2008年北京オリンピックで金メダルを獲得したジャマイカチチームの違反は、当時、禁止表に明記されていなかったメチルヘキサンアミン (S6.bに該当、Open List) が問題となりました。

S8. カンナビノイド

以下のカンナビノイドは禁止される:

- 天然カンナビノイド[大麻、ハシシュおよびマリファナ等]
- 合成カンナビノイド[Δ^9 -テトラヒドロカンナビノール(THC)およびその他のカンナビノイド模倣物質 等]

但し以下のものは除く:

- カンナビジオール

[禁止される理由]

- ・ 思考、知覚、気分を異常に変化させ、多幸感、高揚感を期待して使用されるため禁止。
- ・ 憂うつ感、被暗示性の増強、錯乱、幻覚を伴うことがある。選手が競技に対する不安や焦りから逃避する目的で嗜癖に陥る危険性がある。

Q. 大麻とは？

A. 大麻草 *Cannabis sativa* の葉を乾燥したものがマリファナ、樹脂がハシシュである。主な成分は Δ^9 -テトラヒドロカンナビノール (THC)、カンナビロール等。

Q. 合成カンナビノイドとは？

A. カンナビノイド受容体のアゴニストで、日々、新規に合成され、入手状況が絶えず変化している精神活性物質。JWH-018 および誘導體 JWH-073、HU-210 等があり、「Spice」等に添加されている。

S9. 糖質コルチコイド

糖質コルチコイドの経口使用、静脈内使用、筋肉内使用または経直腸使用はすべて禁止される。

以下の物質(下表)が禁止されるが、これに限定するものではない:

糖質コルチコイドの禁止医薬品例

	成分名	販売名(メーカー)
B	ベタメタゾン	リンデロン(塩野義)他
	ブテソニド	オーキシス(アストラゼネカ)
C	コルチゾン	コートン(日医工)
D	デフラザコート	—
	デキサメタゾン	デカドロン(日医工)他
F	フルチカゾン	—
H	ヒドロコルチゾン	コートリル(ファイザー)他
M	メチルプレドニゾロン	メドロール(ファイザー)他

P	プレドニゾン	プレドニゾン(旭化成、他)他
	プレドニゾン	—
T	トリアムシノロン	レダコート(アルフレッサ)他

[禁止される理由]

- ・ エネルギー代謝を活性化させ、競技力向上を狙って使用される。あるいは、陶酔感を期待して使用されるため禁止。
- ・ 炎症を抑える作用があるので、ケガをしても競技を継続できてしまうことがあるので注意。
- ・ 感染の増悪、続発性副腎機能不全、消化性潰瘍が発現する。

Q. 痔疾患用の糖質コルチコイドを含む注入軟膏や坐剤は禁止されますか？
A. 経直腸使用とみなされ禁止されます。
Q. 糖質コルチコイドを禁止されない経路（関節内・関節周囲・腱周囲注射等）で使用し、競技会検査で検出された時の対応は？
A. 使用経路について証明する医療記録を提示できるよう備えておく必要があります。

Ⅲ. 特定競技において禁止される物質

Q. アルコールが禁止表から除外になった意図は？

A. 今まで禁止されていた国際競技において、アルコール使用を禁止する他の手段（競技ルールの変更等）を是認するため。

P1. ベータ遮断薬

ベータ遮断薬は、以下の競技種目において競技会(時)に限って禁止される。指示がある場合は競技会外においても禁止される。

- アーチェリー(国際アーチェリー連盟:WA)(競技会外においても禁止)
- 自動車(国際自動車連盟:FIA)
- ビリヤード(全ての種目)(世界ビリヤード・スポーツ連合:WCBS)
- ダーツ(世界ダーツ連盟:WDF)
- ゴルフ(国際ゴルフ連盟:IGF)
- 射撃(国際射撃連盟:ISSF、国際パラリンピック委員会:IPC)(競技会外においても禁止)
- スキー/スノーボード(国際スキー連盟:FIS)ージャンプ、フリースタイル(エアリアル/ハーフパイプ)、スノーボード(ハーフパイプ/ビッグエアー)
- 水中スポーツ(世界水中連盟:CMAS)コンスタント・ウェイト アプネア(フィンありフィンなし)、ダイナミックアプネア(フィンありフィンなし)、フリーイマージョン アプネア、ジャンプ ブルー アプネア、スピアフィッシング、スタティック アプネア、ターゲットシューティングおよびバリアブル ウェイト アプネア

以下の物質(下表)が禁止されるが、これらに限定するものではない。

ベータ遮断薬の禁止医薬品例

	成分名	販売名(メーカー)
A	アセプトロール	アセタノール(サノフィ)
	アルプレノロール	スカジロール(寿)
	アテノロール	テノーミン(アストラゼネカ)他
B	ベタキソロール	ケルロング(サノフィ)、ベトブティック点眼液(日本アルコン)他
	ビソプロロール	メインテート(田辺三菱)、ビソノテープ(トーアイエイヨー-アステラス)他
	ブノロール	—
C	カルテオロール	ミケラン(大塚)他
	カルベジロール	アーチスト(第一三共)他
	セリプロロール	セレクトール(日本新薬)他
E	エスモロール	ブレビブロック(丸石)
L	ラベタロール	トランデート(アスペン)他
	レボブノロール	ミロル点眼液(杏林-科研)他
M	メチプラノロール	—
	メトプロロール	セロケン(アストラゼネカ)他
N	ナドロール	ナディック(大日本住友)
O	オクスプレノロール	—
P	ピンドロール	カルビスケン(アルフレッサ)他
	プロプラノロール	インデラル(アストラゼネカ)他
S	ソタロール	ソタコール(プリストル)
T	チモロール	チモプトール点眼液(参天)他

[禁止される理由]

- ・ 静穏作用のため選手の不安解消や「あがり」の防止、また、心拍数と血圧の低下作用で心身の動揺を少なくするため禁止。

Q. 眼圧を下げる点眼薬も禁止されますか？

A. 緑内障治療薬のベータ遮断薬の点眼薬は禁止されます。

2018 年監視プログラム

以下の物質が 2018 年監視プログラムに掲載される:

1. 興奮薬:

競技会(時)のみ: プロピオン、カフェイン、ニコチン、フェニレフリン、フェニルプロパノールアミン、ピプラドロール、シネフリン

2. 麻薬:

競技会(時)のみ: コデイン、ヒドロコドン、トラマドール

3. 糖質コルチコイド:

競技会(時) (経口使用、静脈内使用、筋肉内使用または経直腸使用以外の投与経路)

競技会外 (すべての投与経路)

4. 2-エチルスルファニル-1H-ベンゾイミダゾール(ベミチル):

競技会(時)および競技会外

5. ベータ2作用薬:

競技会(時)および競技会外: ベータ2作用薬同士の組合せ

* 世界アンチ・ドーピング規程(4.5): "WADA は、署名当事者及び各国政府との協議に基づき、禁止表に掲載されていないが、スポーツにおける濫用のパターンを把握するために監視することを望む物質について監視プログラムを策定するものとする。"

○監視プログラムに掲載されている物質

成分名	販売名(メーカー)
プロピオン	—
カフェイン	レスピア(ノーベル)、無水カフェイン(小塚)他
ニコチン	ニコチネル TTS(GSK-ノバルティス)
フェニレフリン	ネオシネジン(興和)他
フェニルプロパノールアミン	—
ピプラドロール	—
シネフリン	チンピ(生薬)他
コデイン	コデインリン酸塩(各社)他
ヒドロコドン	—
トラマドール	トラマール(日本新薬)、ワントラム(日本新薬)他
糖質コルチコイド	—
ベミチル	—
ベータ2作用薬同士の組合せ	—

Q. 監視プログラムの物質は禁止されないのですか?

A. 当該年においては禁止されません。

しかし、メルドニウムのように、2015 年は監視プログラムだった物質が、2016 年に禁止物質となったため違反となった事例もあるので、注意してください。

本章の文献

公益財団法人日本アンチ・ドーピング機構: 世界アンチ・ドーピング規程, 禁止表国際基準 2018

3. 2018 年 WADA 禁止表 主要な変更の要約と注釈

常に禁止される物質と方法(競技会(時)および競技会外)

禁止物質

S1. 蛋白同化薬

- ジヒドロテストステロンは、国際一般名(INN)である(アンドロスタノロン)へ改名した。1-アンドロステロン(3α -ヒドロキシ- 5α -アンドロスタ-1-エン-17-オン)は、外因性蛋白同化男性化ステロイド薬の例として追加した。
- LGD-4033 および RAD140 は、SARMs のさらなる例として追加した。

S2. ペプチドホルモン、成長因子、関連物質および模倣物質

- S2 を明確にするために再編した。
- ARA290 は、最新の文献が基準を満たさないことを示唆したため、このセクションから除外した。
- デスマレリン、ゴセレリン、ナファレリン、トリプトレリンは 2.1 の例として追加した。
- 成長ホルモン断片は 2.3 に AOD-9604 および hGH176-191 を例として追加した。CJC-1293 は GHRH の例として、タビモレリンは GH 分泌促進物質の例として追加した。
- GHRP-1、-3、-4、-5 は GHRP の例として追加した。
- チモシン- $\beta 4$ およびその誘導体である TB-500 等は、禁止されている成長因子の例として追加した。
- コバルトに関しては、コバルトを含有するビタミン B12 は禁止物質ではない。

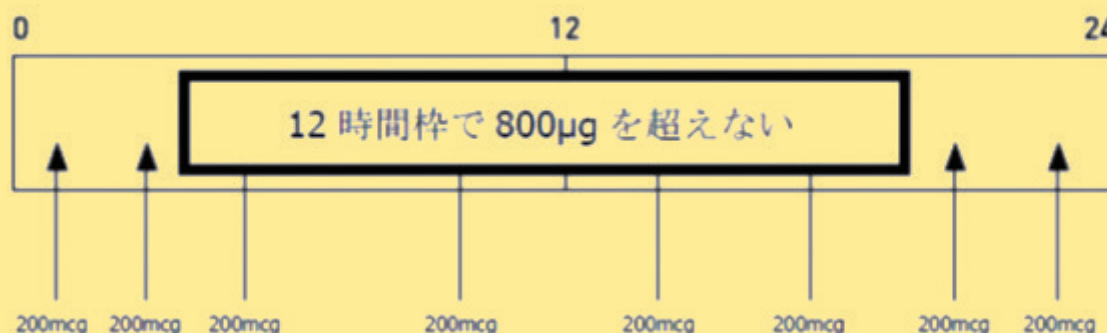
変更のポイント

- S2 の禁止物質が所属する区分の再編が行われました。
- ビタミン B12(コバルトを含有)は、禁止されません。

S3. ベータ2 作用薬

- サルブタモールのいかなる 12 時間枠においてもサルブタモール投与量が 800 マイクログラムを超えないことを明確にするために投与パラメーターを修正した(図参照)。

吸入サルブタモール - 24 時間で最大 1600 μ g
12 時間枠で 800 μ g を超えない投与量



- ツロブテロールを例として追加した。
- 尿中閾値の記載を変更した。

変更のポイント

- 吸入サルブタモールの取扱いがより明確化され、「24 時間で最大 1600 μ g、いかなる用量から開始しても 12 時間ごとに 800 μ g を超えないこと」とされました。
- 尿中閾値については、その閾値自体の変更はありませんが、文言が修正されています。

S4. ホルモン調節薬および代謝調節薬

- クロミフェン(Clomifene)は INN で記載した。
- INN がないため、GW1516 の IUPAC 名である 2-[2-メチル-4-[4-メチル-2-[4-トリフルオロメチルフェニル]チアゾール-5-イル]メチルチオ]フェノキシ酢酸を、他の名称である GW501516 と併せて記載した。
- Rev-Erb- α 作動薬である SR9009 を AMP 活性化プロテインキナーゼ(AMPK)物質の例として追加した。アンドロスタ-3,5-ジエン-7,17 ジオン(アリミスタン)を、アロマターゼ阻害薬の新たな例として追加した。

S5. 利尿薬および隠蔽剤

- 2012 年以降科学論文で発表されたグリセロールに関する情報、特にアスリート・バイオロジカル・パスポート(ABP)のパラメーターとアスリートの血漿量に影響するグリセロールの作用について考慮した結果、グリセロールによる効果は軽微であると考えられる。したがって、グリセロールを禁止表から除外した。

禁止方法

M2. 化学的および物理的操作

- M2.2 に関しては、静脈内投与の許容量とタイミングは、6 時間あたり 50mL を超える点滴から 12 時間あたり計 100mL を超える点滴へ変更した。禁止物質ではない治療薬 (例えば、鉄剤 等)を安全に投与するために柔軟性をもたせた。
- 実臨床を反映して、“医療機関の受診過程”は“入院”へ変更し、“臨床的検査”は“臨床検査”へと明確にした。

変更のポイント

- 静脈内注入および/または静脈内注射の許容量とタイミングが、6 時間あたり 50mL を超える点滴から 12 時間あたり計 100mL を超える点滴へ変更されました。
- JADA の日本語訳では「入院」となっていますが、原文(英語)は「in the course of hospital treatments」であり、本邦に当てはめれば「病院(あるいは有床診療所)での治療(入院・外来)」とも受け取れます。TUE 申請に関する事項ですので、詳細は JADA にお問い合わせ下さい。なお、JADA のホームページには、「無床診療所での静脈内注入および/または静脈注射で、12 時間あたり計 100mL を超える場合は TUE が必要であることに注意してください。」との記載があります。

M3. 遺伝子ドーピング

- 現状および新たな遺伝子操作技術をふまえ定義を修正した。

競技会(時)に禁止される物質と方法

S6. 興奮薬

- 1,3-ジメチルブチルアミンを例として追加した。この物質はいくつかの栄養補助食品で検出されている。

S8. カンナビノイド

- “スパイス、JWH-018、JWH-073、HU210 等”のカンナビノイド様物質は、“ Δ^9 -テトラヒドロカンナビノール(THC)およびその他のカンナビノイド模倣物質等である合成カンナビノイド等”へ変更した。合成カンナビノイドは、新薬として絶えず入手可能状況が変化している精神活性物質の主要クラスの 1 つである。以前に記載していた例は、現在使用は少ないが、継続して禁止である。“その他のカンナビノイド模倣物質”は、例を変更した。
- カンナビジオールは禁止物質ではない。合成カンナビジオールはその他のカンナビノイド模倣物質ではない。しかし、大麻植物から抽出されたカンナビジオールは様々な濃度の THC を含む可能性がある。THC は禁止物質である。

S9. 糖質コルチコイド

- よく使用される糖質コルチコイドの例をより明瞭にするため追加した。

特定競技において禁止される物質

P1. アルコール

- 十分な検討と協議の結果、アルコールを禁止表から除外した。この変更の意図は、アルコール使用が問題となるいかなるスポーツのインテグリティや安全性を損なうものではなく、むしろこれらのスポーツにおいてアルコール使用を禁止する他の手段を是認するものである。この変更によって影響を受ける4つの国際競技連盟(IF)は事前にルールを変更し、アルコール使用を検査し、ルールを順守しなかった競技者を適切に制裁する手順を導入するよう通知を受けている。こうした手続き管理によって、IFはそれぞれに適した規則や閾値を柔軟に適用できるようになる。国内アンチ・ドーピング機関は検査を行うことはもはや義務ではなくなるが、適切にIFおよび国内競技連盟を支援できる。

P2. ベータ遮断薬

- 表示の整合性をとるために、P2.ベータ遮断薬は、P1.ベータ遮断薬にカテゴリーを変更した。

4. 特に気をつけたい要指導医薬品・一般用医薬品と健康食品・サプリメント

1) 胃腸薬に注意

胃腸薬にはヒゲナミンやストリキニーネ(いずれも禁止物質)を含有する生薬チョウジやホミカが成分として含まれているものがあります。ヒゲナミン(チョウジ)はベータ2作用薬、ストリキニーネ(ホミカ)は興奮薬として禁止され、検出されれば直ちに違反です。胃腸薬を使う場合は禁止物質が含まれていないことを確認しましょう。

(例) 使ってはいけない胃腸薬

パンジアス顆粒(テイカ製薬-白石薬品)	ワクナガ胃腸薬 G(湧永製薬)
救胆(島伊兵衛薬品)	金魚胃腸薬(大和合同製薬)
済仁(森本製薬)	赤玉はら薬(大和合同製薬) など

2) 滋養強壮薬に注意

滋養強壮薬には、禁止物質である蛋白同化薬(テストステロン)及びホルモンの関連物質を含む漢方薬、また、禁止物質であるストリキニーネ(ホミカ)が含まれているものがあります。そして、医薬品以外のいわゆる健康食品として、滋養強壮目的の錠剤やドリンク剤が多数市販されており、これらの中にテストステロン等の関連物質が含まれている可能性も否定できません。**国体期間中に限らず、普段から使用しないようにしましょう。**

* 蛋白同化薬及び関連物質には、テストステロン、メチルテストステロンの他に、生薬成分である、海狗腎(カイクジン)、麝香(ジャコウ)、鹿茸(ロクジョウ)などがあります。

(例) 使ってはいけない滋養強壮薬:蛋白同化薬(テストステロン)及びホルモンの関連物質を含む

オットピン-S(ヴァイタリス製薬-あかひげ薬局)	外用ホルモン塗布剤オットピン(ヴァイタリス製薬-大和製薬・愛)
活力・M(東南製薬)	強カパロネス(日新製薬・滋)
金蛇精(糖衣錠)(摩耶堂製薬-大和製薬・愛)	トノス(大東製薬)
グロミン(大東製薬-大木製薬)	ブリズマホルモン精(原沢製薬-宝仙堂)
ブリズマホルモン錠(原沢製薬-宝仙堂)	ヘヤーグロン(大東製薬-あかひげ薬局、ワン・ツー)
ブリズマホルモン軟膏(原沢製薬)	など

(例) 使ってはいけない滋養強壮薬:ストリキニーネ(ホミカ)を含む

ハンピロン(日本薬品-あかひげ薬局)	など
--------------------	----

3) 毛髪・体毛用薬に注意

毛髪・体毛用塗り薬では、男性ホルモンが配合されているものがあり、禁止されています。**国体期間中に限らず、普段から使用しないようにしましょう。**

(例) 使ってはいけない体毛用薬:蛋白同化薬(テストステロン)及び関連物質を含む

ベレウス(協和新薬-森下仁丹、三友薬品)	マイクロゲン・パスタ(啓芳堂製薬) など
----------------------	----------------------

参考:一般用医薬品ではありませんが、円形脱毛症の場合には、糖質コルチコイドの内服が用いられることがあります。

4) 鎮咳去痰薬に注意

市販の鎮咳去痰薬に含まれるトリメチノール、メキシフェナミンは禁止物質とみなされます。また、生薬の南天実にはヒゲナミン(禁止物質)が含まれます。

(例) 使ってはいけない鎮咳去痰薬:トリメチノール、メキシフェナミンを含む

アスクロン(大正製薬)	新セキコデチンカプセル(至誠堂製薬)
-------------	--------------------

新カネドリン錠(廣昌堂-ノーエチ薬品)
新トニン咳止め液(佐藤製薬)
セキカット(ダイト)

セキエース(ダイト-北海道厚生農業共同組合連合会)
ダスマック SP(小林製薬)
フストールシロップ A(オール薬品) など

5) 漢方薬に注意

漢方薬を構成する生薬には、それぞれたくさんの成分が含まれており、1つ1つの成分が禁止物質にあたるかどうか特定するのは困難です。漢方薬にも明らかに禁止物質を含むものがあり、例として、丁子、附子、細辛、南天実、呉茱萸にはヒゲナミン、麻黄にはエフェドリンやメチルエフェドリン、プソイドエフェドリン、ホミカにはストリキニーネ、そして前述の滋養強壮薬には蛋白同化作用を示す成分が含まれています。また、半夏にも微量ですがエフェドリン類が含まれるので、注意が必要です。さらに名前が同じでも製造販売会社、原料の産地、収穫の時期などで成分が違うことがあります。また、カタカナ表記で西洋薬と間違えてしまうような漢方薬もあります。

○漢方薬の TUE 申請について: 一般的に漢方薬を使用しなくても疾患の治療が可能な場合、TUE 国際基準の付与基準に該当せず、承認されません。また、漢方薬が含有する禁止物質が特定できない場合 TUE 申請ができません。TUE は物質を申請して、その物質に対して治療使用特例が認められます。漢方薬の方剤名は物質名ではありませんので、方剤名で TUE 申請はできません。

6) 風邪薬やのど飴に注意

多くの総合感冒薬(いわゆる風邪薬)には禁止物質のエフェドリンやメチルエフェドリン等が含まれ、また、のど飴には禁止物質のヒゲナミンが含まれているものもあるため、注意が必要です。

7) その他の注意する医薬品

○鼻炎用薬: 市販の鼻炎用薬には興奮薬として禁止されるプソイドエフェドリンが配合されていることが多く、注意が必要です。

○鼻づまりの点鼻薬、点眼薬: ナファゾリン等の血管収縮剤は、点鼻・点眼を含む局所使用が許されていますが、何回も多量に使用して体内に吸収されると、アンチ・ドーピング規則違反が疑われる可能性があります。また、点鼻薬は連用により鼻づまりを悪化させる恐れがあります。

○アレルギーの内服薬: 市販のアレルギー用薬には禁止物質が配合されていることがあり、注意が必要です。

8) 健康食品・サプリメントに注意

国内外で多数の健康食品・サプリメントが入手できますが、世界アンチ・ドーピング機構(WADA)は、スポーツでのサプリメントの使用を推奨していません。

国立スポーツ科学センターは、スポーツで使用できるダイエタリーサプリメントとして、炭水化物やたんぱく、ビタミン、ミネラルなどの栄養主成分とするもので、日常の食事から十分な量を摂取できない場合にそれらを補うもの、およびエルゴジェニックエイドといって運動量増加を助ける栄養素、水分、電解質などの成分を挙げています。

海外では、ラベルに表示しないまま不正に興奮薬やステロイドなどの医薬品成分を添加したサプリメント製品が多数流通し、そのような製品による陽性も毎年報告されているため、製造基準や製品管理の品質が不明な製品の使用は避けることが賢明です。

また、サプリメントの定義は国によって異なり、海外でサプリメントとして販売されているからといって日本国内の製品と同じとは限らないことにも留意しておく必要があります。

○海外の製品

* 2016 年開催の岩手国体でアンチ・ドーピング規則違反となった選手は、海外のサプリメント「ANAVITE」を摂取し、含有されていた「S1.蛋白同化薬」が検出されました。2017 年開催のインカレで違反となった選手も同じ「ANAVITE」を摂取していましたが、「S6.興奮薬」が検出されています。

* USADA からサプリメントについて“High Risk List”が出されているので参考にしてください。

(<https://www.usada.org/substances/supplement-411/>)

- * 6-オキソ(4-アンドロステン-3,6,17-トリオン)や、ゼラニウム油あるいはゼラニウム根エキスとして表示されているメチルヘキサミンを含む栄養サプリメントが販売されています。
- * 2004年3月、米国食品医薬品局(FDA)はアンドロステンジオン配合サプリメントの販売を自主的に中止するよう通知し、2004年4月には「エフェドラ(エフェドリン類)」成分を含むサプリメントの販売を禁止しました。しかし、これらがまだ流通している可能性は否定できず、また、エフェドラの代わりにダイエットサプリメントとして登場した「ビターオレンジサプリメント」にはシネフリン(監視プログラム)が含まれています。
- * 中国製ダイエット食品による死亡例を含む肝機能障害が国内で多数報告されていますが、これらには2007年禁止表に掲載された興奮薬のシブトラミンやマジンドールが含まれているものがあつたことが判明しています。
- * 厚生労働省がインターネット上で広告され販売されていた、いわゆる健康食品等を購入し、国立医薬品食品衛生研究所で分析を行った結果、ドーピング禁止物質を含む医薬品成分が検出された製品があつたことがわかっています。
(http://www.mhlw.go.jp/file/04-Houdouhappyou-11126000-Iyakushokuhinkyoku-Kanshishidoumayaku-taisakuka/H25net_results.pdf)

○胎盤由来成分

美容や若返りを効能としてうたっている製品には、胎盤由来成分などの禁止物質が含まれる可能性があります。

○ビタミン、ビタミン様物質(コエンザイム Q10、L-カルニチンなど)

ビタミン、コエンザイム Q10 や L-カルニチンなどのビタミン様物質は禁止されていません。しかし、これらに種々の強壯剤を配合した製剤、特に外国製品には禁止物質を含むものがあります。

○アミノ酸

アミノ酸含有のスポーツドリンクが流行です。アミノ酸そのものはドーピング物質ではありませんが、スポーツドリンクには製品によってさまざまな天然物(ホルモン性の天然・合成成分など)を添加したのもありますから注意が必要です。

○機能性表示食品

2015年4月より機能性表示食品制度が始まり、6月から市販されています。機能性成分の中に禁止物質に該当するものがあるのかは不明ですが、届け出た内容は消費者庁のウェブサイトで公開されていますので確認してください。

サプリ・トクホ相談 Q&A(静岡県薬剤師会編、(株)南山堂 発行)も併せてご参照ください。

(参考)JADAにより認定されたスポーツドリンク、エネルギーアシスト系食品等の競技者が使用する機会が多い飲料及び食品があります。これらは更新されますので、下記の(公財)日本アンチ・ドーピング機構のホームページを参照してください。

<http://www.playtruejapan.org/qualified/>



JADA マーク



JADA 認定商品マーク

5. 使用可能薬リスト 2018 年版 / 要指導医薬品・一般用医薬品: OTC DRUGS etc

はじめに

- **有効成分が禁止物質を含まない、あるいは禁止物質が含まれていても使用方法(禁止表で規定される方法や添付文書記載の用法・用量)を守れば許可される国内の一般用医薬品・要指導医薬品(一部、医薬部外品を含む)の例をあげました。**
- **有効成分以外の成分(添加剤)に禁止物質が含まれていないかについては、原則確認しておりません。**これは、第 17 改定日本薬局方の製剤総則において、「添加剤は、製剤に含まれる有効成分以外の物質で、有効成分及び製剤の有用性を高める、製剤化を容易にする、品質の安定化を図る、又は使用性を向上させるなどの目的で用いられる。製剤には、必要に応じて、適切な添加剤を加えることができる。ただし、用いる添加剤はその製剤の投与量において薬理作用を示さず、無害でなければならない。また、添加剤は有効成分の治療効果を妨げるものであってはならない。」とされていることによります。ただし、本会での有効成分の確認時において、当該医薬品が内服薬、かつ、添加剤に植物由来成分等が含まれていることが判明した場合にあっては、出来るだけ本リストから削除する方針で作業を行っています。
- 禁止物質には「常に禁止される物質(競技会(時)及び競技会外)」と「競技会(時)に禁止される物質」があります。
- 主に健康なスポーツ選手が急性の病気に対して使用する内服薬、外用薬をあげています。
- 生薬や植物由来成分等は、その全ての詳細な内容成分を把握することが困難なため、これらを含む製品は、基本的に使用可能薬には掲載していません。
- 名前全体が完全に一致することを確かめてください。ほとんど同じ名前でも、接頭語として「新」がついたり、接尾語として「錠」や「会社名」、アルファベットがついているだけで、成分の組成が異なることもあります。
- JAPIC 一般用医薬品集 2017 年 9 月版を参考に、現在市販されていると思われる製品をあげています。(特納品など、一部薬局店頭では入手しづらい製品もあります。)
- **ここにあげた薬だけが許可されているわけではありません。一部の例示であり、他にも使える薬は数多くあります。**

(1) 解熱鎮痛薬

(注意)

- カフェインは 2004.1.1 より禁止物質からモニタリング物質に変更となり禁止されないが、検査結果は従来通り報告される。

<使用可能薬例>

成分名	代表的な販売名	販売会社名
アスピリン	バイエルアスピリン	佐藤製薬
アスピリン・合成ヒドロタルサイト	バファリン A	ライオン
アセトアミノフェン	タイレノール A 小児用バファリン C II バファリンルナ J こどもリングルサット	ジョンソン・エンド・ジョンソン ライオン ライオン 佐藤製薬
アセトアミノフェン・イブプロフェン	グレラン・ビット ノーシンアイ頭痛薬	武田コンシューマーヘルスケア アラクス
アルミノプロフェン	ルミフェン	佐藤製薬
イブプロフェン	イブ リングルアイビー α 200	エスエス製薬 佐藤製薬
イブプロフェン・ブチルスコポラミン臭化物	エルペインコーワ	興和

ロキソプロフェンナトリウム水和物	ロキソニン S ユニペイン L	第一三共ヘルスケア 小林薬品工業
ロキソプロフェンナトリウム水和物・ 酸化マグネシウム	ロキソニン S プラス	第一三共ヘルスケア
ロキソプロフェンナトリウム水和物・ 乾燥水酸化アルミニウムゲル	バファリン EX	ライオン

(2) 解熱鎮痛薬【坐剤】

<使用可能薬例>

成分名	代表的な販売名	販売会社名
アセトアミノフェン	こどもパブロン坐薬 キオフィーバ	大正製薬 樋屋奇応丸

(3) 総合感冒薬

● かぜ薬についての基本的な考え方

カフェインなどが禁止物質から外れたため、禁止物質を含む総合感冒薬は少なくなった。しかし、依然多くの総合感冒薬にはエフェドリン類などの禁止物質が含まれており、注意が必要である。また、カフェインは禁止物質からは外れたが、モニタリング物質として使用をモニターされる。

いずれにせよ、かぜのウイルスに直接作用する薬はないので、症状にあわせて禁止物質を含まない薬を選択し、使用する方が安全である。

(注意)

- 多くの総合感冒薬には禁止物質が含まれている。
→エフェドリン類など多くの禁止物質が含まれている。
- エフェドリン、メチルエフェドリン、プソイドエフェドリン、麻黄・半夏(いずれもエフェドリン類を含む)は競技会(時)禁止物質。(WADA 禁止表 S6.興奮薬、b.特定物質)
→漢方のかぜ薬は穏やかと思われがちだが、よく使われる漢方薬(葛根湯・小青竜湯など)には禁止物質(麻黄)が含まれている。
- 似たような名前でも処方異なるものに注意。名前が完全に一致することを確認する。
(例)○ストナアイビー、×ストナアイビージェル
→「ストナアイビー」は使用可能であるが、「ストナアイビージェル」にはメチルエフェドリンが含まれている。
- 2010年より、プソイドエフェドリンが禁止物質として再導入された。
- パブロン、ベンザブロック、ルルシリーズのほとんどには、禁止物質(メチルエフェドリン、プソイドエフェドリン、麻黄)が含まれている。
→パブロン、ベンザブロック、ルルシリーズは一般的な総合感冒薬であるため注意。
- カフェイン、フェニルプロパノールアミンは2004.1.1禁止物質からモニタリング物質に変更となり禁止されないが、検査結果は従来通り報告される。
→カフェインだけでなく、フェニルプロパノールアミンもモニタリング物質に該当する。
- コデインは、2017.1.1よりモニタリング物質となったため、検査結果は報告される。

<使用可能薬例>

成分名	代表的な販売名	販売会社名
イブプロフェン・ジヒドロコデインリン酸塩・グアヤコールスルホン酸カリウム・ジフェニルピラリン塩酸塩・無水カフェイン	ストナアイビー	佐藤製薬

アセトアミノフェン・サリチルアミド・クロルフェニラミンマレイン酸塩・ノスカピン塩酸塩水和物・カフェイン水和物・アスコルビン酸	新エスタック「W」	エスエス製薬
クロルフェニラミンマレイン酸塩・アセトアミノフェン・無水カフェイン・ペントキシベリンクエン酸塩・グアヤコールスルホン酸カリウム	新ルルエース ^注 注：健保組合等の組合員に特別限定販売されている商品で、広く市販されていない。	第一三共ヘルスケア
アンブロキシール塩酸塩・L-カルボシステイン・ジヒドロコデインリン酸塩・アセトアミノフェン・クロルフェニラミンマレイン酸塩・リボフラビン	パブロン S ゴールド W 錠 パブロン S ゴールド W 微粒	大正製薬 大正製薬
アセトアミノフェン・クロルフェニラミンマレイン酸塩・カフェイン水和物	ニシミドン液小児用	日新製薬・滋

(4) 鎮咳・去痰薬

(注意)

- エフェドリン、麻黄・半夏(いずれもエフェドリン類を含む)、メチルエフェドリン、プソイドエフェドリン、メキシフェナミン、トリメキノールは禁止物質。
→メキシフェナミン、トリメキノールは WADA 禁止表に名称の記載はないが、類似の化学構造または類似の薬理効果を有するものとして禁止される。
- ナンテンジツ(ヒゲナミンを含む)は常時禁止物質。(WADA 禁止表 S3.ベータ2 作用薬)
- カフェイン、フェニルプロパノールアミンは 2004.1.1 より禁止物質からモニタリング物質に変更となり現在は禁止されないが、検査結果は従来通り報告される。
- コデインは、2017.1.1 よりモニタリング物質となったため、検査結果は報告される。
→鎮咳去痰薬にもモニタリング物質が含まれているものがある。

<使用可能薬例>

成分名	代表的な販売名	販売会社名
ジヒドロコデインリン酸塩・クロルフェニラミンマレイン酸塩・リゾチーム塩酸塩	新ルビカップ	日水製薬
デキストロメトルファン臭化水素酸塩水和物・ジプロフィリン	新コンタックせき止めダブル持続性	グラクソ・スミスクライン・コンシューマー・ヘルスケア・ジャパン
L-カルボシステイン・ブロムヘキシン塩酸塩	クールワン去たんソフトカプセル ストナ去たんカプセル エフストリン去たん錠 タイムコール去たん錠	杏林製薬 佐藤製薬 大昭製薬 日邦薬品工業
ジヒドロコデインリン酸塩・グアイフェネシン・クロルフェニラミンマレイン酸塩・無水カフェイン	新ブロン液エース	エスエス製薬
チベピジンヒベンズ酸塩・リゾチーム塩酸塩・d-クロルフェニラミンマレイン酸塩	ニッシンせき止め顆粒	パナケイア製薬

(5) 鎮咳・去痰薬【トローチ/ドロップ】

<使用可能薬例>

成分名	代表的な販売名	販売会社名
デキストロメトルファンフェノールフタリン塩・塩化セチルピリジニウム	エフストリントローチ コデステシントローチ	大昭製薬 アクシス

セチルピリジニウム塩化物水和物・デキストロメトルファンフェノールフタリン塩・グアヤコールスルホン酸カリウム	コデミン G トローチ セキトローチ タイワケシノールトローチ テラポニンセキトローチ ノドロップコフ ベンザブロックトローチ	日新薬品工業 三宝製薬、福地製薬 日新薬品工業 日新薬品工業 日新薬品工業、高市製薬 武田コンシューマーヘルスケア
ノスカピン・グアヤコールスルホン酸カリウム・塩化セチルピリジニウム	新エスベナントローチ	日野薬品工業

(6) 胃腸薬

<①胃炎・胃潰瘍、②腹痛(鎮痙・鎮痛薬)、③健胃・総合胃腸薬(配合薬)>

(注意)

- チョウジ(ヒゲナミンを含む)は常時禁止物質。(WADA 禁止表 S3.ベータ2 作用薬)
- ホミカ(ストリキニーネを含む)は競技会(時)禁止物質。(WADA 禁止表 S6.興奮薬)
- 似たような名前でも処方異なるものに注意。
(例)○スクラート胃腸薬(顆粒)、×スクラート胃腸薬 **S(散剤)**
→「スクラート胃腸薬(顆粒)」は使用可能であるが、「スクラート胃腸薬 **S(散剤)**」にはチョウジが含まれている。
○ワクナガ胃腸薬 U、×ワクナガ胃腸薬 **G**
→「ワクナガ胃腸薬 U」は使用可能であるが、「ワクナガ胃腸薬 **G**」にはホミカが含まれている。
- 局所麻酔薬(オキセサゼイン:スイッチ OTC)は 2004.1.1 から使用可能。
→局所麻酔薬は以前は禁止されていたが、2004 年禁止表から削除され、使用可能となった。

<使用可能薬例> * : 指定医薬部外品

成分名	代表的な販売名	販売会社名
① 胃炎・胃潰瘍		
ニザチジン	アシノン Z アシノン Z 胃腸内服液 アシノン Z 錠	ゼリア新薬工業 ゼリア新薬工業 ゼリア新薬工業
ファモチジン	ガスター10、ガスター10 S 錠 ガスター10(散) ガスター10 内服液 ベッセン H2	第一三共ヘルスケア 第一三共ヘルスケア 第一三共ヘルスケア 新新薬品工業
ロキサチジン酢酸エステル塩酸塩	イノセアワンブロック	佐藤製薬
② 腹痛(鎮痙・鎮痛薬)		
ブチルスコポラミン臭化物	ストマオフ糖衣錠 ブスコパン A 錠 ブチスコミン	ゼリア新薬工業 エスエス製薬 佐藤製薬
ブチルスコポラミン臭化物・メタケイ酸アルミン酸マグネシウム	ブスコパン M カプセル	エスエス製薬
ジサイクロミン塩酸塩・乾燥水酸化アルミニウムゲル・酸化マグネシウム	コランチル A 顆粒	塩野義製薬
オキセサゼイン	サクロン Q ロミノン三宝 Oz	エーザイ 三宝製薬
③ 健胃・総合胃腸薬(配合薬)		
ピレンゼピン塩酸塩水和物・炭酸水素ナトリウム・メタケイ酸アルミン酸マグネシウム・ピオチアスターゼ 2000	ガストール錠 ガストール細粒	エスエス製薬 エスエス製薬

水酸化マグネシウム	ミルマグ液 スイマグ	エムジーファーマ 三保製薬研究所
乾燥酵母	エビオス錠*	アサヒグループ食品
宮入菌（酪酸菌）末・ウルソデオキシコ ール酸	ミヤリサンU錠* ミヤフローラEX*	ミヤリサン製薬

(7) 消化薬

<使用可能薬例> *：指定医薬部外品

成分名	代表的な販売名	販売会社名
ウルソデオキシコール酸	タナベ胃腸薬ウルソ	田辺三菱製薬
有胞子性乳酸菌(ラクボン原末)・タカチ アスターゼ N1・ピオチン	パンラクミン錠*	第一三共ヘルスケア

(8) 便秘治療薬

(注意)

- 女性用の便秘治療薬に注意。カタカナ表記でも漢方薬の製品がある。
(例) ×新ココアポ A 錠・S 錠
→「新ココアポ A 錠・S 錠」は防風通聖散という漢方薬であり、禁止物質である麻黄(エフェドリン類)を含有する。また、防風通聖散は、最近では皮下脂肪の分解等を目的に使用される事が多くなり、「ナイシール 85」、「ココスリム」のような製品名でも販売されている。
- グリセリン(グリセロール)は2018年WADA禁止表 主要な変更の要約と注釈 に記載されている通り、禁止表から除外されました。

<使用可能薬例>

成分名	代表的な販売名	販売会社名
センノシド・ビスコジル	カイベール C ラクトール S	アラクス カイゲンファーマ
ビスコジル	コーラック カイラックス	大正製薬 日新薬品工業
ビスコジル・センノサイドカルシウム・ジオ クチルソジウムスルホサクシネート(DSS)	スルーラックプラス	エスエス製薬
ピコスルファートナトリウム水和物	ピコラックス ビュースルー・ソフト	佐藤製薬 皇漢堂製薬
ピコスルファートナトリウム水和物・ピフ イズス菌・ラクトミン(乳酸菌)	ビオフェルミン便秘薬	ビオフェルミン製薬
酸化マグネシウム	アクアナチュラル便秘薬 スラーリア便秘薬	佐藤薬品工業 ロート製薬
炭酸水素ナトリウム・無水リン酸二水素 ナトリウム	コーラック坐薬タイプ 新レシカルボン坐剤 S	大正製薬 ゼリア新薬工業
グリセリン	イチジク浣腸 グリセリン浣腸	イチジク製薬 各社

(9) 整腸薬・下痢止め

＜使用可能薬例＞ * : 指定医薬部外品

成分名	代表的な販売名	販売会社名
塩酸ロペラミド	イノック下痢止め トメダインコーワフィルム ペロット下痢止め ロペラマックサット	湧永製薬 興和 ゼリア新薬工業 佐藤製薬
カゼイ菌・ビフィズス菌	ヤクルト BL 整腸薬*	ヤクルト本社
ビフィズス菌・ラクトミン	わかもと整腸薬*	わかもと製薬
ラクトミン(フェカリス菌・アシドフィル ス菌)・ビフィズス菌・ジメチルポリシ ロキサン	ラッパ整腸薬 BF*	大幸薬品
宮入菌(酪酸菌)末	強ミヤリサン(錠)*	ミヤリサン製薬
コンク・アシドフィルス菌末・コンク・ビフィ ズス菌末・コンク・フェカリス菌末	新ビオフェルミン S 錠* 新ビオフェルミン S 細粒*	ビオフェルミン製薬 ビオフェルミン製薬

(10) アレルギー用薬(鼻炎内服薬を含む)

(注意)

- メチルエフェドリン、プソイドエフェドリンは競技会(時)禁止物質。(WADA 禁止表 S6.興奮薬、b.特定物質)
- カフェイン、フェニレフリンは 2004.1.1 より禁止物質からモニタリング物質に変更となり使用可能であるが、検査結果は従来通り報告されることがある。
→アレルギー用薬にもモニタリング物質が含まれている。
- 市販のアレルギー用薬には禁止物質やモニタリング物質を配合する薬が多い。
→生薬を配合するものにも注意が必要。

＜使用可能薬例＞

成分名	代表的な販売名	販売会社名
メキタジン	ストナリニ・ガード ポジナール M 錠	佐藤製薬 ノーエチ薬品
メキタジン・リボフラビン・ピリドキシン塩 酸塩・ニコチン酸アミド	ピロット A 錠	全薬工業
ジフェンヒドラミン塩酸塩	レスタミンコーワ糖衣錠	興和
クロルフェニラミンマレイン酸塩・グルコン酸 カルシウム水和物・アスコルビン酸散	タミナス A 錠	湧永製薬
クロルフェニラミンマレイン酸塩・グリチ ルリチン酸カリウム・リン酸ピリドキサー ル	アレギトール	日邦薬品工業
クロルフェニラミンマレイン酸塩・グリチ ルリチン酸カリウム・ピリドキシン塩酸 塩・グルコン酸カルシウム水和物	アレルギーール錠	第一三共ヘルスケア
ケトチフェンマル酸塩	コンタック 600 ファースト ザジテン AL 鼻炎カプセル ヒストミン鼻炎カプセル Z	グラクソ・スミスクライン・コンシュー マー・ヘルスケア・ジャパン グラクソ・スミスクライン・コンシュー マー・ヘルスケア・ジャパン 小林薬品工業
アゼラスチン塩酸塩	スカイナーAL 錠	エーザイ
エピナスチン塩酸塩	アレジオン 10 アレジオン 20	エスエス製薬 エスエス製薬

フェキソフェナジン塩酸塩	アレグラ FX アレグラFXジュニア	久光製薬 久光製薬
セチリジン塩酸塩	コンタック鼻炎 Z ストナリニ Z	グラクソ・スミスクライン・コンシューマー・ヘルスケア・ジャパン 佐藤製薬
エバスタチン	エバステル AL	興和
ペミロラストカリウム	アレギサール鼻炎	田辺三菱製薬

(11) 点鼻薬

(注意)

- 多くの点鼻薬には、ナファゾリン(イミダゾール誘導体)などの血管収縮剤や糖質コルチコイドなどの競技会(時)禁止物質またはその関連物質が含まれている。(WADA 禁止表 S6.興奮薬、S9.糖質コルチコイド)
 - 糖質コルチコイドは、経口使用、経直腸使用、静脈内使用、筋肉内使用はすべて禁止、それ以外の使用経路は禁止されない。なお、糖質コルチコイドの使用は監視プログラムに掲載されるため、モニターされる。
 - ナファゾリン、テトラヒドロゾリン等のイミダゾール誘導体は、点鼻を含む局所使用が認められている。しかし、何回も多量に使用して体内に吸収されると、アンチ・ドーピング規則違反が疑われる可能性がある。

<使用可能薬例>

成分名	代表的な販売名	販売会社名
クロモグリク酸ナトリウム・ナファゾリン塩酸塩・クロルフェニラミンマレイン酸塩	ナザールブロック	佐藤製薬
ナファゾリン塩酸塩・クロルフェニラミンマレイン酸塩・ベンザルコニウム塩化物	クールワン鼻スプレー	杏林製薬
ナファゾリン塩酸塩・クロルフェニラミンマレイン酸塩・塩酸リドカイン・ベンゼトニウム塩化物	新ルル点鼻薬	第一三共ヘルスケア
塩酸テトラヒドロゾリン・クロルフェニラミンマレイン酸塩・ベンゼトニウム塩化物・リドカイン	ベンザ鼻炎スプレー	武田コンシューマーヘルスケア
オキシメタゾリン塩酸塩	ナシビン M スプレー	佐藤製薬
ケトチフェンフマル酸塩	ザジテン AL 鼻炎スプレー α	グラクソ・スミスクライン・コンシューマー・ヘルスケア・ジャパン
ケトチフェンフマル酸塩・ナファゾリン塩酸塩	パブロン点鼻クイック	大正製薬
ベクロメタゾンプロピオン酸エステル	コンタック鼻炎スプレー<季節性アレルギー専用> ナザール α AR<季節性アレルギー専用> エージーアレルカット EX<季節性アレルギー専用>	グラクソ・スミスクライン・コンシューマー・ヘルスケア・ジャパン 佐藤製薬 第一三共ヘルスケア

(12) 吐き気・乗り物酔い予防薬

(注意)

- 吐き気・乗り物酔いの予防薬には、カフェインを含むものが多数ある。
- カフェインは 2004.1.1 より禁止物質からモニタリング物質に変更となり禁止されないが、検査結果は従来通り報告される。

<使用可能薬例>

成分名	代表的な販売名	販売会社名
塩酸メクリジン・ピリドキシン塩酸塩	スカイラブソフト	伊丹製薬
塩酸メクリジン・スコポラミン臭化水素酸塩水和物	乗り物酔い止め QD錠 タケダ乗り物酔い止め	第一三共ヘルスケア 武田コンシューマーヘルスケア
マレイン酸フェニラミン・アミノ安息香酸エチル・スコポラミン臭化水素酸塩水和物・無水カフェイン・ピリドキシン塩酸塩	アネロン「ニスキャップ」	エスエス製薬
d-クロルフェニラミンマレイン酸塩・スコポラミン臭化水素酸塩水和物	トラベルミン チュロップぶどう味 トラベルミン チュロップレモン味 センパア QT センパア QT<ジュニア>	エーザイ エーザイ 大正製薬 大正製薬
塩酸メクリジン・ジプロフィリン	トリブラ S錠	大木製薬
ジフェンヒドラミンサリチル酸塩・ジプロフィリン	トラベルミン マイトラベル錠	エーザイ 興和

(13) 催眠・鎮静薬

(注意)

- 運動パフォーマンスの低下と競技中の事故に注意！
→服薬による競技能力低下が考えられる。

<使用可能薬例>

成分名	代表的な販売名	販売会社名
ジフェンヒドラミン塩酸塩	グ・スリーP ドリエル ネオデイ	第一三共ヘルスケア エスエス製薬 大正製薬

(14) 鉄欠乏性貧血用薬

(注意)

- 生薬由来成分が配合されている鉄剤は注意。
→成分が確認できるかチェックする。

<使用可能薬例>

成分名	代表的な販売名	販売会社名
溶性ピロリン酸第二鉄・アスコルビン酸・トコフェロール酢酸エステル・シアノコバラミン・葉酸	マスチゲン錠	日本臓器製薬
溶性ピロリン酸第二鉄・シアノコバラミン・葉酸	ファイチ ヘマニック	小林製薬 全薬工業

(15) 痔疾用薬

(注意)

- 多くの痔疾用の坐薬・軟膏には、血管収縮剤や糖質コルチコイドなどの競技会(時)禁止物質が含まれている。(WADA 禁止表 S6.興奮薬、S9.糖質コルチコイド)
 - 糖質コルチコイドは、経口使用、静脈内使用、筋肉内使用、経直腸使用はすべて禁止。
 - 糖質コルチコイドを含む注入軟膏・坐剤などを直腸経由で使用することは禁止。

<使用可能薬例>

成分名	代表的な販売名	販売会社名
リドカイン・グリチルレチン酸・アラントイン・トコフェロール酢酸エステル	ボラギノール M 軟膏 ボラギノール M 坐剤	武田コンシューマーヘルスケア 武田コンシューマーヘルスケア
リドカイン・酸化亜鉛・クロルヘキシジン塩酸塩・アラントイン・グリチルレチン酸・トコフェロール酢酸エステル・メントール	レック H 軟膏 レック H 坐剤	湧永製薬 湧永製薬

(16) 女性用薬(膣カンジダ関連薬)

<使用可能薬例>

成分名	代表的な販売名	販売会社名
クロトリマゾール	エンペシド L	佐藤製薬
オキシコナゾール硝酸塩	オキナゾール L100 フェミニーナ 膣カンジダ錠	田辺三菱製薬 小林製薬
ミコナゾール硝酸塩	メディトリート メディトリートクリーム	大正製薬 大正製薬
イソコナゾール硝酸塩	メンソレータムフレディ CC 膣錠 メンソレータムフレディ CC クリーム	ロート製薬 ロート製薬

(17) 目薬

<①感染症、②ビタミン類・疲れ目、③人工涙液・ドライアイ、④洗眼薬、⑤花粉症・抗アレルギー>

(注意)

- ナファゾリンなど(イミダゾール誘導体)の血管収縮剤は、点眼を含む局所使用が認められている。しかし、何回も多量に使用して体内に吸収されると、アンチ・ドーピング規則違反が疑われる可能性がある。(WADA 禁止表 S6.興奮薬)

<使用可能薬例>

成分名	代表的な販売名	販売会社名
① 感染症		
スルファメトキサゾール・グリチルリチン酸二カリウム・イブシロン-アミノカプロン酸・ピリドキシン塩酸塩	抗菌アイリス使いきり	大正製薬
スルファメトキサゾールナトリウム・グリチルリチン酸二カリウム	新サルファ・ルビー ノアール SG ノアールワン SG	日邦薬品 佐藤製薬 佐藤製薬
スルファメトキサゾール・グリチルリチン酸二カリウム	ユニーサルファ目薬	小林薬品工業
スルファメトキサゾール・グリチルリチン酸二カリウム・クロルフェニラミンマレイン酸塩・タウリン	サンテ抗菌新目薬	参天製薬

スルファメキサゾールナトリウム・グリチルリチン酸二カリウム・クロルフェニラミンマレイン酸塩・酢酸 d- α -トコフェロール	ロート抗菌目薬 EX	ロート製薬
スルファメキサゾールナトリウム・グリチルリチン酸二カリウム・イブシロン-アミノカブロン酸	ティアール抗菌目薬	オフテクス
② ビタミン類・疲れ目		
ネオスチグミンメチル硫酸塩・シアノコバラミン・フラビンアデニンジヌクレオチドナトリウム・タウリン・コンドロイチン硫酸エステルナトリウム	アイリス 50	大正製薬
ネオスチグミンメチル硫酸塩・イブシロン-アミノカブロン酸・クロルフェニラミンマレイン酸塩・ピリドキシン塩酸塩・酢酸 d- α -トコフェロール・タウリン・パンテノール	サンテ 40 プラス	参天製薬
クロルフェニラミンマレイン酸塩・ピリドキシン塩酸塩・シアノコバラミン・タウリン	サンテドゥ	参天製薬
シアノコバラミン・ピリドキシン塩酸塩・コンドロイチン硫酸エステルナトリウム・クロルフェニラミンマレイン酸塩・タウリン	ポポンピュメリ目薬 R	シオノギヘルスケア
タウリン・酢酸 d- α -トコフェロール・ピリドキシン塩酸塩・L-アスパラギン酸カリウム・ネオスチグミンメチル硫酸塩・クロルフェニラミンマレイン酸塩	ロートゴールド 40	ロート製薬
ネオスチグミンメチル硫酸塩・クロルフェニラミンマレイン酸塩・グリチルリチン酸二カリウム・イブシロン-アミノカブロン酸・L-アスパラギン酸カリウム・コンドロイチン硫酸エステルナトリウム	ノアール小児用	佐藤製薬
③ 人工涙液・ドライアイ		
塩化ナトリウム・塩化カリウム	アイブルーCL ソフトサンティア	カイゲンファーマ 参天製薬
塩化ナトリウム・ヒプロメロース	アスパラ目薬モイスト CL	田辺三菱製薬
塩化ナトリウム・塩化カリウム・ヒドロキシエチルセルロース	なみだロートコンタクト	ロート製薬
塩化ナトリウム・塩化カリウム・ブドウ糖	New マイティア CL-a	千寿製薬
コンドロイチン硫酸エステルナトリウム・塩化ナトリウム・L-アスパラギン酸カリウム・タウリン	スマイルコンタクトピュア	ライオン
塩化ナトリウム・塩化カリウム・タウリン	アイリス CL-I ネオ	大正製薬
④ 洗眼薬		
イブシロン-アミノカブロン酸・アラントイン・クロルフェニラミンマレイン酸塩・コンドロイチン硫酸エステルナトリウム・グリチルリチン酸二カリウム・ピリドキシン塩酸塩・トコフェロール酢酸エステル	アイボン d	小林製薬
イブシロン-アミノカブロン酸・グリチルリチン酸二カリウム・クロルフェニラミンマレイン酸塩・ピリドキシン塩酸塩・L-アスパラギン酸カリウム	アルガード目すっきり洗眼薬 α	ロート製薬
L-アスパラギン酸カリウム・タウリン・イブシロン-アミノカブロン酸・クロルフェニラミンマレイン酸塩・ピリドキシン塩酸塩・パンテノール・酢酸 d- α -トコフェロール	スマイルアミノウォッシュ	ライオン
イブシロン-アミノカブロン酸・クロルフェニラミンマレイン酸塩・グリチルリチン酸二カリウム・ピリドキシン塩酸塩・タウリン	フレッシュアイ AG	第一三共ヘルスケア

グリチルリチン酸二カリウム・ビタミンB6・酢酸 d- α -トコフェロール・L-アスパラギン酸カリウム・タウリン・コンドロイチン硫酸ナトリウム	ロート C キューブアミノモイスト	ロート製薬
⑤ 花粉症・抗アレルギー		
クロモグリク酸ナトリウム・クロルフェニラミンマレイン酸塩	アイラート AG サンテアルフリー新目薬 ビュークリア AL クール フォスターALG	全薬工業 参天製薬 ゼリア新薬工業 キョーリンリメディオ
クロモグリク酸ナトリウム・クロルフェニラミンマレイン酸塩・アズレンスルホン酸ナトリウム水和物・コンドロイチン硫酸エステルナトリウム	エーゼットアルファ	ゼリア新薬工業
ケトチフェンフマル酸塩	ザジテン AL 点眼薬	グラクソ・スミスクライン・コンシューマー・ヘルスケア・ジャパン
クロモグリク酸ナトリウム・クロルフェニラミンマレイン酸塩・プラノプロフェン・コンドロイチン硫酸エステルナトリウム	ロートアルガードクリアブロック Z ロートアルガードクリアマイルド Z	ロート製薬 ロート製薬
ケトチフェンフマル酸塩・グリチルリチン酸二カリウム・タウリン	アイリス AG ガード	大正製薬
アシタザノラスト水和物	アイフリーコーワ AL	興和
ベミロラストカリウム	ノアール P ガード点眼液	佐藤製薬
トラニラスト	ロートアルガードプレテクト	ロート製薬

(18) うがい薬・口腔内用薬

(注意)

- チョウジ(ヒゲナミンを含む)が配合されているうがい薬や歯痛・歯槽膿漏薬に注意。(WADA 禁止表 S2.ベータ2 作用薬)

<使用可能薬例> * : 医薬部外品

成分名	代表的な販売名	販売会社名
ポビドンヨード	浅田飴のどクールスプレー イソジンうがい薬 明治うがい薬 ネオヨジンうがいぐすり フィニッシュコーワ	浅田飴 シオノギヘルスケア Meiji Seika ファルマ 岩城製薬 興和
クロルヘキシジングルコン酸塩	うがい薬コロロ SP	サラヤ
アズレンスルホン酸ナトリウム水和物	セピーAZ のどスプレークール パブロンうがい薬 AZ ルルのどスプレー	ゼリア新薬工業 大正製薬 第一三共ヘルスケア
セチルピリジニウム塩化物水和物	ヴィックス メディケイテッド ドロップ B・C・GA・GF・HL・K・L・O・R・S・U* のどぬーるスプレークリアミント a*	大正製薬 小林製薬
セチルピリジニウム塩化物水和物・クロルフェニラミンマレイン酸塩・グリチルリチン酸二カリウム	ペレックストローチ	大鵬薬品工業
アズレンスルホン酸ナトリウム水和物・セチルピリジニウム塩化物水和物	チョコラ BB 口内炎リペアショット	エーザイ
アズレンスルホン酸ナトリウム・グリチルリチン酸・セチルピリジニウム塩化物水和物	サトウ口内軟膏	佐藤製薬
フッ化ナトリウム	エフコート	サンスター

(19) 皮膚外用薬

＜①殺菌消毒薬、②しもやけ・あかぎれ用薬、③液体絆創膏、④鎮痛・鎮痒・収れん・消炎薬、
⑤殺虫剤、⑥毛髪用薬、⑦化膿性疾患用薬、⑧抗真菌薬、⑨抗ウイルス薬＞

(注意)

- 多くの軟膏には糖質コルチコイドなどの競技会(時)禁止物質が含まれているが、2005.1.1 から皮膚外用薬としての糖質コルチコイドは使用可能になった。
→糖質コルチコイドは、経口使用、静脈内使用、筋肉内使用、経直腸使用はすべて禁止、それ以外の投与経路については禁止されない。なお、糖質コルチコイドの使用は監視プログラムに掲載されるため、モニターされる。

＜使用可能薬例＞ * :医薬部外品

成分名	代表的な販売名	販売会社名
① 殺菌消毒薬		
ポビドンヨード	イソジンきず薬 イソジン軟膏	シオノギヘルスケア シオノギヘルスケア
オキシドール	オキシドール	各社
ベンザルコニウム塩化物	オスバン S ラビネット P	武田コンシューマーヘルスケア 健栄製薬
クロルヘキシジングルコン酸塩	ヒビスコール S	サラヤ
セチルピリジニウム塩化物水和物・クロルフェニラミンマレイン酸塩・ジブカイン塩酸塩・ナファゾリン塩酸塩	キズアワワ	小林製薬
ベンザルコニウム塩化物・ナファゾリン塩酸塩・ジフェンヒドラミン塩酸塩・ジブカイン塩酸塩	新レブメント-FN	湧永製薬
ベンゼトニウム塩化物・アラントイン・クロルフェニラミンマレイン酸塩	マキロン S	第一三共ヘルスケア
ベンゼトニウム塩化物・アラントイン	ムヒのきず液	池田模範堂
② しもやけ・あかぎれ用薬		
白色ワセリン	白色ワセリン	各社
ヘパリン類似物質	HP クリーム アットノン	グラクソ・スミスクライン・コンシューマー・ヘルスケア・ジャパン 小林製薬
ヘパリン類似物質・ジフェンヒドラミン・トメントール	シモアキュア	小林製薬
ビタミン E 酢酸エステル・ニコチン酸ベンジルエステル・ジフェンヒドラミン・グリチルリチン酸二カリウム	ハイスキール	佐藤製薬
③ 液体絆創膏		
ピロキシリン	サカムケア a	小林製薬
ピロキシリン・d-カンフル	コロスキン	東京甲子社
④ 鎮痛・鎮痒・収れん・消炎薬		
インドメタシン	インサイドテープ バンテリンコーワ新ミニパット	エスエス製薬 興和
インドメタシン・トメントール	サロンパス EX バンテリンコーワ液 S バンテリンコーワゲル LT	久光製薬 興和 興和
ケトプロフェン・トメントール	オムニードケトプロフェンパップ	帝國製薬

フェルビナク	ナボリン フェルビナク 70 パスタイム FX7 フェイタスシップ	エーザイ 祐徳薬品工業 久光製薬
フェルビナク・トメントール	サロメチール FB ゲル α ゼノールエクサム SX ゼノールエクサム液ゲル	佐藤製薬 大鵬薬品工業 大鵬薬品工業
ジクロフェナクナトリウム	サロメチールジクロローション ジクロテクト PRO テープ ボルタレン EX テープ ボルタレン AC ローション	佐藤製薬 大正製薬 グラクソ・スミスクライン・コンシューマー・ヘルスケア・ジャパン グラクソ・スミスクライン・コンシューマー・ヘルスケア・ジャパン
ジクロフェナクナトリウム・トメントール	ジクロテクト PRO スプレー フェイタス Zα ローション ボルタレン EX スプレー	大正製薬 久光製薬 グラクソ・スミスクライン・コンシューマー・ヘルスケア・ジャパン
ロキソプロフェンナトリウム水和物	ロキソニン S テープ ロキソニン S パップ ロキソニン S ゲル	第一三共ヘルスケア 第一三共ヘルスケア 第一三共ヘルスケア
サリチル酸グリコール・dl-トメントール・グリチルレチン酸	アイスラブゲル	ロート製薬
サリチル酸グリコール・トメントール・ビタミン E 酢酸エステル	トクホン E	大正製薬
サリチル酸メチル・トメントール・dl-カンフル・ノナン酸バニルアミド・クロルフェニラミンマレイン酸塩・チモール	アンメルツヨココ	小林製薬
サリチル酸メチル・トメントール・ハッカ油・dl-カンフル・ノニル酸ワニルアミド・トコフェロール酢酸エステル	メンフラ A	大正製薬
サリチル酸グリコール・トメントール・ノニル酸ワニルアミド・ビタミン E 酢酸エステル・グリチルリチン酸	トクホン チール A	大正製薬
クロタミト・ジフェンヒドラミン塩酸塩・グリチルレチン酸・アラントイン・イソプロピルメチルフェノール・トコフェロール酢酸エステル	オイラックスソフト	第一三共ヘルスケア
ジフェンヒドラミン塩酸塩・リドカイン・グリチルレチン酸・パンテノール・トコフェロール酢酸エステル	近江兄弟社メンターム EX ソフト	近江兄弟社
リドカイン・トコフェロール酢酸エステル・ジフェンヒドラミン塩酸塩・イソプロピルメチルフェノール	フェミニーナ軟膏 S	小林製薬
ジフェンヒドラミン・グリチルレチン酸・トメントール・dl-カンフル・イソプロピルメチルフェノール	ムヒ S	池田模範堂
ジフェンヒドラミン塩酸塩・パンテノール・トコフェロール酢酸エステル・グリチルレチン酸	ムヒソフト GX ムヒソフト GX 乳状液	池田模範堂 池田模範堂
クロタミト・ジフェンヒドラミン・グリチルレチン酸・イソプロピルメチルフェノール・ビタミン E 酢酸エステル	ユースキン I ユースキン I ローション ユースキン N	ユースキン製薬 ユースキン製薬 ユースキン製薬
ジフェンヒドラミン塩酸塩・酸化亜鉛・グリチルレチン酸	レスタミンコーワパウダークリーム	興和

ウフェナマート・ジフェンヒドราม ン・グリチルレチン酸	ロバック U	武田コンシューマーヘルスケア
⑤ 殺虫薬		
ディート	キンカン虫よけスプレーP* サラテクト FA スキンベープミスト SH ムヒの虫よけムシペール α	金冠堂 アース製薬 フマキラー 池田模範堂
⑥ 毛髪用薬		
ミノキシジル	リアップ	大正製薬
⑦ 化膿性疾患用薬		
イブプロフェンピコノール	エバユースにきび薬 フレッシュアクネクリーム	第一三共ヘルスケア 久光製薬
イブプロフェンピコノール・イソ ロピルメチルフェノール	ペアアクネクリーム W	ライオン
クロルヘキシジングルコン酸塩	オロナイン H 軟膏	大塚製薬
コリスチン硫酸塩・バシトラシ ン	ドルマイシン軟膏	ゼリア新薬工業
オキシテトラサイクリン塩酸塩・ ポリミキシン B 硫酸塩	テラマイシン軟膏 a	ジョンソン・エンド・ジョンソン
⑧ 抗真菌薬		
アモロルフィン塩酸塩	トークール	杏林製薬
ラノコナゾール・クロルフェニラミン マレイン酸塩・クロタミト ン・グリチルレチン酸・トメントール	ピロエース Z ジェットスプレー	第一三共ヘルスケア
ブテナフィン塩酸塩・クロタミト ン・グリチルレチン酸・トメントール・ベンザ ルコニウム塩化物	スコルバ EX	武田コンシューマーヘルスケア
ブテナフィン塩酸塩・塩酸リドカイン ・dl-カンフル	ラマストーン MX2 ラマストーン MX2 液 ラマストーン MX2 ゲル	佐藤製薬 佐藤製薬 佐藤製薬
テルビナフィン塩酸塩	ラミシール AT 液 ラミシール AT クリーム	グラクソ・スミスクライン・コンシュ ーマー・ヘルスケア・ジャパン グラクソ・スミスクライン・コンシュ ーマー・ヘルスケア・ジャパン
テルビナフィン塩酸塩・ジフェンヒド ラミン塩酸塩・グリチルレチン酸・イ ソプロピルメチルフェノール	バリアクト Hi 液 バリアクト Hi クリーム	ゼリア新薬工業 ゼリア新薬工業
オキシコナゾール硝酸塩・リドカ イン・クロタミト ン・グリチルレチ ン酸・トメントール	ニュータムシチンキゴールド a	小林製薬
ビホナゾール	エーワン L エーワン L クリーム エーワン L スプレー	新生薬品 新生薬品 新生薬品
ミコナゾール硝酸塩・クロタミト ン・リドカイン・グリチルレチン酸 ニカリウム・尿素	ダマリン L ダマリン S	大正製薬 大正製薬
⑨ 抗ウイルス薬		
アシクロビル	アクチビア軟膏 ヘルペシアクリーム	グラクソ・スミスクライン・コンシュ ーマー・ヘルスケア・ジャパン 大正製薬
ビダラビン	アラセナ S アラセナ S クリーム	佐藤製薬 佐藤製薬

6. 使用可能薬リスト 2018 年版 / 医療用医薬品:ETHICAL DRUGS

はじめに

- 禁止物質を含まない、あるいは禁止物質が含まれていても使用方法(禁止表で規定される方法や添付文書記載の用法・用量)を守れば許可される国内の医療用医薬品の例をあげました。
- 禁止物質には「常に禁止される物質(競技会(時)及び競技会外)」と「競技会(時)に禁止される物質」があります。
- 使用可能薬リストの医薬品は、主要な製品を記載してあります。記載以外にも同等な医薬品がある場合もあります。メーカー名は(製造販売-発売・販売)です。
- ジェネリック医薬品(後発医薬品)は、先発医薬品と同一の有効成分を含有し、基本的には変わりません。
- 生薬や植物由来成分等は、その全ての詳細な内容成分を把握することが困難なため、これらを含む製品は、基本的に使用可能薬には掲載していません。
- **ここにあげた薬だけが許可されているわけではありません。一部の例示であり、他にも使える薬は数多くあります。**

(1) 解熱・鎮痛・抗炎症薬

<①非ピリン系解熱鎮痛薬、②配合剤、③非ステロイド性抗炎症薬、④片頭痛治療薬>

● かぜ薬についての基本的な考え方

カフェインなどが禁止物質から外れたため、禁止物質を含む総合感冒薬は少なくなった。しかし、カフェインは禁止物質からは外れたが、モニタリング物質として使用をモニターされる。

いずれにせよ、かぜのウイルスに直接作用する薬はないので、症状に合わせて禁止物質を含まない薬を選択し、使用する方が安全である。

(注意)

- エフェドリン、メチルエフェドリン、プソイドエフェドリン、麻黄・半夏(いずれもエフェドリン類を含む)は競技会(時)禁止物質。(WADA 禁止表 S6.興奮薬、b.特定物質)
- よく使われる漢方薬(葛根湯・小青竜湯・麻黄湯・麻黄附子細辛湯など)には禁止物質(麻黄・附子・細辛)が含まれている。
→漢方のかぜ薬は穏やかと思われがちだが、麻黄にはエフェドリン類、附子・細辛にはヒゲナミンなどの禁止物質が含まれている。
- モニタリング物質のカフェイン(2004.1.1 より禁止物質からモニタリング物質に変更)、トラマドールは使用可能であるが、検査結果は従来通り報告されることがある。
- 静脈内注入および/または静脈内注射で、12 時間あたり 100mL を超える場合は禁止される。但し、入院*、外科手術、または臨床検査のそれぞれの過程において正当に受ける場合は除く。
* JADA の日本語訳では「入院」となっていますが、原文(英語)は「in the course of hospital treatments」であり、本邦に当てはめれば「病院(あるいは有床診療所)での治療(入院・外来)」とも受け取れます。TUE 申請に関する事項ですので、詳細は JADA にお問い合わせ下さい。なお、JADA のホームページには、「無床診療所での静脈内注入および/または静脈注射で、12 時間あたり計 100mL を超える場合は TUE が必要であることに注意してください。」との記載があります。

<使用可能薬例>

成分名	代表的な販売名(メーカー名)
① 非ピリン系解熱鎮痛薬	
アセトアミノフェン(パラセタモール)	カロナール(あゆみ)他
② 配合剤(頭痛、感冒など)	
アスピリン・ダイアルミネート	バファリン配合錠 A330(ライオン-エーザイ)他
アンチピリン・カフェイン・クエン酸	ミグレニン(各社)
シメトリド・無水カフェイン	キョーリン AP2 配合顆粒(杏林)

サリチルアミド・アセトアミノフェン・無水カフェイン・プロメタジンメチレンジサリチル酸塩	PL 配合顆粒(塩野義)、幼児用 PL 配合顆粒(塩野義)、ピーエイ配合錠(全星-全星、田辺三菱、田辺製薬販売、沢井、ニプロ)、トーフチーム配合顆粒(東和)他
サリチルアミド・アセトアミノフェン・無水カフェイン・クロルフェニラミンマレイン酸塩	ペレックス配合顆粒(大鵬)、小児用ペレックス配合顆粒(大鵬)
イソプロピルアンチピリン・アセトアミノフェン・アリルイソプロピルアセチル尿素・無水カフェイン	SG 配合顆粒(塩野義)
③ 非ステロイド性抗炎症薬	
－酸性抗炎症薬－	
アスピリン	アスピリン(各社)
アセメタシン	ランツジールコーワ錠(興和-興和創薬)
アンピロキシカム	フルカムカプセル(ファイザー)他
アンフェナクナトリウム水和物	フェナゾックスカプセル(Meiji Seika)
イブプロフェン	ブルフェン(科研)他
インドメタシン	インテバン SP(帝國)他
インドメタシンファルネシル	インフリー(エーザイ)
エトドラク	オステラック錠(あすか-武田)、ハイベン錠(日本新薬)他
オキサプロジン	アルボ錠(大正-大正富山)
ケトプロフェン	ケトプロフェン坐剤(各社)
ザルトプロフェン	ソレトン錠(日本ケミファ)、ペオン錠(ゼリア)他
ジクロフェナクナトリウム	ナボール SRカプセル(久光)、ボルタレン(ノバルティス)他
スリンダク	クリノリル錠(日医工-杏林)
セレコキシブ	セレコックス錠(アステラス)
ナブメトン	レリフェン錠(三和化学)
ナプロキセン	ナイキサン錠(田辺三菱-田辺製薬販売)
ピロキシカム	バキソ(富山化学-大正富山)他
プラノプロフェン	ニフラン錠(田辺三菱)他
フルルビプロフェン	フロベン(科研)他
メフェナム酸	ポンタール(第一三共)他
メロキシカム	モービック錠(日本ベーリンガー)他
モフェゾラク	ジソペイン錠(田辺三菱)
ロキソプロフェンナトリウム水和物	ロキソニン(第一三共)他
ロルノキシカム	ロルカム錠(大正-大正富山)
－塩基性抗炎症薬－	
チアラミド塩酸塩	ソランタール錠(アステラス)
－その他－	
プレガバリン	リリカカプセル(ファイザー)
④ 片頭痛治療薬	
エレクトリプタン臭化水素酸塩	レルパックス錠(ファイザー)
スマトリプタンコハク酸塩	イミグラン(GSK)他
ゾルミトリプタン	ゾーミック(アストラゼネカ)他
ナラトリプタン塩酸塩	アマージ錠(GSK)
リザトリプタン安息香酸塩	マクサルト(杏林-エーザイ)
塩酸ロメリジン	ミグシス錠(ファイザー)

(2) 中枢性筋弛緩薬

(注意)

- 静脈内注入および/または静脈内注射で、12 時間あたり 100mL を超える場合は禁止される。但し、入院*、外科手術、または臨床検査のそれぞれの過程において正当に受ける場合は除く。
* JADA の日本語訳では「入院」となっていますが、原文(英語)は「in the course of hospital treatments」であり、本邦に当てはめれば「病院(あるいは有床診療所)での治療(入院・外来)」とも受け取れます。TUE 申請に関する事項ですので、詳細は JADA にお問い合わせ下さい。なお、JADA のホームページには、「無床診療所での静脈内注入および/または静脈注射で、12 時間あたり計 100mL を超える場合は TUE が必要であることに注意してください。」との記載があります。

<使用可能薬例>

成分名	代表的な販売名(メーカー名)
アフロクアロン	アロフト錠(田辺三菱-田辺製薬販売)他
エペリゾン塩酸塩	ミオナール(エーザイ)他
クロルフェネシンカルバミン酸エステル	リンラキサー錠(大正-大正富山)他
チザニジン塩酸塩	テルネリン(ノバルティス)他

(3) 鎮咳・去痰薬

(注意)

- エフェドリン、麻黄・半夏(いずれもエフェドリン類を含む)、メチルエフェドリン、プソイドエフェドリン、附子・丁子・細辛・南天実・呉茱萸(いずれもヒゲナミンを含む)、メキシフェナミン、トリメキノールは禁止物質。(WADA 禁止表 S3.ベータ 2 作用薬、S6.興奮薬)
→メキシフェナミン、トリメキノールは WADA 禁止表に名称の記載はないが、類似の化学構造または類似の薬理効果を有するものとして禁止される。
- コデインは、2017.1.1 よりモニタリング物質に追加され、禁止はされないが、検査結果は報告される。
- 静脈内注入および/または静脈内注射で、12 時間あたり 100mL を超える場合は禁止される。但し、入院*、外科手術、または臨床検査のそれぞれの過程において正当に受ける場合は除く。
* JADA の日本語訳では「入院」となっていますが、原文(英語)は「in the course of hospital treatments」であり、本邦に当てはめれば「病院(あるいは有床診療所)での治療(入院・外来)」とも受け取れます。TUE 申請に関する事項ですので、詳細は JADA にお問い合わせ下さい。なお、JADA のホームページには、「無床診療所での静脈内注入および/または静脈注射で、12 時間あたり計 100mL を超える場合は TUE が必要であることに注意してください。」との記載があります。

<使用可能薬例>

成分名	代表的な販売名(メーカー名)
—中枢性鎮咳薬—	
エプラジノン塩酸塩	レスプレン錠(中外)
クロペラスチン	フスタゾール(田辺三菱)
クロフェタノール塩酸塩	コルドリン(日本新薬)
コデインリン酸塩水和物	コデインリン酸塩(各社)
ジメモルファンリン酸塩	アストミン(オーファンパシフィック)他
チベピジンヒベンズ酸塩	アスベリン(田辺三菱-田辺製薬販売)
デキストロメトर्फアン臭化水素酸塩水和物	メジコン散・錠(塩野義)他
デキストロメトर्फアン臭化水素酸塩水和物・クレゾールスルホン酸カリウム	メジコン配合シロップ(塩野義)
ペントキシベリンクエン酸塩	トクレススパンスールカプセル(大日本住友)他
ベンプロペリンリン酸塩	フラベリック錠(ファイザー)

ー去痰薬ー L-カルボシステイン	ムコダイン(杏林)他
アンブロキシール塩酸塩	ムコソルバン(帝人)、ムコサール(日本ベーリンガー)他
フドステイン	クリアナール(田辺三菱)他
ブロムヘキシン塩酸塩	ビソルボン錠・細粒(日本ベーリンガー)他

(4) 気管支拡張薬・喘息・COPD 治療薬

(注意)

- ベータ2作用薬は常時禁止物質。(WADA 禁止表 S3.ベータ2作用薬)
- 禁止物質「ベータ2作用薬」のうち、吸入サルブタモール(24時間で最大1600 μ g、12時間ごとに800 μ gを超えない)*、吸入ホルモテロール(24時間で最大投与量54 μ g)*および吸入サルメテロール(24時間で最大200 μ g)は禁止されず、TUEも不要。
*尿中サルブタモールが1000ng/mL、あるいは尿中ホルモテロールが40ng/mLを超える場合は、違反が疑われる分析報告(AAF)として扱われる。
→サルタノールインヘラー、ベネトリン吸入液、アイロミールエアゾール、シムビコートタービューヘイラー(ブデソニドとの配合剤)、アドエアエアゾール、アドエアディスカス(いずれもフルチカゾンプロピオン酸エステルとの配合剤)、フルティフォームエアゾール(フルチカゾンプロピオン酸エステルとの配合剤)、セレベントロタディスク、セレベントディスカス、オーキシスタービューヘイラー**の10製品が上記3成分を含有する吸入薬。
**ホルモテロールは24時間で最大18 μ g。
- 糖質コルチコイドの吸入使用は禁止されない。
- エフェドリン、メチルエフェドリン、プソイドエフェドリン、麻黄・半夏(いずれもエフェドリン類を含む)、附子・丁子・細辛・南天実・呉茱萸(いずれもヒゲナミンを含む)は禁止物質。(WADA 禁止表 S3.ベータ2作用薬、S6.興奮薬)
- 静脈内注入および/または静脈内注射で、12時間あたり100mLを超える場合は禁止される。但し、入院*、外科手術、または臨床検査のそれぞれの過程において正当に受ける場合は除く。
* JADA の日本語訳では「入院」となっていますが、原文(英語)は「in the course of hospital treatments」であり、本邦に当てはめれば「病院(あるいは有床診療所)での治療(入院・外来)」とも受け取れます。TUE 申請に関する事項ですので、詳細は JADA にお問い合わせ下さい。なお、JADA のホームページには、「無床診療所での静脈内注入および/または静脈注射で、12時間あたり計100mLを超える場合は TUE が必要であることに注意してください。」との記載があります。

<使用可能薬例>

成分名	代表的な販売名(メーカー名)
ーキサンチン誘導体ー アミノフィリン水和物	ネオフィリン原末・錠(サンノーバー-エーザイ)
テオフィリン	テオドール(田辺三菱)、ユニフィル LA 錠(大塚)、テオロング(エーザイ)、スロービッド(サンド)他
ーロイコトリエン拮抗薬ー プラニルカスト水和物	オノン(小野)他
モンテルカストナトリウム	キプレス(杏林)、シングレア(MSD)他
ー抗コリン薬(吸入)ー イプラトロピウム臭化物水和物	アトロベントエロゾル(帝人)
グリコピロニウム臭化物	シーブリー吸入用カプセル(ノバルティス)
チオトロピウム臭化物水和物	スピリーバ(日本ベーリンガー)

＜使用可能薬例(吸入ベータ2作用薬、吸入ベータ2作用薬+吸入糖質コルチコイド、吸入糖質コルチコイド)＞

成分名	代表的な販売名(メーカー名)
－吸入ベータ2作用薬－ サルブタモール硫酸塩	アイロミールエアゾール(大日本住友)、サルタノールインヘラー(GSK)、ベネトリン吸入液(GSK)
サルメテロールキシナホ酸塩	セレベント(GSK)
ホルモテロールフマル酸塩水和物	オーキシスタービューヘイラー(アストラゼネカ-Meiji Seika)
－吸入ベータ2作用薬 ＋吸入糖質コルチコイド－ サルメテロールキシナホ酸塩・フルチカゾンプロピオン酸エステル	アドエア(GSK)
ホルモテロールフマル酸塩水和物・ブデソニド	シムビコートタービューヘイラー(アストラゼネカ-アステラス)
ホルモテロールフマル酸塩水和物・フルチカゾンプロピオン酸エステル	フルティフォームエアゾール(杏林)
－吸入糖質コルチコイド－ シクレソニド	オルベスコインヘラー(帝人)
ブデソニド	パルミコート(アストラゼネカ)
フルチカゾンプロピオン酸エステル	フルタイド(GSK)
ベクロメタゾンプロピオン酸エステル	キュバールエアゾール(大日本住友)
モメタゾンフランカルボン酸エステル	アズマネックスツイストヘラー(MSD)

(5) アレルギー治療薬

(注意)

- 糖質コルチコイドの経口使用、静脈内使用、筋肉内使用、経直腸使用は競技会(時)禁止。(WADA 禁止表 S9.糖質コルチコイド)
→糖質コルチコイドは投与形態により申請方法が異なる。経口使用、静脈内使用、筋肉内使用、経直腸使用は TUE が必要、それ以外の使用経路は禁止されない。なお、糖質コルチコイドの使用は監視プログラムに掲載されるため、モニターされる。
- プソイドエフェドリンは競技会(時)禁止物質(WADA 禁止表 S6.興奮薬、b.特定物質)で、尿中濃度 150 μg/mL を超える場合は禁止される。
→プソイドエフェドリンが配合されているディレグラ配合錠(サノフィ)がアレルギー性鼻炎治療薬として販売されている。
- 静脈内注入および/または静脈内注射で、12 時間あたり 100mL を超える場合は禁止される。但し、入院*、外科手術、または臨床検査のそれぞれの過程において正当に受ける場合は除く。
* JADA の日本語訳では「入院」となっていますが、原文(英語)は「in the course of hospital treatments」であり、本邦に当てはめれば「病院(あるいは有床診療所)での治療(入院・外来)」とも受け取れます。TUE 申請に関する事項ですので、詳細は JADA にお問い合わせ下さい。なお、JADA のホームページには、「無床診療所での静脈内注入および/または静脈注射で、12 時間あたり計 100mL を超える場合は TUE が必要であることに注意してください。」との記載があります。

＜使用可能薬例＞

成分名	代表的な販売名(メーカー名)
－抗ヒスタミン薬－ クレマスチンフマル酸塩	タベジール(ノバルティス)、テルギン G(高田-マルホ)他
d-クロルフェニラミンマレイン酸塩	ポララミン錠・散・シロップ・ドライシロップ(高田)他
クロルフェニラミンマレイン酸塩	アレルギン散(第一三共)、クロダミンシロップ(日医工)、ネオレスタミンコーワ散(興和-興和創薬)他
ジフェンヒドラミン塩酸塩	レスタミンコーワ錠(興和-興和創薬)
シプロヘプタジン塩酸塩水和物	ペリアクチン(日医工)他

プロメタジン	ヒベルナ散・糖衣錠(田辺三菱)、ピレチア(高田)
メキタジン	ゼスラン(旭化成)、ニポラジン(アルフレッサ)他
－抗アレルギー薬－	
アゼラスチン塩酸塩	アゼプチン錠(エーザイ)他
エバスタチン	エバステル(大日本住友-Meiji Seika)他
エピナスチン塩酸塩	アレジオン(日本ベーリンガー)他
エメダスチンフマル酸塩	レミカットカプセル(興和-興和創薬)他
オキサトミド	セルテクト(協和発酵キリン)他
オロパタジン塩酸塩	アレロック(協和発酵キリン)他
クロモグリク酸ナトリウム	インターール(サノフィ)他
ケトチフェンフマル酸塩	ザジテン(ノバルティス)、ジキリオンシロップ(日医工-高田)他
スプラタストシル酸塩	アイピーディ(大鵬)他
セチリジン塩酸塩	ジルテック(ユーシービー-第一三共、GSK)他
デスロラタジン	デザレックス錠(MSD)
トラニラスト	リザベン(キッセイ)他
トラネキサム酸	トランサミンカプセル・錠・散・シロップ(第一三共)他
ヒドロキシジン	アタラックス(ファイザー)他
ビラスチン	ビラノア(大鵬)
フェキソフェナジン塩酸塩	アレグラ(サノフィ)他
ベポタスチンベシル酸塩	タリオン(田辺三菱)
ホモクロルシクリジン塩酸塩	ホモクロミン錠(エーザイ)他
ラマトロバン	バイナス錠(バイエル-日本新薬)
ルパタジンフマル酸塩	ルパフィン(帝国)
レボセチリジン塩酸塩	ザイザル(GSK)
ロラタジン	クラリチン(バイエル-塩野義)他

(6) 抗めまい薬(乗り物酔い予防)

(注意)

- 静脈内注入および/または静脈内注射で、12 時間あたり 100mL を超える場合は禁止される。但し、入院*、外科手術、または臨床検査のそれぞれの過程において正当に受ける場合は除く。
* JADA の日本語訳では「入院」となっていますが、原文(英語)は「in the course of hospital treatments」であり、本邦に当てはめれば「病院(あるいは有床診療所)での治療(入院・外来)」とも受け取れます。TUE 申請に関する事項ですので、詳細は JADA にお問い合わせ下さい。なお、JADA のホームページには、「無床診療所での静脈内注入および/または静脈注射で、12 時間あたり計 100mL を超える場合は TUE が必要であることに注意してください。」との記載があります。

<使用可能薬例>

成分名	代表的な販売名(メーカー名)
ジフェニドール塩酸塩	セファドール(日本新薬)他
ジフェンヒドラミンサリチル酸塩・ジプロフィン	トラベルミン配合錠(サンノーバー-エーザイ)
ジメンヒドリナート	ドラマミン錠(陽進堂)
ベタヒスチンメシル酸塩	メリスロン錠(エーザイ)他

(7) 胃腸薬

<①胃炎・胃潰瘍、②腹痛(鎮痙薬・粘膜分泌抑制薬)、③胃腸機能調整薬>

(注意)

- 局所麻酔薬(オキセサゼイン等)は 2004.1.1 から使用可能となった。
- 静脈内注入および/または静脈内注射で、12 時間あたり 100mL を超える場合は禁止される。但し、入院*、外科手術、または臨床検査のそれぞれの過程において正当に受ける場合は除く。
* JADA の日本語訳では「入院」となっていますが、原文(英語)は「in the course of hospital treatments」であり、本邦に当てはめれば「病院(あるいは有床診療所)での治療(入院・外来)」とも受け取れます。TUE 申請に関する事項ですので、詳細は JADA にお問い合わせ下さい。なお、JADA のホームページには、「無床診療所での静脈内注入および/または静脈注射で、12 時間あたり計 100mL を超える場合は TUE が必要であることに注意してください。」との記載があります。

<使用可能薬例>

成分名	代表的な販売名(メーカー名)
① 胃炎・胃潰瘍	
—H₂受容体拮抗薬—	
シメチジン	タガメット錠・細粒(大日本住友)、カイロック細粒(藤本)他
ニザチジン	アシノン錠(ゼリア)他
ファモチジン	ガスター錠・D 錠・散(アステラス)他
ラニチジン塩酸塩	ザンタック錠(GSK)他
ラフチジン	プロテカジン(大鵬)他
ロキサチジン酢酸エステル塩酸塩	アルタットカプセル・細粒(あすか-武田)他
—プロトンポンプ阻害薬—	
エソメプラゾール	ネキシウムカプセル(アストラゼネカ-第一三共)
オメプラゾール	オメプラール錠(アストラゼネカ)、オメプラゾン錠(田辺三菱)他
ラベプラゾールナトリウム	パリエット錠(エーザイ-EA ファーマ)他
ランソプラゾール	タケブロンカプセル・OD 錠(武田)他
—プロトンポンプ阻害・酸抑制—	
ボノプラザン	タケキャブ錠(武田)
—酸中和薬—	
乾燥水酸化アルミニウムゲル・水酸化マグネシウム	マーロックス懸濁用配合顆粒(サノフィ)、マルファ懸濁用配合顆粒(東洋製化-小野)他
合成ケイ酸アルミニウム	合成ケイ酸アルミニウム(各社)
—粘膜抵抗強化薬—	
アズレンスルホン酸ナトリウム水和物	アズノール(日本新薬)
アズレンスルホン酸ナトリウム水和物・L-グルタミン	マーズレン(寿)、グリマック配合顆粒(沢井)他
アルギン酸ナトリウム	アルロイド G(カイゲンファーマ)他
アルジオキサ	イサロン(あすか-武田)他
エカベトナトリウム水和物	ガストローム顆粒(田辺三菱)他
スクラルファート水和物	アルサルミン(中外)他
ポラプレジンク	プロマック(ゼリア)他
メチルメチオニンスルホニウムクロリド	キャベジン U コーワ錠(興和-興和創薬)他
—粘液産生・分泌促進薬—	
テプレノン	セルベックス(エーザイ-EA ファーマ)他
レバミピド	ムコスタ(大塚)他

一胃粘膜微小循環改善薬一 セトラキサート塩酸塩	ノイエル(第一三共エスファ)他
ソファルコン	ソロン(大正-大正富山)他
ベネキサート塩酸塩ベータデクス	ウルグートカプセル(塩野義)他
② 腹痛(鎮痙薬・粘膜分泌抑制薬)	
ブチルスコポラミン臭化物	ブスコパン錠(日本ベーリンガー)他
プロピウム臭化物	コリオパン(エーザイ)
チメピジウム臭化物水和物	セスデンカプセル・細粒(田辺三菱-田辺製薬販売)他
③ 胃腸機能調整薬	
アコチアミド塩酸塩水和物	アコファイド錠(ゼリア-アステラス)
イトプリド塩酸塩	ガナトン錠(マイラン EPD-アステラス)他
ジメチルポリシロキサン	ガスコン(キッセイ)他
ドンペリドン	ナウゼリン(協和発酵キリン)他
メクロプラミド	エリーテン錠(高田)、テルペラン錠(あすか-武田)、プリンペラン錠・細粒・シロップ(アステラス)他
モサプリドクエン酸塩水和物	ガスマチン(大日本住友)他

(8) 消化酵素

(注意)

- 丁子(ヒゲナミンを含む)は常時禁止物質。(WADA 禁止表 S3.ベータ2 作用薬)
→生薬を配合する健胃消化剤には、丁子を含むものがある。丁子には、ベータ2 作用をもつヒゲナミンが含まれるので注意。
- 静脈内注入および/または静脈内注射で、12 時間あたり 100mL を超える場合は禁止される。但し、入院*、外科手術、または臨床検査のそれぞれの過程において正当に受ける場合は除く。
* JADA の日本語訳では「入院」となっていますが、原文(英語)は「in the course of hospital treatments」であり、本邦に当てはめれば「病院(あるいは有床診療所)での治療(入院・外来)」とも受け取れます。TUE 申請に関する事項ですので、詳細は JADA にお問い合わせ下さい。なお、JADA のホームページには、「無床診療所での静脈内注入および/または静脈注射で、12 時間あたり計 100mL を超える場合は TUE が必要であることに注意してください。」との記載があります。

<使用可能薬例>

成分名	代表的な販売名(メーカー名)
ジアスメン・ジアスターゼ・オノテース・モルシン・ボンラーゼ・セルロシン A.P.・パンクレアチン・ポリパーゼ・オノプロゼ A	タフマック E(小野)
濃厚膵臓性消化酵素・細菌性脂肪分解酵素・アスペルギルス産生消化酵素・繊維素分解酵素	ペリチーム配合顆粒(塩野義)
ヒロダーゼ・マミターゼ・リパーゼ A・セルラーゼ AP3・濃厚パンクレアチン	ポリトーゼ(武田)

(9) 便秘治療薬

(注意)

- グリセリン(グリセロール)は 2018 年 WADA 禁止表 主要な変更の要約と注釈 に記載されている通り、禁止表から除外されました。

<使用可能薬例>

成分名	代表的な販売名(メーカー名)
一緩下剤一 カルメロースナトリウム(カルボキシメチルセルロースナトリウム)	バルコーゼ顆粒(サンノーバーエーザイ)、カルメロースナトリウム原末「マルイシ」(丸石)

酸化マグネシウム (略称:カマ、カマグ)	酸化マグネシウム(各社)、重質酸化マグネシウム(各社)、マグラックス(吉田)、マグミット(協和化工-丸石、日医工、シオエ、日本新薬、ニプロ)他
—刺激性下剤— センノシド A・B ピコスルファートナトリウム水和物	プルゼニド錠(サンファーマ)、センノシド錠(各社)他 ラキソベロン(帝人)、ピコダルム顆粒(日新:山形-ゼリア)、チャルドール(テバ)、スナイリンドライシロップ(マイラン EPD)他
ビサコジル	テレミンソフト坐薬(EA ファーマ-サンド)他
—浣腸剤— グリセリン	グリセリン浣腸(各社)
—その他— 炭酸水素ナトリウム・無水リン酸二水素ナトリウム	新レシカルボン坐剤(京都-ゼリア)
ルビプロストン	アミティーザカプセル(スキャンポ-マイラン EPD)

(10) 止痢・整腸薬

(注意)

- 静脈内注入および/または静脈内注射で、12 時間あたり 100mL を超える場合は禁止される。但し、入院*、外科手術、または臨床検査のそれぞれの過程において正当に受ける場合は除く。
* JADA の日本語訳では「入院」となっていますが、原文(英語)は「in the course of hospital treatments」であり、本邦に当てはめれば「病院(あるいは有床診療所)での治療(入院・外来)」とも受け取れます。TUE 申請に関する事項ですので、詳細は JADA にお問い合わせ下さい。なお、JADA のホームページには、「無床診療所での静脈内注入および/または静脈注射で、12 時間あたり計 100mL を超える場合は TUE が必要であることに注意してください。」との記載があります。

<使用可能薬例>

成分名	代表的な販売名(メーカー名)
—止痢薬— タンニン酸アルブミン	タンナルピン(各社)、タンニン酸アルブミン(各社)
天然ケイ酸アルミニウム	アドソルビン原末(第一三共)
ベルベリン塩化物水和物	キョウベリン錠(大峰堂-日本化薬)
ロペラミド塩酸塩	ロペミン(ヤンセン)他
—整腸薬— 耐性乳酸菌	エンテロノン-R 散(EA ファーマ)、ビオフェルミン R(ビオフェルミン-武田)、ラックビー-R 散(興和-興和創薬)、レベニン(わかもと)他
ビフィズス菌	ビオフェルミン錠剤(ビオフェルミン-武田)、ビフィズゲン散(日東-大日本住友)、ラックビー微粒 N(興和-興和創薬)他
酪酸菌	ミヤ BM(ミヤリサン)
ラクトミン	アタバニン散(日東-大日本住友)他
ラクトミン・糖化菌	ビオフェルミン配合散(ビオフェルミン-武田)
乾燥酵母	乾燥酵母エビオス(アサヒ-アサヒグループ食品、田辺三菱)、乾燥酵母(各社)
—過敏性腸症候群治療薬— チキジウム臭化物	チアトン(マイラン EPD)他
トリメブチンマレイン酸塩	セレキノン(田辺三菱)他
ポリカルボフィルカルシウム	コロネル(アステラス)、ポリフル(マイラン EPD)他
メベンゾラート臭化物	トランコロ錠(アステラス)他
ラモセトロン塩酸塩	イリボー(アステラス)

(11) 頻尿・過活動膀胱治療薬

(注意)

- 静脈内注入および／または静脈内注射で、12 時間あたり 100mL を超える場合は禁止される。但し、入院*、外科手術、または臨床検査のそれぞれの過程において正当に受ける場合は除く。
* JADA の日本語訳では「入院」となっていますが、原文(英語)は「in the course of hospital treatments」であり、本邦に当てはめれば「病院(あるいは有床診療所)での治療(入院・外来)」とも受け取れます。TUE 申請に関する事項ですので、詳細は JADA にお問い合わせ下さい。なお、JADA のホームページには、「無床診療所での静脈内注入および／または静脈注射で、12 時間あたり計 100mL を超える場合は TUE が必要であることに注意してください。」との記載があります。

<使用可能薬例>

成分名	代表的な販売名(メーカー名)
イミダフェナシン	ウリトス(杏林)、ステーブラ(小野)
オキシブチニン塩酸塩	ポラキス錠(サノフィ)、ネオキシテープ(久光-旭化成)他
コハク酸ソリフェナシン	ベシケア(アステラス)
酒石酸トルテロジン	デトルシールカプセル(ファイザー)
フェソテロジンフマル酸塩	トビエース錠(ファイザー)
フラボキサート塩酸塩	ブラダロン(日本新薬)他
プロピペリン塩酸塩	バップフォー(大鵬)他

(12) 前立腺肥大治療薬

(注意)

- 静脈内注入および／または静脈内注射で、12 時間あたり 100mL を超える場合は禁止される。但し、入院*、外科手術、または臨床検査のそれぞれの過程において正当に受ける場合は除く。
* JADA の日本語訳では「入院」となっていますが、原文(英語)は「in the course of hospital treatments」であり、本邦に当てはめれば「病院(あるいは有床診療所)での治療(入院・外来)」とも受け取れます。TUE 申請に関する事項ですので、詳細は JADA にお問い合わせ下さい。なお、JADA のホームページには、「無床診療所での静脈内注入および／または静脈注射で、12 時間あたり計 100mL を超える場合は TUE が必要であることに注意してください。」との記載があります。

<使用可能薬例>

成分名	代表的な販売名(メーカー名)
シロドシン	ユリーフ(キッセイ-第一三共)
タムスロシン塩酸塩	ハルナール D 錠(アステラス)他
ナフトピジル	フリバス(旭化成)他

(13) 肝疾患治療薬

(注意)

- 静脈内注入および／または静脈内注射で、12 時間あたり 100mL を超える場合は禁止される。但し、入院*、外科手術、または臨床検査のそれぞれの過程において正当に受ける場合は除く。
* JADA の日本語訳では「入院」となっていますが、原文(英語)は「in the course of hospital treatments」であり、本邦に当てはめれば「病院(あるいは有床診療所)での治療(入院・外来)」とも受け取れます。TUE 申請に関する事項ですので、詳細は JADA にお問い合わせ下さい。なお、JADA のホームページには、「無床診療所での静脈内注入および／または静脈注射で、12 時間あたり計 100mL を超える場合は TUE が必要であることに注意してください。」との記載があります。

<使用可能薬例>

成分名	代表的な販売名(メーカー名)
ウルソデオキシコール酸	ウルソ(田辺三菱)他
グリチルリチン酸モノアンモニウム・グリシン・DL-メチオニン	グリチロン配合錠(ミノファージェン-EA ファーマ)、ネオファージェン C 配合錠(大鵬)他

(14) 高脂血症用薬

(注意)

- 静脈内注入および/または静脈内注射で、12 時間あたり 100mL を超える場合は禁止される。但し、入院*、外科手術、または臨床検査のそれぞれの過程において正当に受ける場合は除く。
* JADA の日本語訳では「入院」となっていますが、原文(英語)は「in the course of hospital treatments」であり、本邦に当てはめれば「病院(あるいは有床診療所)での治療(入院・外来)」とも受け取れます。TUE 申請に関する事項ですので、詳細は JADA にお問い合わせ下さい。なお、JADA のホームページには、「無床診療所での静脈内注入および/または静脈注射で、12 時間あたり計 100mL を超える場合は TUE が必要であることに注意してください。」との記載があります。

<使用可能薬例>

成分名	代表的な販売名(メーカー名)
—HMG-CoA 還元酵素阻害薬— アトルバスタチンカルシウム水和物	リピトール錠(アステラス)他
シンバスタチン	リポバス錠(MSD)他
ピタバスタチンカルシウム水和物	リバロ(興和-興和創薬)
プラバスタチンナトリウム	メバロチン(第一三共)他
フルバスタチンナトリウム	ローコール錠(ノバルティス)他
ロスバスタチンカルシウム	クレストール(アストラゼネカ-塩野義)
—フィブラート系— クリノフィブラート	リポクリン錠(大日本住友)
フェノフィブラート	トライコア錠(マイラン EPD-帝人)、リピディル錠(あすか-科研、武田)他
ベザフィブラート	ベザトール SR 錠(キッセイ)、ベザリップ錠(中外)他
—プロブコール— プロブコール	シンレスタール(第一三共エスファ)、ロレルコ錠(大塚)他

(15) 血圧降下薬

<①Ca 拮抗薬、②ACE 阻害薬、③アンギオテンシン II 受容体拮抗薬、④α 遮断薬>

(注意)

- 全ての利尿薬は常時禁止物質。(WADA 禁止表 S5.利尿薬および隠蔽薬)
- ベータ遮断薬は特定競技において禁止。(WADA 禁止表 P2.ベータ遮断薬)
→ベータ遮断薬は 8 種目の競技において禁止(アーチェリー、射撃は常時禁止)。
- Ca 拮抗薬、ACE 阻害薬、アンギオテンシン II 受容体拮抗薬、クロニジンは使用可能。
- テルミサルタンの使用は監視プログラムに掲載されるため、モニターされる。
- 利尿薬が含有されている高血圧症治療配合剤(イルトラ、エカード、コディオ、プレミネント、ミコンビ他)も複数発売されているので注意。利尿薬の配合剤も禁止。
- 静脈内注入および/または静脈内注射で、12 時間あたり 100mL を超える場合は禁止される。但し、入院*、外科手術、または臨床検査のそれぞれの過程において正当に受ける場合は除く。
* JADA の日本語訳では「入院」となっていますが、原文(英語)は「in the course of hospital treatments」であり、本邦に当てはめれば「病院(あるいは有床診療所)での治療(入院・外来)」とも

受け取れます。TUE 申請に関する事項ですので、詳細は JADA にお問い合わせ下さい。なお、JADA のホームページには、「無床診療所での静脈内注入および/または静脈注射で、12 時間あたり計 100mL を超える場合は TUE が必要であることに注意してください。」との記載があります。

＜使用可能薬例＞

成分名	代表的な販売名(メーカー名)
① Ca 拮抗薬	
ージヒドロピリジン系ー	
第一世代	
ニカルジピン塩酸塩	ベルジピン錠・散・LA カプセル(アステラス)他
ニフェジピン	アダラート(バイエル)、セパミット(MSD)他
第二世代	
ニソルジピン	バイミカード錠(バイエル)他
ニルバジピン	ニバジール錠(アステラス)他
バルニジピン塩酸塩	ヒポカカプセル(アステラス)
ベニジピン塩酸塩	コニール錠(協和発酵キリン)他
マニジピン塩酸塩	カルスロット錠(武田)他
第三世代	
アゼルニジピン	カルブロック錠(第一三共)
アムロジピンベシル酸塩	アムロジン(大日本住友)、ノルバスク(ファイザー)他
ーベンゾチアゼピン系ー	
ジルチアゼム塩酸塩	ヘルベッサー錠・R カプセル(田辺三菱)他
② ACE 阻害薬	
アラセプリル	セタプリル錠(大日本住友)他
イミダプリル塩酸塩	タナトリル錠(田辺三菱)他
エナラプリルマレイン酸塩	レニベース錠(MSD)他
カプトプリル	カプトリル(第一三共エスファ)他
キナプリル塩酸塩	コナン錠(田辺三菱)
シラザプリル水和物	インヒベース錠(中外)他
テモカプリル塩酸塩	エースコール錠(第一三共)他
デラプリル塩酸塩	アデカット錠(武田)
トランドラプリル	オドリック錠(日本新薬)、プレラン錠(サノフィ)他
ベナゼプリル塩酸塩	チバセン錠(ノバルティス)他
ペリンドプリルエルブミン	コバシル錠(協和発酵キリン)他
リシノプリル水和物	ゼストリル錠(アストラゼネカ)、ロンゲス錠(塩野義)他
③ アンギオテンシンⅡ受容体拮抗薬	
アジルサルタン	アジルバ錠(武田)
イルベサルタン	アバプロ錠(大日本住友)、イルベタン錠(塩野義)
オルメサルタンメドキシミル	オルメテック OD 錠(第一三共)
カンデサルタンシレキセチル	プロプレス錠(武田)他
テルミサルタン	ミカルディス錠(日本ベーリンガー・アステラス)
バルサルタン	ディオバン(ノバルティス)他
ロサルタンカリウム	ニューロタン錠(MSD)他
④ α 遮断薬	
ドキサゾシンメシル酸塩	カルデナリン(ファイザー)他
ブナゾシン塩酸塩	デタントール(エーザイ)
プラゾシン塩酸塩	ミニプレス錠(ファイザー)

(16) 抗狭心薬

(注意)

- 静脈内注入および／または静脈内注射で、12 時間あたり 100mL を超える場合は禁止される。但し、入院*、外科手術、または臨床検査のそれぞれの過程において正当に受ける場合は除く。
* JADA の日本語訳では「入院」となっていますが、原文(英語)は「in the course of hospital treatments」であり、本邦に当てはめれば「病院(あるいは有床診療所)での治療(入院・外来)」とも受け取れます。TUE 申請に関する事項ですので、詳細は JADA にお問い合わせ下さい。なお、JADA のホームページには、「無床診療所での静脈内注入および／または静脈注射で、12 時間あたり計 100mL を超える場合は TUE が必要であることに注意してください。」との記載があります。

<使用可能薬例>

成分名	代表的な販売名(メーカー名)
硝酸イソソルビド	ニトロール錠・Rカプセル・スプレー(エーザイ)、フランドル(トーアエイヨーアステラス)、イソコロナール Rカプセル(佐藤-共和、日医工)他
ニトログリセリン	ニトロダーム TTS(ノバルティス)、ニトロペン舌下錠(日本化薬)、バソレーターテープ(三和化学)、ミオコールスプレー(トーアエイヨーアステラス)、ミリステープ(日本化薬)他

(17) 催眠・鎮静・抗不安薬

(注意)

- 国境を越えた移動には厳重な規制があるので要注意！
→入国する国の規制、また、日本国内へ持ち込む際の規制がある。
- フルニトラゼパム製剤(販売名:サイレース、ロヒプノール他)の米国への持ち込みは量に関係なく一切禁止。
→不明な点は各国大使館に問い合わせる。
- 運動パフォーマンスの低下と、競技中の事故に注意！
→服薬による競技能力低下が考えられる。
- 静脈内注入および／または静脈内注射で、12 時間あたり 100mL を超える場合は禁止される。但し、入院*、外科手術、または臨床検査のそれぞれの過程において正当に受ける場合は除く。
* JADA の日本語訳では「入院」となっていますが、原文(英語)は「in the course of hospital treatments」であり、本邦に当てはめれば「病院(あるいは有床診療所)での治療(入院・外来)」とも受け取れます。TUE 申請に関する事項ですので、詳細は JADA にお問い合わせ下さい。なお、JADA のホームページには、「無床診療所での静脈内注入および／または静脈注射で、12 時間あたり計 100mL を超える場合は TUE が必要であることに注意してください。」との記載があります。

<使用可能薬例>

成分名	代表的な販売名(メーカー名)
ーベンゾジアゼピン系ー <u>超短期作用型</u> トリアゾラム	ハルシオン錠(ファイザー)他
<u>短期作用型</u> プロチゾラム	レンドルミン(日本ベーリンガー)他
リルマザホン塩酸塩水和物	リスミー錠(塩野義)他
ロルメタゼパム	エバミール錠(バイエル)、ロラメット錠(あすか-武田)
<u>中期作用型</u> アルプラゾラム	コンスタン錠(武田)、ソラナックス錠(ファイザー)他

ニトラゼパム	ネルボン(第一三共)、ベンザリン(塩野義)他
フルニトラゼパム	サイレース錠(エーザイ)、ロヒプノール錠(中外)他
フルラゼパム 塩酸塩	ダルメートカプセル(共和)
ブロマゼパム	セニラン(サンド)、レキソタン(中外-エーザイ)
ロラゼパム	ワイパックス錠(ファイザー)他
<u>長期作用型</u> ジアゼパム	セルシン錠・散・シロップ(武田)他
<u>超長期作用型</u> ロフラゼパ酸エチル	メイラックス(Meiji Seika)他
<u>ーチエノジアゼピン系ー</u> エチゾラム	デパス(田辺三菱)他
クロチアゼパム	リーゼ(田辺三菱)他
<u>ーバルピツール酸系ー</u> ペントバルビタールカルシウム	ラボナ錠(田辺三菱)
<u>ーその他ー</u> <u>超短期作用型</u> エスゾピクロン	ルネスタ錠(エーザイ)
ゾピクロン	アモバン錠(サノフィ-日医工)他
ゾルピデム酒石酸塩	マイスリー錠(アステラス)他
<u>短期作用型</u> ブロムバレリル尿素	ブロバリン原末(日本新薬)、ブロムワレリル尿素(各社)
<u>メラトニン受容体アゴニスト</u> ラメルテオン	ロゼレム錠(武田)
<u>オレキシン受容体拮抗薬</u> スボレキサント	ベルソムラ錠(MSD)

(18) 抗精神病薬(悪心・嘔吐)

(注意)

- 運動パフォーマンスの低下と、競技中の事故に注意！
→服薬による競技能力低下が考えられる。
- 静脈内注入および/または静脈内注射で、12 時間あたり 100mL を超える場合は禁止される。但し、入院*、外科手術、または臨床検査のそれぞれの過程において正当に受ける場合は除く。
* JADA の日本語訳では「入院」となっていますが、原文(英語)は「in the course of hospital treatments」であり、本邦に当てはめれば「病院(あるいは有床診療所)での治療(入院・外来)」とも受け取れます。TUE 申請に関する事項ですので、詳細は JADA にお問い合わせ下さい。なお、JADA のホームページには、「無床診療所での静脈内注入および/または静脈注射で、12 時間あたり計 100mL を超える場合は TUE が必要であることに注意してください。」との記載があります。

<使用可能薬例>

成分名	代表的な販売名(メーカー名)
アリピプラゾール	エビリファイ(大塚)
オランザピン	ジプレキサ(イーライリリー)他
クエチアピンプマル酸塩	セロクエル(アステラス)他
クロザピン	クロザリル錠(ノバルティス)
スルピリド	ドグマチール(アステラス)、アブリット錠(大日本住友)他
パリペリドン	インヴェガ錠(ヤンセン)他
プロクロルペラジン	ノバミン(塩野義)

プロナンセリン	ロナセン(大日本住友)
ペロスピロン塩酸塩	ルーラン錠(大日本住友)他
リスペリドン	リスパダール(ヤンセン)他

(19) 抗うつ薬

(注意)

- 運動パフォーマンスの低下と、競技中の事故に注意！
→服薬による競技能力低下が考えられる。
- 静脈内注入および／または静脈内注射で、12 時間あたり 100mL を超える場合は禁止される。但し、入院*、外科手術、または臨床検査のそれぞれの過程において正当に受ける場合は除く。
* JADA の日本語訳では「入院」となっていますが、原文(英語)は「in the course of hospital treatments」であり、本邦に当てはめれば「病院(あるいは有床診療所)での治療(入院・外来)」とも受け取れます。TUE 申請に関する事項ですので、詳細は JADA にお問い合わせ下さい。なお、JADA のホームページには、「無床診療所での静脈内注入および／または静脈注射で、12 時間あたり計 100mL を超える場合は TUE が必要であることに注意してください。」との記載があります。

<使用可能薬例>

成分名	代表的な販売名(メーカー名)
エスシタロプラムシュウ酸塩	レクサプロ錠(持田-田辺三菱)
塩酸セルトラリン	ジェイゾロフト(ファイザー)他
デュロキセチン塩酸塩	サインバルタカプセル(塩野義-イーライリリー)
パロキセチン塩酸塩水和物	パキシル(GSK)他
フルボキサミンマレイン酸塩	デプロメール錠(Meiji Seika)、ルボックス錠(アツヴィ)他
ミルタザピン	リフレックス錠(Meiji Seika)、レメロン錠(MSD)
ミルナシプラン塩酸塩	トレドミン錠(旭化成-ヤンセン)他

(20) 抗てんかん薬

(注意)

- アセタゾラミドは常時禁止物質。(WADA 禁止表 S5.利尿薬および隠蔽薬)
- 運動パフォーマンスの低下と、競技中の事故に注意！
→服薬による競技能力低下が考えられる。
- 静脈内注入および／または静脈内注射で、12 時間あたり 100mL を超える場合は禁止される。但し、入院*、外科手術、または臨床検査のそれぞれの過程において正当に受ける場合は除く。
* JADA の日本語訳では「入院」となっていますが、原文(英語)は「in the course of hospital treatments」であり、本邦に当てはめれば「病院(あるいは有床診療所)での治療(入院・外来)」とも受け取れます。TUE 申請に関する事項ですので、詳細は JADA にお問い合わせ下さい。なお、JADA のホームページには、「無床診療所での静脈内注入および／または静脈注射で、12 時間あたり計 100mL を超える場合は TUE が必要であることに注意してください。」との記載があります。

<使用可能薬例>

成分名	代表的な販売名(メーカー名)
ガバペンチン	ガバペン(ファイザー)
カルバマゼピン	テグレート(ノバルティス)他
クロバザム	マイスタン(大日本住友-アルフレッサ)
クロナゼパム	リポトリール(中外)、ランドセン(大日本住友)
ゾニサミド	エクセグラン(大日本住友)他
バルプロ酸ナトリウム	セレニカ R(興和-田辺三菱、興和創薬)、デパケン(協和発酵キリン)他

フェニトイン	アレビアチン錠・散(大日本住友)、ヒダントール(藤永-第一三共)他
フェノバルビタール	フェノバル(藤永-第一三共)、フェノバルビタール(各社)他
フェノバルビタールナトリウム	ルピアール坐剤(久光)、ワコビタール坐剤(高田)
ラモトリギン	ラミクタール(GSK)
レベチラセタム	イーケプラ錠・ドライシロップ(ユーシービー-大塚)

(21) 自律神経系作用薬

(注意)

- 運動パフォーマンスの低下と、競技中の事故に注意！
→服薬による競技能力低下が考えられる。
- 静脈内注入および／または静脈内注射で、12 時間あたり 100mL を超える場合は禁止される。但し、入院*、外科手術、または臨床検査のそれぞれの過程において正当に受ける場合は除く。
* JADA の日本語訳では「入院」となっていますが、原文(英語)は「in the course of hospital treatments」であり、本邦に当てはめれば「病院(あるいは有床診療所)での治療(入院・外来)」とも受け取れます。TUE 申請に関する事項ですので、詳細は JADA にお問い合わせ下さい。なお、JADA のホームページには、「無床診療所での静脈内注入および／または静脈注射で、12 時間あたり計 100mL を超える場合は TUE が必要であることに注意してください。」との記載があります。

<使用可能薬例>

成分名	代表的な販売名(メーカー名)
トフィソパム	グランダキシン(持田)他

(22) 鉄欠乏性貧血薬

(注意)

- 静脈内注入および／または静脈内注射で、12 時間あたり 100mL を超える場合は禁止される。但し、入院*、外科手術、または臨床検査のそれぞれの過程において正当に受ける場合は除く。
* JADA の日本語訳では「入院」となっていますが、原文(英語)は「in the course of hospital treatments」であり、本邦に当てはめれば「病院(あるいは有床診療所)での治療(入院・外来)」とも受け取れます。TUE 申請に関する事項ですので、詳細は JADA にお問い合わせ下さい。なお、JADA のホームページには、「無床診療所での静脈内注入および／または静脈注射で、12 時間あたり計 100mL を超える場合は TUE が必要であることに注意してください。」との記載があります。

<使用可能薬例>

成分名	代表的な販売名(メーカー名)
一経口用鉄剤ー	
クエン酸第一鉄ナトリウム	フェロミア(サンノーバーエーザイ)他
フマル酸第一鉄	フェルムカプセル(日医工)
硫酸鉄	テツクール徐放錠(あすか-武田)、フェロ・グラデュメット錠(マイラン EPD)

(23) 痛風・高尿酸血症治療薬

<①発作治療薬、②尿酸排泄促進薬、③尿酸生成阻害薬、④尿アルカリ化薬>

(注意)

- プロベネシドは常時禁止物質。(WADA 禁止表 S5.利尿薬および隠蔽薬)
- ベンズブロマロンはプロベネシドと同じ尿酸排泄促進薬に分類されるが使用可能。
- 静脈内注入および／または静脈内注射で、12 時間あたり 100mL を超える場合は禁止される。但

し、入院*、外科手術、または臨床検査のそれぞれの過程において正当に受ける場合は除く。

* JADA の日本語訳では「入院」となっていますが、原文(英語)は「in the course of hospital treatments」であり、本邦に当てはめれば「病院(あるいは有床診療所)での治療(入院・外来)」とも受け取れます。TUE 申請に関する事項ですので、詳細は JADA にお問い合わせ下さい。なお、JADA のホームページには、「無床診療所での静脈内注入および/または静脈注射で、12 時間あたり計 100mL を超える場合は TUE が必要であることに注意してください。」との記載があります。

<使用可能薬例>

成分名	代表的な販売名(メーカー名)
① 発作治療薬	
コルヒチン	コルヒチン錠「タカタ」(高田)
② 尿酸排泄促進薬	
ベンズブロマロン	ユリノーム錠(鳥居)、ムイロジン細粒(寿)他
③ 尿酸生成阻害薬	
アロプリノール	ザイロリック錠(GSK)、リボール(メディサ-化研生薬)他
トピロキソスタット	ウリアデック錠(三和化学)、トピロリック錠(富士薬品)
フェブキソスタット	フェブリック錠(帝人)
④ 尿アルカリ化薬	
クエン酸カリウム・クエン酸ナトリウム水和物	ウラリット配合錠(日本ケミファ)他

(24) 糖尿病用薬

(注意)

- インスリンは常時禁止物質。(WADA 禁止表 S4.ホルモン調節薬および代謝調節薬)
- インスリンを治療目的で使用する場合は、TUE が必要。
- 静脈内注入および/または静脈内注射で、12 時間あたり 100mL を超える場合は禁止される。但し、入院*、外科手術、または臨床検査のそれぞれの過程において正当に受ける場合は除く。
* JADA の日本語訳では「入院」となっていますが、原文(英語)は「in the course of hospital treatments」であり、本邦に当てはめれば「病院(あるいは有床診療所)での治療(入院・外来)」とも受け取れます。TUE 申請に関する事項ですので、詳細は JADA にお問い合わせ下さい。なお、JADA のホームページには、「無床診療所での静脈内注入および/または静脈注射で、12 時間あたり計 100mL を超える場合は TUE が必要であることに注意してください。」との記載があります。

<使用可能薬例>

成分名	代表的な販売名(メーカー名)
－スルホニルウレア系－	
グリクロピラミド	デアメリン S 錠(杏林)
グリベンクラミド	オイグルコン錠(中外)、ダオニール錠(サノフィ)他
グリメピリド	アマリール(サノフィ)他
クロルプロパミド	アベマイド錠(小林化工)
－ビグアナイド系－	
メトホルミン塩酸塩	メトグルコ錠(大日本住友)、グリコラン錠(日本新薬)他
－インスリン抵抗性改善薬－	
ピオグリタゾン塩酸塩	アクトス(武田)他
－食後過血糖改善薬－	
アカルボース	グルコバイ(バイエル-富士フィルム)他
ボグリボース	ベイスン(武田)他
ミグリトール	セイブル(三和化学)
－DPP-4 阻害薬－	
アナグリプチン	スイニー錠(三和化学-興和、興和創薬)

アログリプチン安息香酸塩	ネシーナ錠(武田)
オマリグリプチン	マリゼブ錠(MSD)
サキサグリプチン水和物	オングリザ錠(協和発酵キリン)
シタグリプチンリン酸塩水和物	グラクティブ錠(小野)、ジャヌビア錠(MSD)
テネリグリプチン臭化水素酸塩水和物	テネリア錠(田辺三菱-第一三共)
トラグリプチンコハク酸塩	ザファテック錠(武田)
ビルダグリプチン	エクア錠(ノバルティス)
リナグリプチン	トラゼンタ錠(日本ベーリンガー)
－GLP-1 受容体作動薬－	
エキセナチド	バイエッタ(アストラゼネカ)、ビデュリオン(アストラゼネカ)
リキシセナチド	リキシミア(サノフィ)
リラグルチド	ビクトーザ(ノボ)
－SGLT2 阻害薬－	
イプラグリフロジン L-プロリン	スーグラ錠(アステラス)
エンパグリフロジン	ジャディアンス錠(日本ベーリンガー)
カナグリフロジン水和物	カナグル錠(田辺三菱)
ダパグリフロジン	フォシーガ錠(アストラゼネカ-小野)
トホグリフロジン水和物	アプルウェイ錠(サノフィ)、デベルザ錠(興和-興和創薬)
ルセオグリフロジン水和物	ルセフィ錠(大正-大正富山、ノバルティス)

(25) 抗菌薬・抗生物質

(注意)

- ほとんどの抗菌薬、抗生物質は使用可能。
- 静脈内注入および/または静脈内注射で、12 時間あたり 100mL を超える場合は禁止される。但し、入院*、外科手術、または臨床検査のそれぞれの過程において正当に受ける場合は除く。
* JADA の日本語訳では「入院」となっていますが、原文(英語)は「in the course of hospital treatments」であり、本邦に当てはめれば「病院(あるいは有床診療所)での治療(入院・外来)」とも受け取れます。TUE 申請に関する事項ですので、詳細は JADA にお問い合わせ下さい。なお、JADA のホームページには、「無床診療所での静脈内注入および/または静脈注射で、12 時間あたり計 100mL を超える場合は TUE が必要であることに注意してください。」との記載があります。

<使用可能薬例>

成分名	代表的な販売名(メーカー名)
－ペニシリン系－	
アモキシシリン水和物	アモリン(武田)、サワシリン(アステラス)、パセトシン(協和発酵キリン)、ワイドシリン細粒(Meiji Seika) 他
アモキシシリン水和物・クラブラン酸カリウム	オーグメンチン配合錠(GSK)、クラバモックス小児用配合ドライシロップ(GSK)
アンピシリン水和物	ビクシリンカプセル・ドライシロップ(Meiji Seika)
スルタミシリントシル酸塩水和物	ユナシン(ファイザー)
－セフェム系－	
第一世代	
セファクロル	ケフラー(塩野義) 他
セファレキシシン	L-ケフレックス(塩野義)、ケフレックス(塩野義)、ラリキシ(富山化学-大正富山)、センセファリン(武田) 他
セフロキサジン水和物	オラスポア小児用ドライシロップ(アルフレッサ)
第二世代	
セフォチアムヘキセチル塩酸塩	パンスポリン T 錠(武田)

セフロキシムアキセチル	オラセフ錠 (GSK-第一三共)
第三世代(セファロスポリン系)	
セフィキシム水和物	セフspan(長生堂-日本ジェネリック)他
セフカペンピボキシル塩酸塩水和物	フロモックス(塩野義)他
セフトレンピボキシル	メイアクト MS (Meiji Seika) 他
セフジニル	セフゾン(アステラス)他
セフテラムピボキシル	トミロン(富山化学-大正富山)他
セフチブテン水和物	セフテムカプセル(塩野義)
セフポドキシムプロキセチル	バナン(第一三共-GSK)他
ーアミノ配糖体系ー	
カナマイシンー硫酸塩 (略称:カナマイ)	カナマイシン (Meiji Seika)
ーテトラサイクリン系ー	
テトラサイクリン塩酸塩	アクロマイシン(ポーラ)
デメチルクロルテトラサイクリン塩酸塩	レダマイシカプセル(ポーラ)
ドキシサイクリン塩酸塩水和物	ビブラマイシン錠(ファイザー)
ミノサイクリン塩酸塩	ミノマイシン錠・カプセル・顆粒(ファイザー)他
ーマクロライド系ー	
アジスロマイシン水和物	ジスロマック(ファイザー)他
エリスロマイシン	エリスロシン(マイラン EPD)、エリスロマイシン錠(沢井)
クラリスロマイシン	クラリシッド(マイラン EPD)、クラリス(大正-大正富山)他
ジョサマイシン	ジョサマイシン錠(アステラス)他
ホスホマイシンカルシウム水和物	ホスミン錠・ドライシロップ (Meiji Seika) 他
ロキシスロマイシン	ルリッド錠(サノフィ)他

(26) 化学療法剤

(注意)

- 静脈内注入および/または静脈内注射で、12 時間あたり 100mL を超える場合は禁止される。但し、入院*、外科手術、または臨床検査のそれぞれの過程において正当に受ける場合は除く。
* JADA の日本語訳では「入院」となっていますが、原文(英語)は「in the course of hospital treatments」であり、本邦に当てはめれば「病院(あるいは有床診療所)での治療(入院・外来)」とも受け取れます。TUE 申請に関する事項ですので、詳細は JADA にお問い合わせ下さい。なお、JADA のホームページには、「無床診療所での静脈内注入および/または静脈注射で、12 時間あたり計 100mL を超える場合は TUE が必要であることに注意してください。」との記載があります。

<使用可能薬例>

成分名	代表的な販売名(メーカー名)
ーニューキノロン系ー	
シプロフロキサシン	シプロキサ錠(バイエル)他
オフロキサシン	タリビッド錠(第一三共)他
シタフロキサシン水和物	グレースビット(第一三共)
トスフロキサシントシル酸塩水和物	オゼックス(富山化学-大正富山)、トスキサシン錠(マイラン EPD)他
ノルフロキサシン	バクシダール錠(杏林)他
メシル酸ガレノキサシン水和物	ジェニナック錠(富山化学-アステラス)
モキシフロキサシン塩酸塩	アベロックス錠(バイエル-富士フィルム)
レボフロキサシン水和物	クラビット錠・細粒(第一三共)他

－ST 合剤－ スルファメトキサゾール・トリメトプリム	バクタ(塩野義)、バクトラミン配合錠・配合顆粒(中外)他
---------------------------------------	------------------------------

(27) 抗真菌薬

(注意)

- ほとんどの抗真菌薬は使用可能。
- 静脈内注入および／または静脈内注射で、12 時間あたり 100mL を超える場合は禁止される。但し、入院*、外科手術、または臨床検査のそれぞれの過程において正当に受ける場合は除く。
* JADA の日本語訳では「入院」となっていますが、原文(英語)は「in the course of hospital treatments」であり、本邦に当てはめれば「病院(あるいは有床診療所)での治療(入院・外来)」とも受け取れます。TUE 申請に関する事項ですので、詳細は JADA にお問い合わせ下さい。なお、JADA のホームページには、「無床診療所での静脈内注入および／または静脈注射で、12 時間あたり計 100mL を超える場合は TUE が必要であることに注意してください。」との記載があります。

<使用可能薬例>

成分名	代表的な販売名(メーカー名)
イトラコナゾール	イトリゾールカプセル・内用液(ヤンセン)他
テルビナフィン塩酸塩	ラミシール錠(ノバルティス)他
フルコナゾール	ジフルカンカプセル・ドライシロップ(ファイザー)他
ミコナゾール	フロリード(持田)他

(28) 抗ウイルス薬

(注意)

- 静脈内注入および／または静脈内注射で、12 時間あたり 100mL を超える場合は禁止される。但し、入院*、外科手術、または臨床検査のそれぞれの過程において正当に受ける場合は除く。
* JADA の日本語訳では「入院」となっていますが、原文(英語)は「in the course of hospital treatments」であり、本邦に当てはめれば「病院(あるいは有床診療所)での治療(入院・外来)」とも受け取れます。TUE 申請に関する事項ですので、詳細は JADA にお問い合わせ下さい。なお、JADA のホームページには、「無床診療所での静脈内注入および／または静脈注射で、12 時間あたり計 100mL を超える場合は TUE が必要であることに注意してください。」との記載があります。

<使用可能薬例>

成分名	代表的な販売名(メーカー名)
－ヘルペスウイルス感染症 治療薬－	
アシクロビル	ゾビラックス錠・顆粒・軟膏・クリーム(GSK)他
バラシクロビル塩酸塩	バルトレックス(GSK)他
ビダラビン	アラセナ-A 軟膏・A クリーム(持田)他
ファムシクロビル	ファムビル錠(旭化成-マルホ)
－インフルエンザ治療薬－	
アマンタジン塩酸塩	シンメトレル(ノバルティス)他
オセルタミビルリン酸塩	タミフル(中外)
ザナミビル水和物	リレンザ(GSK)
ラニナミビルオクタン酸エステル水和物	イナビル吸入粉末剤(第一三共)
ペラミビル水和物	ラピアクタ(塩野義)

(29) ワクチン(保険適用外)

(注意)

- 静脈内注入および/または静脈内注射で、12 時間あたり 100mL を超える場合は禁止される。但し、入院*、外科手術、または臨床検査のそれぞれの過程において正当に受ける場合は除く。
* JADA の日本語訳では「入院」となっていますが、原文(英語)は「in the course of hospital treatments」であり、本邦に当てはめれば「病院(あるいは有床診療所)での治療(入院・外来)」とも受け取れます。TUE 申請に関する事項ですので、詳細は JADA にお問い合わせ下さい。なお、JADA のホームページには、「無床診療所での静脈内注入および/または静脈注射で、12 時間あたり計 100mL を超える場合は TUE が必要であることに注意してください。」との記載があります。

<使用可能薬例>

成分名	代表的な販売名(メーカー名)
インフルエンザ HA ワクチン	インフルエンザ HA ワクチン(各社)
組換え沈降 2 価ヒトパピローマウイルス様粒子ワクチン	サーバリックス(GSK)
組換え沈降 4 価ヒトパピローマウイルス様粒子ワクチン	ガーダシル(MSD)

(30) 甲状腺疾患治療薬

(注意)

- 静脈内注入および/または静脈内注射で、12 時間あたり 100mL を超える場合は禁止される。但し、入院*、外科手術、または臨床検査のそれぞれの過程において正当に受ける場合は除く。
* JADA の日本語訳では「入院」となっていますが、原文(英語)は「in the course of hospital treatments」であり、本邦に当てはめれば「病院(あるいは有床診療所)での治療(入院・外来)」とも受け取れます。TUE 申請に関する事項ですので、詳細は JADA にお問い合わせ下さい。なお、JADA のホームページには、「無床診療所での静脈内注入および/または静脈注射で、12 時間あたり計 100mL を超える場合は TUE が必要であることに注意してください。」との記載があります。

<使用可能薬例>

成分名	代表的な販売名(メーカー名)
—甲状腺ホルモン—	
リオチロニンナトリウム	チロナミン錠(武田)
レボチロキシニンナトリウム水和物	チラーヂン S(あすか-武田)他
—抗甲状腺薬—	
チアマゾール	メルカゾール錠(あすか-武田)
プロピルチオウラシル	チウラジール錠(田辺三菱)、プロパジール錠(あすか-武田)

(31) 経口避妊薬(保険適用外)

(注意)

- 既往歴、喫煙により危険性あり。
- 性感染症の予防にはならない。

<使用可能薬例>

成分名	代表的な販売名(メーカー名)
エチニルエストラジオール・デソゲステレル	マーベロン 21、28(MSD)、ファボワール錠 21、28(富士製薬)
エチニルエストラジオール・ノルエチステロン	オーソ 777-21 錠(ヤンセン-持田)、オーソ M-21 錠(ヤンセン-持田)、シンフェーズ T28 錠(科研)

エチニルエストラジオール・レボノルゲストレル	アンジュ21錠、28錠(あすか-武田)、トリキュラー錠21、28(バイエル)、ラベルフィーユ21錠、28錠(富士製薬)
レボノルゲストレル	ノルレボ錠(あすか-武田)

(32) 卵胞、黄体、混合ホルモン

(注意)

- 卵胞ホルモンは経口避妊薬としても用いられる。
- 黄体ホルモン、卵胞及び黄体ホルモン配合剤は月経周期の移動、避妊にも用いられる。
- ドロスピレノンの使用は禁止されない。
- 静脈内注入および/または静脈内注射で、12時間あたり100mLを超える場合は禁止される。但し、入院*、外科手術、または臨床検査のそれぞれの過程において正当に受ける場合は除く。
* JADAの日本語訳では「入院」となっていますが、原文(英語)は「in the course of hospital treatments」であり、本邦に当てはめれば「病院(あるいは有床診療所)での治療(入院・外来)」とも受け取れます。TUE申請に関する事項ですので、詳細はJADAにお問い合わせ下さい。なお、JADAのホームページには、「無床診療所での静脈内注入および/または静脈注射で、12時間あたり計100mLを超える場合はTUEが必要であることに注意してください。」との記載があります。

<使用可能薬例>

成分名	代表的な販売名(メーカー名)
—卵胞ホルモン— 結合型エストロゲン	プレマリン錠(ファイザー)
—黄体ホルモン— ジドロゲステロン	デュファストン錠(マイラン EPD)
ノルエチステロン	ノアルテン錠(富士製薬)
—卵胞・黄体ホルモン配合剤— エチニルエストラジオール・ドロスピレノン	ヤーズ配合錠(バイエル)
エストラジオール・酢酸ノルエチステロン	メノエイドコンビパッチ(あすか-武田)
エチニルエストラジオール・ノルエチステロン	ルナベル配合錠LD・ULD(ノーベル-日本新薬、富士製薬)
エチニルエストラジオール・ノルゲストレル	プラノバル配合錠(あすか-武田)
ノルエチステロン・メストラノール	ソフィアA配合錠(あすか-武田)、ソフィアC配合錠(あすか-武田)

(33) 痔疾用薬

(注意)

- 坐薬・軟膏には糖質コルチコイドなどの競技会(時)禁止物質を含むものがある。(WADA 禁止表 S9.糖質コルチコイド)
→糖質コルチコイドは、経口使用、経直腸使用、静脈内使用、筋肉内使用はすべて禁止。
→糖質コルチコイドを含む注入軟膏・坐剤などを直腸経由で使用することは禁止。

<使用可能薬例>

成分名	代表的な販売名(メーカー名)
—経口剤— トリベノシド	ヘモクロンカプセル(天藤-武田)他

プロメライン・トコフェロール酢酸エステル	ヘモナーゼ配合錠(ジェイドルフ-堀井)
一坐薬・軟膏一	
大腸菌死菌浮遊液	ポステリザン(軟膏)(マルホ)
トリベノシド・リドカイン	ボラザ G(天藤-武田)
リドカイン・アミノ安息香酸エチル・次没食子酸ピスマス	ヘルミチン S 坐剤(長生堂-日本ジェネリック)

(34) 耳鼻咽喉科用薬

(注意)

- 多くの点鼻薬には、ナファゾリンなどの血管収縮剤や糖質コルチコイドなどの競技会(時)禁止物質、またはその関連物質が含まれている。(WADA 禁止表 S6.興奮薬、S9.糖質コルチコイド)
 - 糖質コルチコイドは、経口使用、経直腸使用、静脈内使用、筋肉内使用はすべて禁止、それ以外の使用経路は禁止されない。
 - ナファゾリン、テトラヒドロゾリン、トラマゾリンなどのイミダゾール誘導体は、点鼻などの局所使用は許される。しかし、何回も多量に使用して体内に吸収されると、アンチ・ドーピング規則違反が疑われる可能性がある。(WADA 禁止表 S6.興奮薬)

<使用可能薬例>

成分名	代表的な販売名(メーカー名)
一血管収縮薬一	
ナファゾリン硝酸塩	プリビナ液(ノバルティス)
塩酸テトラヒドロゾリン	テトラヒドロゾリン鼻用スプレー(原沢-ミナト)
トラマゾリン塩酸塩	トラマゾリン点鼻液(アルフレッサ)
一アレルギー性鼻炎治療薬一	
クロモグリク酸ナトリウム	インタール点鼻液(サノフィ)他
ケチフェンフマル酸塩	ザジテン点鼻液(ノバルティス)他
フルチカゾンプロピオン酸エステル	フルナーゼ(GSK)他

(35) 眼科用薬

<①感染症、②ビタミン類・疲れ目、③アレルギー性結膜炎、④緑内障治療薬、⑤その他>

(注意)

- 眼科用薬には、ナファゾリンなどの血管収縮剤や、糖質コルチコイドなどの競技会(時)禁止物質または関連物質が含まれているものがある。(WADA 禁止表 S6.興奮薬、S9.糖質コルチコイド)
 - 糖質コルチコイドは、経口使用、経直腸使用、静脈内使用、筋肉内使用はすべて禁止、それ以外の使用経路は禁止されない。
 - ナファゾリンなどのイミダゾール誘導体は、点眼などの局所使用は許される。しかし、何回も多量に使用して体内に吸収されると、アンチ・ドーピング規則違反が疑われる可能性がある。(WADA 禁止表 S6.興奮薬)
- 緑内障治療薬のドルゾラミド(販売名:トルソプト点眼液)および布林ゾラミド(販売名:エイゾプト懸濁性点眼液)等、炭酸脱水素酵素阻害薬の眼科使用は禁止されない。
- ベータ遮断薬は、特定競技において禁止。(WADA 禁止表 P2.ベータ遮断薬)
 - ベータ遮断薬は8種目の競技において禁止(アーチェリー、射撃は常時禁止)。ベータ遮断薬を含む配合剤(アゾルガ、コソプト、ザラカム、デュオトラバ、タプコム等)に注意。

＜使用可能薬例＞

成分名	代表的な販売名(メーカー名)
① 感染症	
－抗生物質－ エリスロマイシンラクトビオン酸塩・コリスチンメタン スルホン酸ナトリウム	エコリシン(参天)他
ゲンタマイシン硫酸塩	ゲンタロール点眼液(日本点眼薬)他
－抗菌薬－ オフロキサシン	タリビッド(参天)他
ガチフロキサシン水和物	ガチフロ点眼液(千寿-武田)
トスフロキサシントシル酸塩水和物	オゼックス点眼液(富山化学-大塚)、トスフロ点眼液(日東メディック)
ノルフロキサシン	バクシダール点眼液(杏林-千寿、武田)他
モキシフロキサシン塩酸塩	ベガモックス点眼液(日本アルコン)
レボフロキサシン水和物	クラビット点眼液(参天)他
－抗ウイルス薬－ アシクロビル	ゾビラックス眼軟膏(GSK-参天)他
② ビタミン類・疲れ目	
シアノコバラミン	サンコバ点眼液(参天)、ソフティア点眼液(千寿-武田)他
フラビンアデニンジヌクレオチド ナトリウム	FAD 点眼液(各社)、フラビタン(トーアエイヨー-アステラス)
③ アレルギー性結膜炎	
エピナスチン塩酸塩	アレジオン点眼液(参天)
オロパタジン塩酸塩	パタノール点眼液(日本アルコン-協和発酵キリン)
クロモグリク酸ナトリウム	インタール点眼液(サノフィ)他
ケチフェンフマル酸塩	ザジテン点眼液(日本アルコン)他
トラニラスト	リザベン点眼液(キッセイ)、トラメラス(ニッテン-日本点眼薬)他
ペミロラストカリウム	アレギサル点眼液(参天)、ペミラストン点眼液(アルフレッサ)他
レボカバステチン塩酸塩	リボスチン点眼液(ヤンセン-参天、日本新薬)他
④ 緑内障治療薬	
イソプロピルウノプロストン	レスキュラ点眼液(アールテック-参天)他
タフルプロスト	タプロス(参天)
トラボプロスト	トラバタンズ点眼液(日本アルコン)
ラタノプロスト	キサラタン点眼液(ファイザー)他
ドルゾラミド塩酸塩	トルソプト点眼液(参天)
ブリンゾラミド	エイゾプト懸濁性点眼液(日本アルコン)
⑤ その他	
ジクアホソルナトリウム	ジクアス点眼液(参天)
ホウ酸・塩化ナトリウム・塩化カリウム・乾燥炭酸ナトリウム・リン酸水素ナトリウム水和物	人工涙液マイティア点眼液(千寿-武田)
ヒアルロン酸ナトリウム	オペガン(生化学-参天)、オペリド(資生堂-千寿、武田)、ヒーロン(エイエムオー)、ヒアレイン(参天)他
レバミピド	ムコスタ点眼液 UD(大塚)
プラノプロフェン	ニフラン点眼液(千寿-武田)他

(36) 口腔用薬

(注意)

- 糖質コルチコイドは、経口使用、静脈内使用、筋肉内使用、経直腸使用はすべて禁止。(WADA 禁止表 S9.糖質コルチコイド)
→糖質コルチコイドの口腔内の疾患に対する局所的使用は禁止されない。

<使用可能薬例>

成分名	代表的な販売名(メーカー名)
－含嗽薬－ アズレンスルホン酸ナトリウム水和物	アズノールうがい液(日本点眼薬-日本新薬)、マズレニンガーゲル散(丸石-ニプロ)他
アズレンスルホン酸ナトリウム水和物・炭酸水素ナトリウム	含嗽用ハチアズレ顆粒(東洋製化-小野)他
ポビドンヨード	イソジンガーゲル液(ムンディ-塩野義)他
－口腔内炎症治療薬－ アズレンスルホン酸ナトリウム水和物	アズノール ST 錠口腔用(日本新薬)
デキサメタゾン	アフタゾロン口腔用軟膏(あゆみ)、デキサルチン口腔用軟膏(日本化薬)他
トリアムシノロンアセトニド	アフタッチ口腔用貼付剤(帝人)、ケナログ口腔用軟膏(ブリストル)他
－殺菌消毒薬－ デカリニウム塩化物	SP トローチ(Meiji Seika)他

(37) 皮膚外用薬

(注意)

- 糖質コルチコイドは、経口使用、静脈内使用、筋肉内使用、経直腸使用はすべて禁止。(WADA 禁止表 S9.糖質コルチコイド)
→糖質コルチコイドの皮膚の疾患に対する局所的使用は禁止されない。

<使用可能薬例>

成分名	代表的な販売名(メーカー名)
－抗生物質製剤－ オキシテトラサイクリン塩酸塩・ポリミキシン B 硫酸塩	テラマイシン軟膏(ポリミキシン B 含有)(陽進堂)
オゼノキサシン	ゼビアックスローション(マルホ)
克林ダマイシンリン酸エステル	ダラシン T(佐藤)他
ゲンタマイシン硫酸塩	ゲンタシン(MSD)他
テトラサイクリン塩酸塩	アクロマイシン軟膏(ポーラ)
デメチルクロルテトラサイクリン塩酸塩	レダマイシン軟膏(武田)
ナジフロキサシン	アクアチム(大塚)他
フラジオマイシン硫酸塩	ソフラチュール貼付剤(サノフィ)
フラジオマイシン硫酸塩・バシトラシン	バラマイシン軟膏(東洋製化-小野)
－アトピー性皮膚炎治療薬－ タクロリムス水和物	プロトピック軟膏(アステラス-マルホ)他
－外用抗ヒスタミン剤－ ジフェンヒドラミン	レスタミンコーワクリーム(興和-興和創薬)他
クロタミトン	オイラックスクリーム(GSK-ノバルティス)他

－抗真菌薬－	
エフィナコナゾール	クレナフィン爪外用液(科研)
ネチコナゾール塩酸塩	アトラント(久光-田辺三菱、鳥居)
テルビナフィン塩酸塩	ラミシール(ノバルティス)他
ブテナフィン塩酸塩	メンタックス(科研)、ボレー(久光)他
ルリコナゾール	ルリコン(ポーラ)、ルコナック爪外用液(佐藤-ポーラ)
－非ステロイド性消炎鎮痛薬－	
インドメタシン	インサイドパップ(久光)、イドメシンコーワ(興和-興和創薬)、カトレップ(帝國)他
ウフェナマート	コンベック(田辺三菱)他
ケトプロフェン	ミルタックスパップ(ニプロパッチ-第一三共エスファ)、モーラス(久光-祐徳)他
ジクロフェナクナトリウム	ナポール(久光)、ボルタレン(同仁-ノバルティス)他
フェルビナク	ナパゲルン(ファイザー)他
フルルビプロフェン	アドフィードパップ(リードケミカル-科研)、ステイバンパップ(トクホン-大正富山)、フルルバンパップ(大協-科研、大正富山、三笠)、ヤクバンテープ(トクホン-大正富山)他
ロキソプロフェンナトリウム水和物	ロキソニン(リードケミカル-第一三共)他
－副腎皮質ステロイド外用剤－	
ジフルコルトロン吉草酸エステル	ネリゾナ(バイエル)他
ジフルプレドナート	マイザー(田辺三菱)他
デキサメタゾンプロピオン酸エステル	メサデルム(岡山大鵬-大鵬)他
ヒドロコルチゾン酪酸エステル	ロコイド(鳥居)他
プレドニゾン吉草酸エステル酢酸エステル	リドメックスコーワ(興和-興和創薬)他
ベタメタゾンジプロピオン酸エステル	リンデロン-DP(塩野義)、ダイプロセル(佐藤)他
ベタメタゾン酪酸エステルプロピオン酸エステル	アンテベート(鳥居)他
ベタメタゾン吉草酸エステル	ベトネベート(GSK-第一三共)、リンデロン-V(塩野義)他
－副腎皮質ステロイド・抗生物質配合剤－	
ベタメタゾン吉草酸エステル・ゲンタマイシン硫酸塩	リンデロン-VG(塩野義)、デルモゾール G(岩城)他
－尋常性ざ瘡治療剤－	
アダパレン	ディフェリングル(ガルデルマ-塩野義)
アダパレン、過酸化ベンゾイル	エピデュオゲル(ガルデルマ-マルホ)
過酸化ベンゾイル	ベピオゲル(マルホ)
過酸化ベンゾイル・克林ダマイシンリン酸エステル水和物	デュアック配合ゲル(ポーラ)
イブプロフェンピコノール	スタデルム(鳥居)、ベシカム(久光)
－皮膚保護剤－	
亜鉛華軟膏	亜鉛華軟膏(各社)
ヘパリン類似物質	ヒルドイド(マルホ)他
－その他－	
マキサカルシトール	オキサロール軟膏・ローション(中外-マルホ)他
カルプロニウム塩化物水和物	フロジン外用液(ニプロパッチ-第一三共)他

(38) 消毒薬

<使用可能薬例>

成分名	代表的な販売名(メーカー名)
クロルヘキシジングルコン酸塩	ヒビテン(大日本住友)他
ベンザルコニウム塩化物	オスバン(日本製薬-武田)、チアミール(丸石)、逆性石ケン(各社)他
ポビドンヨード	イソジン(ムンディ-塩野義)、ネオヨジン(岩城)他

7. 歯科領域で汎用される医療用医薬品 2018 年版

(注意)

- 禁止物質を含まない、あるいは禁止物質が含まれていても使用方法(禁止表で規定される方法や添付文書記載の用法・用量)を守れば許可される国内の医療用医薬品の例をあげました。
- 禁止物質には「常に禁止される物質(競技会(時)及び競技会外)」と「競技会(時)に禁止される物質」があります。
- 使用可能薬リストの医薬品は、主要な製品を記載してあります。「他」と書いてあるものは、記載以外にも医薬品があることを意味します。メーカー名は(製造販売-発売・販売)です。
- 生薬や植物由来成分等は、その全ての詳細な内容成分を把握することが困難なため、これらを含む製品は、基本的に使用可能薬には掲載していません。
- **ここにあげた薬だけが許可されているわけではありません。一部の例示であり、他にも使える薬は数多くあります。**
- 各製品の歯科適応等については、添付文書他で確認して下さい。
- 歯科麻酔におけるフェリプレシンの局所投与は禁止されません。(WADA 禁止表 S5.利尿薬および隠蔽薬)
- エピネフリン(アドレナリン)の局所使用(鼻、眼等)あるいは局所麻酔薬との同時投与は禁止されません。(WADA 禁止表 S6.興奮薬)
- 糖質コルチコイドの経口使用、静脈内使用、筋肉内使用、経直腸使用は競技会(時)禁止。(WADA 禁止表 S9.糖質コルチコイド)
 - 糖質コルチコイドは投与形態により申請方法が異なる。経口使用、静脈内使用、筋肉内使用、経直腸使用は TUE が必要、それ以外の使用経路は禁止されない。なお、糖質コルチコイドの使用は監視プログラムに掲載されるため、モニターされる。
- 静脈内注入および/または静脈内注射で、12 時間あたり 100mL を超える場合は禁止される。但し、入院*、外科手術、または臨床検査のそれぞれの過程において正当に受ける場合は除く。
 - * JADA の日本語訳では「入院」となっていますが、原文(英語)は「in the course of hospital treatments」であり、本邦に当てはめれば「病院(あるいは有床診療所)での治療(入院・外来)」とも受け取れます。TUE 申請に関する事項ですので、詳細は JADA にお問い合わせ下さい。なお、JADA のホームページには、「無床診療所での静脈内注入および/または静脈注射で、12 時間あたり計 100mL を超える場合は TUE が必要であることに注意してください。」との記載があります。

<使用可能薬例>

成分名	代表的な販売名(メーカー名)
① 局所麻酔薬	
アミノ安息香酸エチル	ハリケイン(アグサジャパン-サンデンタル)、ビーゾカイン歯科用ゼリー(福地-ビーブランド)他
プロピトカイン塩酸塩・フェリプレシン	歯科用シタネスト-オクタプレシン(デンツプライ三金)
メピバカイン塩酸塩	スキヤンドネスト(日本歯科)
リドカイン・エピネフリン(アドレナリン)	オーラ注歯科用(昭和薬化工)、歯科用キシロカイン(デンツプライ三金)他
② 吸入麻酔薬	
亜酸化窒素	笑気ガス(各社)他
③ 歯科用軟膏・口腔用軟膏・挿入剤等	
オキシテトラサイクリン塩酸塩	オキシテトラコーン歯科用挿入剤(昭和薬化工)
オキシテトラサイクリン塩酸塩・ヒドロコルチゾン	テラ・コートリル軟膏(陽進堂)
テトラサイクリン塩酸塩	テトラサイクリン塩酸塩 pasta(昭和薬化工)
ミノサイクリン塩酸塩	ペリオクリン歯科用軟膏(サンスター)、ペリオフィール歯科用軟膏(昭和薬化工)

クロルヘキシジン塩酸塩・ジフェンヒドรามインサリチル酸塩・ヒドロコルチゾン酢酸エステル・ベンザルコニウム塩化物	デスパコーワ口腔用クリーム(興和-興和創薬)
ヒドロコルチゾン酢酸エステル・アミノ安息香酸エチル・ヒノキチオール	ヒノポロン口腔用軟膏(昭和薬化工)
デキサメタゾン	アフタゾロン口腔用軟膏(あゆみ)、デキサルチン口腔用軟膏(日本化薬)他
トリアムシノロンアセトニド	アフタッチ口腔用貼付剤(帝人)、ケナログ口腔用軟膏(プリストル)他
ベクロメタゾンプロピオン酸エステル	サルコートカプセル外用(帝人)
アズレンスルホン酸ナトリウム水和物	アズノール ST 錠口腔用(日本新薬)
塩化ナトリウム・塩化カリウム・塩化カルシウム水和物・塩化マグネシウム・リン酸二カリウム	サリベートエアゾール(帝人)
④ トローチ・含嗽薬	
アズレンスルホン酸ナトリウム水和物	アズノールうがい液(日本点眼薬-日本新薬)、マズレニンガーグル散(丸石-ニプロ)他
アズレンスルホン酸ナトリウム水和物・炭酸水素ナトリウム	含嗽用ハチアズレ顆粒(東洋製化-小野)他
セチルピリジニウム塩化物水和物	セチルピリジニウム塩化物トローチ(岩城)
デカリニウム塩化物	SPトローチ(Meiji Seika)他
ドミフェン臭化物	オラドール(テバ)
フラジオマイシン硫酸塩	デンターグル含嗽用散(昭和薬化工)
ベンゼトニウム塩化物	ネオステリングリーンうがい液(日本歯科)他
ポビドンヨード	イソジンガーグル液(ムンディ-塩野義)他
⑤ 解熱・鎮痛・抗炎症薬	
アスピリン	アスピリン(各社)
アスピリン・ダイアルミネート	バファリン配合錠 A330(ライオン-エーザイ)他
アセトアミノフェン(パラセタモール)	カロナール(あゆみ)他
アセメタシン	ランツジールコーワ錠(興和-興和創薬)
アンフェナクナトリウム水和物	フェナゾックスカプセル(Meiji Seika)
イソプロピルアンチピリン・アセトアミノフェン・アシルイソプロピルアセチル尿素・無水カフェイン	SG 配合顆粒(塩野義)
イブプロフェン	ブルフェン(科研)他
インドメタシン	インテバン SP(帝國)他
エトドラク	オステラック錠(あすか-武田)、ハイペン錠(日本新薬)他
オキサプロジン	アルボ錠(大正-大正富山)
ケトプロフェン	ケトプロフェン坐剤(各社)
ザルトプロフェン	ソレトン錠(日本ケミファ)、ペオン錠(ゼリア)他
ジクロフェナクナトリウム	ボルタレン(ノバルティス)他
シメトリド・無水カフェイン	キョーリン AP2 配合顆粒(杏林)
セレコキシブ	セレコックス錠(アステラス)
チアラミド塩酸塩	ソランタール錠(アステラス)
ナプロキセン	ナイキサン錠(田辺三菱-田辺製薬販売)
ブラプロフェン	ニフラン錠(田辺三菱)他
フルルビプロフェン	フロベン(科研)他
メフェナム酸	ポンタール(第一三共)他
モフェゾラク	ジソペイン錠(田辺三菱)
ロキソプロフェンナトリウム水和物	ロキソニン(第一三共)他
ロルノキシカム	ロルカム錠(大正-大正富山)

⑥ 抗菌薬・抗生物質・抗真菌薬	
ーペニシリン系ー アモキシシリン水和物	アモリン(武田)、サワシリン(アステラス)、パセトシン(協和発酵キリン)、ワイドシリン細粒(Meiji Seika)他
アンピシリン水和物	ビクシリンカプセル・ドライシロップ(Meiji Seika)
ーセフェム系ー 第一世代 セファクロル	ケフラル(塩野義)他
セファレキシン	ケフレックス(塩野義)、ラリキシン(富山化学-大正富山)、センセファリン(武田)他
第二世代 セフロキシムアキセチル	オラセフ錠(GSK-第一三共)
第三世代 セフカペンピボキシル塩酸塩水和物	フロモックス(塩野義)他
セフジトレンピボキシル	メイアクト MS(Meiji Seika)他
セフジニル	セフゾン(アステラス)他
セフテラムピボキシル	トミロン(富山化学-大正富山)他
セフポドキシムプロキセチル	バナン(第一三共-GSK)他
ーマクロライド系ー アジスロマイシン水和物	ジスロマック錠・SR(ファイザー)他
エリスロマイシン	エリスロシン(マイラン EPD)、エリスロマイシン錠(沢井)
クラリスロマイシン	クラリシッド(マイラン EPD)、クラリス(大正-大正富山)他
ジョサマイシン	ジョサマイシン錠(アステラス)他
ロキシスロマイシン	ルリッド錠(サノフィ)他
ーテトラサイクリン系ー テトラサイクリン塩酸塩	アクロマイシン(ポーラファルマ)
ドキシサイクリン塩酸塩水和物	ビブラマイシン錠(ファイザー)
ミノサイクリン塩酸塩	ミノマイシン錠・カプセル・顆粒(ファイザー)他
ーニューキノロン系ー オフロキサシン	タリビッド錠(第一三共)他
トスフロキサシントシル酸塩水和物	オゼックス錠(富山化学-大正富山)、トスキサシン錠(マイラン EPD)他
レボフロキサシン水和物	クラビット錠・細粒(第一三共)他
ー抗真菌薬ー イトラコナゾール	イトリゾールカプセル・内用液(ヤンセン)他
ミコナゾール	フロリードゲル(持田-昭和薬化工)
⑦ 健胃消化整腸薬	
ー酸中和薬ー 合成ケイ酸アルミニウム	合成ケイ酸アルミニウム(各社)
天然ケイ酸アルミニウム	アドソルビン原末(第一三共)
酸化マグネシウム (略称:カマ、カマグ)	酸化マグネシウム(各社)
炭酸水素ナトリウム	炭酸水素ナトリウム(各社)
ー粘膜抵抗強化薬ー アズレンスルホン酸ナトリウム水和物 ・L-グルタミン	マーズレン(寿)他
スクラルファート水和物	アルサルミン(中外)他

<p>－胃粘膜微小循環改善薬－ ベネキサート塩酸塩ベータデクス</p>	ウルグートカプセル(塩野義)他
<p>－総合消化酵素－ ジアスメン・ジアスターゼ・オノテース・モルシン・ボンラーゼ・セルロシン A.P.・パンクレアチン・ポリパーゼ・オノプロローゼ A</p>	タフマック E(小野)
<p>濃厚膵臓性消化酵素・細菌性脂肪分解酵素・アスペルギルス産生消化酵素・繊維素分解酵素</p>	ベリチーム配合顆粒(塩野義)
<p>ヒロダーゼ・マミターゼ・リパーゼ A・セルラーゼ AP3・濃厚パンクレアチン</p>	ポリトローゼ(武田)
<p>－整腸薬－ 耐性乳酸菌</p>	エンテロノン-R 散(EA ファーマ)、ビオフェルミン R(ビオフェルミン-武田)、ラックビー-R 散(興和-興和創薬)、レベニン(わかもと)他
<p>ビフィズス菌</p>	ビオフェルミン錠剤(ビオフェルミン-武田)、ビフィズゲン散(日東-大日本住友)、ラックビー-微粒 N(興和-興和創薬)他
<p>酪酸菌</p>	ミヤ BM(ミヤリサン)
<p>ラクトミン・糖化菌</p>	ビオフェルミン配合散(ビオフェルミン-武田)
⑧ 精神神経用薬	
<p>－ベンゾジアゼピン系－ <u>超短期作用型</u> トリアゾラム</p>	ハルシオン錠(ファイザー)他
<p><u>短期作用型</u> プロチゾラム</p>	レンドルミン(日本ベーリンガー)他
<p>リルマザホン塩酸塩水和物</p>	リスミー錠(塩野義)他
<p>ロルメタゼパム</p>	エバミール錠(バイエル)、ロラメット錠(あすか-武田)
<p><u>中期作用型</u> アルプラゾラム</p>	コンスタン錠(武田)、ソラナックス錠(ファイザー)他
<p>ニトラゼパム</p>	ネルボン(第一三共)、ベンザリン(塩野義)他
<p>フルニトラゼパム</p>	サイレース錠(エーザイ)、ロヒプノール錠(中外)他
<p>フルラゼパム塩酸塩</p>	ダルメートカプセル(共和)
<p>ブロマゼパム</p>	セニラン(サンド)、レキソタン(中外-エーザイ)
<p>ロラゼパム</p>	ワイパックス錠(ファイザー)他
<p><u>長期作用型</u> ジアゼパム</p>	セルシン錠・散・シロップ(武田)他
<p><u>超長期作用型</u> ロフラゼブ酸エチル</p>	メイラックス(Meiji Seika)他
<p>－チエノジアゼピン系－ エチゾラム</p>	デパス(田辺三菱)他
<p>クロチアゼパム</p>	リーゼ(田辺三菱)他
<p>－バルビツール酸系－ ペントバルビタールカルシウム</p>	ラボナ錠(田辺三菱)
<p>－その他－ <u>超短期作用型</u> ゾピクロン</p>	アモバン錠(サノフィ-日医工)他
<p><u>短期作用型</u> ブロモバレリル尿素</p>	ブロバリン原末(日本新薬)、ブロムワレリル尿素(各社)

⑨ 抗ヒスタミン薬	
クレマスチンフマル酸塩	タベジール(ノバルティス)他
d-クロルフェニラミンマレイン酸塩	ポララミン錠・散・シロップ・ドライシロップ(高田)他
クロルフェニラミンマレイン酸塩	アレルギン散(第一三共)他
ジフェンヒドラミン塩酸塩	レスタミンコーワ錠(興和-興和創薬)
シプロヘプタジン塩酸塩水和物	ペリアクチン(日医工)他
ホモクロルシクリジン塩酸塩	ホモクロミン錠(エーザイ)他
メキタジン	ゼスラン(旭化成)、ニポラジン(アルフレッサ)他
⑩ ビタミン製剤	
アスコルビン酸	ハイシー顆粒(武田)他
トコフェロール酢酸エステル	ユベラ(サンノーバーエーザイ)他
ピリドキサルリン酸エステル水和物	ピドキサール錠(中外)他
フルスルチアミン	アリナミンF糖衣錠(武田)他
フラビンアデニンジヌクレオチドナトリウム	フラビタン(トーアエイヨー-アステラス)他
オクトチアミン・リポフラビン・ピリドキシン塩酸塩・シアノコバラミン	ノイロビタン配合錠(アステラス)
⑪ 止血薬	
カルバゾクロムスルホン酸ナトリウム水和物	アドナ錠・散(田辺三菱-田辺製薬販売)他
トラネキサム酸	トランサミンカプセル・錠・散・シロップ(第一三共)他
⑫ その他	
カルバマゼピン	テグレートール(ノバルティス)他

8. 使用可能薬リスト 2018 年版 携帯用

- 本リストは、主に選手・トレーナー等が切り離して携帯することを想定して作成しています。
- 使用可能薬リストの中から、主に急性の症状に用いられる医薬品(内用薬・外用薬)をピックアップして掲載しています。
- 本リストでは、禁止物質を含まない、あるいは禁止物質が含まれていても使用方法等を守れば許可される国内の医薬品の例を挙げています。
- 本リストは一部の例示であり、他にも使える薬は数多くあります。
- 注射の場合、取扱いが異なる場合があるので、不明点等は別途、スポーツファーマシスト(3 ページ)等にご相談下さい。その他、疑問点がある場合にも、自己判断せずに必ずスポーツファーマシスト等にご相談下さい。

- 熱・痛み(坐薬を含む) -

イブ、エルベインコーワ、キオフィーバ、グレラン・ビット、こどもパブロン坐薬、こどもリングルサット、タイレノール A、ノーシンアイ頭痛薬、バイエルアスピリン、パファリン A、パファリン EX、パファリンルナ J、ユニペイン L、リングルアイビー α200、ルミフェン、ロキソニン S、ロキソニン S プラス、小児用パファリン C II

- かぜ -

ストナアイビー、ニシミドン液小児用、パブロン S ゴールド W 錠、パブロン S ゴールド W 微粒、新エスタック W

- せき・たん(トローチ等含む) -

エフストリントローチ、エフストリン去たん錠、クールワン去たんソフトカプセル、コデステシントローチ、コデミン G トローチ、ストナ去たんカプセル、セキトローチ、タイムコール去たん錠、タイワケシノールトローチ、テラポニンセキトローチ、ニッシンせき止め顆粒、ノドロップコフ、ベンザブロックトローチ、新エスペナントローチ、新コンタックせき止めダブル持続性、新ブロン液エース、新ルビカッパ

- 胃炎・腹痛・健胃・消化薬 -

アシンノン Z、アシンノン Z 胃腸内服液、アシンノン Z 錠、イノセアワブロック、エビオス錠*、ガスター10、ガスター10 S 錠、ガスター10 内服液、ガスター10(散)、ガストール細粒、ガストール錠、コランチル A 顆粒、サクロン Q、スイマグ、ストマオフ糖衣錠、タナベ胃腸薬ウルソ、パンラクミン錠、プスコパン A 錠、プスコパン M カプセル、プチスコミン、ベッセン H2、ミヤフローラ EX、ミヤリサン U 錠、ミルマグ液、ロミノン三宝 Oz

- 便秘 -

アクアナチュラル便秘薬、カイベール G、カイラックス、コーラック、コーラック坐薬タイプ、スラーリア便秘薬、スルーラックプラス、ピオフェルミン便秘薬、ピコラックス、ピュースルーソフト、ラクトール S、新レシカルボン坐剤 S

- 下痢・整腸薬 -

イノック下痢止め、トメダインコーワフィルム、ペロット下痢止め、ヤクルト BL 整腸薬、ラッパ整腸薬 BF、ロペラマックサット、わかもと整腸薬、強ミヤリサン(錠)、新ピオフェルミン S 細粒、新ピオフェルミン S 錠

- 痔 -

ボラギノール M 軟膏、ボラギノール M 坐剤、レック H 軟膏、レック H 坐剤

- アレルギー -

<内服薬>アレギサル鼻炎薬、アレギトール、アレグラ FX、アレグラ FX ジュニア、アレジオン 10、アレジオン 20、アレルギール錠、エバステル AL、コンタック 600 ファースト、コンタック鼻炎 Z、ザジテン AL 鼻炎カプセル、スカイナー AL 錠、ストナリニガード、ストナリニ Z、タミナス A 錠、ヒストミン鼻炎カプセル Z、ピロット A 錠、ボジナル M 錠、レスタミンコーワ糖衣錠
<点鼻薬>エージーアレルギーカット EX(季節性アレルギー専用)、クールワン鼻スプレー、コンタック鼻炎スプレー(季節性アレルギー専用)、ザジテン AL 鼻炎スプレー α、ナザール α AR(季節性アレルギー専用)、ナザールブロック、ナシピン M スプレー、パブロン点鼻クイック、ベンザ鼻炎スプレー、新ルル点鼻薬

- 吐き気・乗り物酔い -

アネロン「ニスキャップ」、スカイラブソフト、センパア QT、センパア QT<ジュニア>、タケダ乗り物酔い止め、トラベルミン、トラベルミン チュロップぶどう味、トラベルミン チュロップレモン味、トリブラ S 錠、マイトラベル錠、乗り物酔い止め QD 錠

- 不眠 -

グ・スリーP、ドリエル、ネオデイ

- 貧血 -

ファイチ、ヘマニック、マステゲン錠

- 目薬 -

<感染症>サンテ抗菌新目薬、ティアール抗菌目薬、ノアール SG、ノアールワン SG、ユニーサルファ目薬、ロート抗菌目薬 EX、抗菌アイリス使いきり、新サルファ・ルビー
<ビタミン類・疲れ目>アイリス 50、サンテ 40 プラス、サンテドウ、ポボンビュメリ目薬 R、ロートゴールド 40、ノアール小児用
<人口涙液・ドライアイ>New マイティア CL-a、アイブルー CL、アイリス CL-I ネオ、アスパラ目薬モイスト CL、スマイルコンタクトピュア、ソフトサンティア、なみだロートコンタクト
<洗眼薬>アイボン d、アルガード目すっきり洗眼薬 α、スマイルアミノウォッシュ、フレッシュアイ AG、ロート C キューブアミノモイスト
<アレルギー>アイフリーコーワ AL、アイラート AG、アイリス AG ガード、エーゼットアルファ、ザジテン AL 点眼薬、サンテアルフリー新目薬、ノアール P ガード点眼薬、ビュークリア AL クール、フォスター ALG、ロートアルガードクリアブロック Z、ロートアルガードクリアマイルド Z、ロートアルガードプレテック

- うがい薬・口腔内用薬 -

イソジンうがい薬、ウイックス メディケイテッド ドロップ B・C・GA・GF・HL・K・L・O・R・S・U、うがい薬コロロ SP、エフコート、サトウ口内軟膏、セビー AZ のどスプレークール、チョコラ BB 口内炎リベアショット、ネオヨジンうがいぐすり、のどぬるスプレークリアミント a、パブロンうがい薬 AZ、フィニッシュコーワ、ベレックストローチ、ルルのどスプレー、浅田飴のどクールスプレー、明治うがい薬

- 皮膚外用薬 -

<消毒薬>イソジンきず薬、イソジン軟膏、オキシドール、オスパン S、キズアワワ、ヒビスコール S、マキロン S、ムヒのきず液、ラビネット P、新レブメント-FN
<しもやけ・あかぎれ>HP クリーム、アットノン、シモアキュア、ハイスキール、白色ワセリン
<液体絆創膏>コロスキン、サカムケア a
<痛み・炎症・かゆみ>アイスラブゲル、アンメルツヨコヨコ、インサイドテープ、オイラックスソフト、オムニードケトプロフェンパップ、サロメチール FB ゲル α、サロメチールジクロローション、サロンパス EX、ジクロテクト PRO スプレー、ジクロテクト PRO テープ、ゼノールエクサム SX、ゼノールエクサム液ゲル、トクホン チール A、トクホン E、ナボリン フェルピナク 70、パスタタイム FX7、バンテリンコーワゲル LT、バンテリンコーワ液 S、バンテリンコーワ新ミニパット、フェイタス Z α ローション、フェイタスシップ、フェミニーナ軟膏 S、ボルタレン AC ローション、ボルタレン EX スプレー、ボルタレン EX テープ、ムヒ S、ムヒソフト GX、ムヒソフト GX 乳状液、メンフラ A、ユースキン I、ユースキン I ローション、ユースキン N、レスタミンコーワパウダークリーム、ロキソニン S ゲル、ロキソニン S テープ、ロキソニン S パップ、ロバック U、近江兄弟社メンターム EX ソフト
<殺虫薬>キンカン虫よけスプレー P、サラテクト FA、スキンベープミスト SH、ムヒの虫よけムシベール α
<にきび・化膿>エバユースにきび薬、オロナイン H 軟膏、テラマイシン軟膏 a、ドルマイシン軟膏、フレッシングアクネクリーム、ベアアクネクリーム W
<水虫>エーワン L、エーワン L クリーム、エーワン L スプレー、スコルバ EX、ダマリン L、ダマリン S、トークール、ニュータムシチンキゴールド a、バリアクト Hi クリーム、バリアクト Hi 液、ピロエース Z ジェットスプレー、ラマストン MX2、ラマストン MX2 ゲル、ラマストン MX2 液、ラミシール AT クリーム、ラミシール AT 液
<ヘルペス>アクチビア軟膏、アラセナ S、アラセナ S クリーム、ヘルペシアクリーム

※ 薬を購入する際には、名前全体が完全に一致することを確認して下さい。ほとんど同じ名前でも、接頭語として「新」がついたり、接尾語として「錠」や「会社名」、アルファベットがついているだけで、成分の組成が異なることもあります。

(例) ○:ストナアイビー ×:ストナアイビージェル(禁止物質のメチルエフェドリンを含む)

※ 糖質コルチコイドを含む痔疾用薬の注入軟膏・坐剤などを直腸経路で使用することは禁止。

医療用医薬品(医師の処方が必要な薬)使用可能薬例(内用薬・外用薬) 2018 年版

- 熱・痛み(片頭痛含む) -

PL 配合顆粒、SG 配合顆粒、アスピリン、アマージ錠、アルボ錠、イミグラン、インテパン SP、インフリー、オステラック錠、カロナール、キョーリン AP2 配合顆粒、クリノリル錠、ケトプロフェン坐剤、ジソベイン錠、セレコックス錠、ゾーミグ、ソランタール錠、ソレト錠、トワチーム配合顆粒、ナイキサン錠、ナポール SR カプセル、ニフラン錠、ハイベン錠、バキソ、パファリン配合錠 A330、ピーエイ配合錠、フェナゾックスカプセル、フルカムカプセル他、ブルフェン、フロベン、ベオン錠、ベレックス配合顆粒、ボルタレン、ボンタール、マクスルト、ミグシス錠、ミグレニン、モービック錠、ランツジールコーワ錠、リリカカプセル、レリフェン錠、レルパックス錠、ロキソニン、ロルカム錠、小児用ベレックス配合顆粒、幼児用 PL 配合顆粒

- せき・たん -

アストミン、アスピリン、クリアナール、コデインリン酸塩、コルドリン、トクレスパンスールカプセル、ピソルボン錠・細粒、フスタゾール、フラベリック錠、ムコサル、ムコソルバン、ムコダイン、メジコン散・錠、メジコン配合シロップ、レスプレ錠

- 気管支喘息・COPD -※

アイロミールエアゾール、アズマネックスツイストヘラー、アドエア、アトロVENT エロゾル、オーキシスタービューヘイラー、オノン、オルベスコインヘラー、キプレス、キュバールエアゾール、サルタノールインヘラー、シーブリ吸入用カプセル、シムピコートタービューヘイラー、シングルレア、スピリーバ、スロービッド、セラベント、テオドール、テオロング、ネオフィリン原末・錠、バルミコート、フルタイド、フルティフォームエアゾール、ベネトリン吸入液、ユニフィル LA 錠
 ※吸入サルブタモール(24 時間で最大 1600 μ g、12 時間ごとに 800 μ g を超えない)、吸入ホルモテロール(24 時間で最大投与量 54 μ g)、吸入サルメテロール(24 時間で最大 200 μ g)は禁止されない。糖質コルチコイドの吸入使用は禁止されない。

- アレルギー(点鼻薬含む) -

アイピーディ、アゼプチン錠、アタラックス、アレグラ、アレジオン、アレギン散、アレロック、インター、エバステル、クラリチン、クロダミンシロップ、ザイザル、ザジテン、ジキリオンシロップ、ジルテック、ゼスラン、セルテクト、タベジール、タリオン、デザレックス錠、テルギン G、トランサミンカプセル・錠・散・シロップ、ニボラジン、ネオレスタミンコーワ散、パイン錠、ヒベルナ散・糖衣錠、ピラノア、ピレチア、ペリアクチン、ホモクロミン錠、ポララミン錠・散・シロップ・ドライシロップ、リザベン、ルバフィン、レスタミンコーワ錠、レミカットカプセル

- めまい・乗り物酔い -

セファドール、トラベルミン配合錠、ドラマミン錠、メリスロン錠

- 胃炎・胃潰瘍・腹痛・健胃 吐き気・消化 -

アコファイド錠、アシン錠、アズノール、アルサルミン、アルタットカプセル・細粒、アルロイド G、イサロン、ウルグートカプセル、エリーテン錠、オメプラー錠、オメプラゾン錠、カイロック細粒、ガスコン、ガスター錠・D 錠・散、ガストローム顆粒、ガスモチン、ガナト錠、キャベジン U コーワ錠、グリマック配合顆粒、コリオパン、ザンタック錠、セステンカプセル・細粒、セルベックス、ソロン、タガメット錠・細粒、タケキャブ錠、タケブロンカプセル・OD 錠、テルペラン錠、ナウゼリン、ネキシウムカプセル、ノイエル、パリエット錠、プスコパン錠、プリンペラン錠・細粒・シロップ、プロテカジン、プロマック、マーズレン、マーロックス懸濁用配合顆粒、マルファ懸濁用配合顆粒、ムコスタ、合成ケイ酸アルミニウム

- 便秘 -

アミティーザカプセル、カルメロースナトリウム原末「マルイシ」、スナイリンドライシロップ、センノシド錠、チャルドール、テレミンソフト坐薬、バルコーゼ顆粒、ピコダルム顆粒、ブルゼニド錠、マグミット、マグラックス、ラキソベロン、酸化マグネシウム、重質酸化マグネシウム、新レシカルボン坐剤

- 下痢・整腸(過敏性腸症候群を含む) -

アタバニン散、アドソルピン原末、イリボー、エンテロノン-R 散、キョウベリン錠、コロネル、セレキノン、タンナルピン、タンニン酸アルブミン、チアトン、トランコロ錠、ピオフェルミン R、ピオフェルミン錠剤、ピオフェルミン配合散、ピフィゲン散、ポリフル、ミヤ BM、ラックビー-R 散、ラックビー微粒 N、レベニン、ロベミン、乾燥酵母、乾燥酵母エビオス

- 痔 -

ヘモクロンカプセル、ヘモナーゼ、ヘルミチン S 坐剤、ポステリザン(軟膏)、ボラザ G

- 不眠・不安 -

アモバン錠、エバミール錠、コンスタン錠、サイレース錠、セニラン、セルシン錠・散・シロップ、ソラナックス錠、ダルメートカプセル、デパス、ネルボン、ハルシオン錠、プロバリン原末、ブロムワレリル尿素、ベルソムラ錠、ベンザリン、マイスリー錠、メイラックス、ラボナ錠、リーゼ、リスミー錠、ルネスタ錠、レキソタン、レンドルミン、ロゼレム錠、ロヒプノール錠、ロラメット錠、ワイバックス錠

- 感染症 -

<抗菌薬・抗生物質>レーケフレックス、アクロマイシン、アモリン、エリスロシン、エリスロマイシン錠、オーグメンチン配合錠、オラスポア小児用ドライシロップ、オラセフ錠、カナマイシン、クラバモックス小児用配合ドライシロップ、クラリシッド、クラリス、ケフアル、ケフレックス、サワシリン、ジスロマック、ジオキサマイシン錠、セフスパン、セフゾン、セフテムカプセル、センセファリン、トミロン、パセトシン、パナン、パンスポリン T 錠、ピクシリンカプセル・ドライシロップ、ピブラマイシン錠、フロモックス、ホスミン錠・ドライシロップ、ミノマイシン錠・カプセル・顆粒、メリアクト MS、ユナシン、ラリキシリン、ルリッド錠、レダマイシンカプセル、ワイドシリン細粒
 <抗真菌薬>イトリゾールカプセル・内用液、ジフルカンカプセル・ドライシロップ、フロリード、ラミシール錠
 <抗ウイルス薬>アラセナー-A 軟膏・A クリーム、イナビル吸入粉末剤、シンメレル、ゾビラックス錠・顆粒・軟膏・クリーム、タミフル、バルトレックス、ファムビル錠、ラビアクタ、リレンザ

- ワクチン -

インフルエンザ HA ワクチン、ガーダシル、サーバリックス 他

- 卵胞・黄体ホルモン -

ソフィア A 配合錠、ソフィア C 配合錠、デュファストン錠、ノアルテン錠、プラノバル配合錠、プレマリン錠、メノイドコンビパッチ、ヤーズ配合錠、ルナベル配合錠 LD・ULD

- 目薬 -

<感染症>エコリシン、オゼックス、ガチフロ、クラビット、ゲンタロール、ゾビラックス眼軟膏、タリビッド、トスフロ、バクシダール、ベガモックス
 <ビタミン類・疲れ目>FAD、サンコバ、ソフティア、フラビタン
 <アレルギー>アレギサール、アレジオン、インター、ザジテン、トラメラス、パタノール、ベミラストン、リザベン、リボスチン
 <その他>オベガン、オベリード、ジクアス、ニフラン、ヒアレイン、ヒーロン、ムコスタ UD、人工涙液マイティア

- うがい薬・口腔内用薬 -

SP トローチ、アズノール ST、アズノールうがい液、アフタゾロン口腔用軟膏、アフタッチ、イソジンガーグル、ケナログ口腔用軟膏、デキサルチン口腔用軟膏、マズレニンガーグル、含嗽用ハチアズレ

- 皮膚外用薬 -

<抗生物質>アクアチム、アクロマイシン、ゲンタシン、ゼビアックス、ソフラチュール、ダラシン T、テラマイシン、バラマイシン、レダマイシン
 <抗真菌薬>アトラント、クレナフィン、ボレー、メンタックス、ラミシール、ルコナック、ルリコン
 <消炎鎮痛>アドフィード、イドメシコーワ、インサイドパップ、カトレップ、コンベックス、ステイパン、ナパゲルン、ナポール、フルルバン、ボルタレン、ミルタックス、モーラス、ヤクパン、ロキソニン
 <かゆみ・炎症>アンテベート、ダイプロセル、デルモゾール G、ネリゾナ、ベトネベート、マイザー、メサデルム、リドメックスコーワ、リンデロン-DP、リンデロン-V、リンデロン-VG、ロコイド
 <皮膚保護>亜鉛華軟膏、ヒルドイド
 <消毒薬>イソジン、オスパン、チアミール、ネオヨジン、ヒビテン、逆性石ケン

※ 糖質コルチコイドを含む痔疾用薬の注入軟膏・坐剤などを直腸経路で使用することは禁止。

9. よくある質問

(JADA ホームページ: <http://www.realchampion.jp/faq> より転載、一部改変)

公益財団法人 日本アンチ・ドーピング機構

<ドーピングについて>

Q ドーピングとは何ですか？

- A ドーピングとは、スポーツの価値・精神に反する行為です。競技力を高めるために禁止された薬物や方法などを使用する等、全世界的に定められたルールに基づき、厳しく禁止されています。ドーピング検査で禁止物質が検出されれば、治療目的でその物質を使用していた場合でも制裁が課されることもありますので、ルールをよく理解しておきましょう。

Q ドーピングは何故いけないのですか？

- A 全世界で共有されているスポーツ全体のルールです。(1)フェアプレーの精神に反する、(2)アスリートの健康を害する、(3)反社会的行為である、といった、スポーツの価値の根幹を損なう、スポーツに正々堂々と向かうことができない「ずるく」「危険」な行為でもあります。

Q 禁止物質・禁止方法を教えてください

- A 禁止物質・禁止方法は、世界アンチ・ドーピング機構(WADA)の禁止表に掲載されており、次の3つに分類されています。
- I. 常に禁止される物質と方法(競技会(時)および競技会外)
 - II. 競技会(時)に禁止対象となる物質と方法
 - III. 特定競技において禁止される物質
- WADAの禁止表は、毎年1月1日に更新されます。

<検査について>

Q ドーピング検査はどういうものですか？

- A ドーピング検査は尿や血液を採取し、これをWADA認定分析機関で分析します。ドーピング検査には「競技会検査」と「競技会外検査」とがあります。
- 「競技会検査」ではすべての禁止物質と禁止方法が対象となりますが、「競技会外検査」では、禁止表のI.常に禁止される物質と方法(S1.蛋白同化薬、S2.ペプチドホルモン、成長因子、関連物質および模倣物質、S3.ベータ2作用薬、S4.ホルモン調節薬および代謝調節薬、S5.利尿薬および隠蔽薬、M1.血液および血液成分の操作、M2.化学的および物理的操作、M3.遺伝子ドーピング)が対象となります。

Q ドーピング尿検査はどのように行われますか？

- A ドーピング検査は、以下の流れで行なわれます。
- 通告:検査対象者は競技終了後にシャペロンから通告されます。
- 受付:通告されたら、速やかにドーピング検査室に行かなければなりません。検査を拒否するとアンチ・ドーピング規則違反とみなされます。検査室には1人の付き添いが認められます。
- 採尿:採尿カップを選び、同性の検査員の立会いのもとにトイレで採尿します。
- 分注・封印:サンプルキットを選び、尿をA・B二つの検体用ボトルに分注し、封をします。
- 薬物の申告:7日以内に使用した薬物とサプリメントを申告します。
- コメント:検査手続き中に気づいたことがあれば、補足報告書に記入します。
- 署名:公式記録書の記載内容、手続きに問題がなかったかを確認して署名します。アスリート用の写しを大事に保管してください。

Q 競技会外検査とはどういうものですか？

A ドーピングによる不正をより効果的に防ぐため、またアスリートのクリーンさを証明するため、トレーニング期間中などに検査が行われます。対象アスリートより提出された居場所情報などに基づき、事前の通告なしに実施され、採尿等の手続きは競技会検査と基本的に同じです。

Q 検査で陽性になったらどうなりますか？

A A 検体の分析結果に疑わしい所見が見られた場合、アスリート本人に通知が届き、本人が要求すればB 検体の確認分析が行われます。B 検体もA 検体と同じ所見であればアンチ・ドーピング規則違反となり制裁が課せられる可能性があります。なお、違反の認定・制裁内容を決定する前に、聴聞会が開かれ、本人には弁明の機会が与えられます。制裁には成績・記録の抹消、資格停止などがあります。また、アスリート以外にもサポートスタッフなど違反に関与した者に対する制裁が課せられることがあります。

<治療薬の服用について>

Q 治療のため、どうしても禁止物質を使用したいのですが？

A 治療のために禁止物質がどうしても必要な場合には、TUE(治療使用特例)を申請します。(詳細：<http://www.realchampion.jp/download/6>)
所定の用紙(TUE 申請書)に確認書と医療情報を添えて申請し、審査で許可されれば(承認書が送られる)、使用できます。ただし、治療上必要であり、他に治療法がなく、使用しても競技力を高めないものに限定されています。
TUE 申請書類は、JADA の TUE 委員会へ提出します。所属の競技団体または都道府県体育協会を経由して提出することも可能です。
なお、国際大会に参加するアスリートは国際競技連盟などに提出する必要がありますので、所属競技団体に問い合わせてください。

Q ぜん息治療薬の注意点は何か？

A ①吸入サルブタモール、吸入サルメテロール、吸入ホルモテロールおよび糖質コルチコイドの吸入は禁止されていませんので、TUE は不要です。
②「吸入サルブタモール、吸入サルメテロールおよび吸入ホルモテロール」以外の吸入ベータ 2 作用薬を使用する際には、あらかじめ医療情報を添えて、TUE 申請が必要です。
※JADA への提出には JADA のホームページから「気管支喘息治療に関する TUE 申請のためのチェックリスト」をダウンロードし、使用してください。

Q 風邪のときはどうしたらよいですか？

A 禁止物質を含まない薬がありますので、症状に応じて医師から適切な処方を受けてください。その際には、(1)自分がドーピング検査の対象となる可能性があること、(2)禁止物質が含まれていない薬を処方してもらうことを伝えてください。

Q 関節に注射をしたときはどうしたらよいですか？

A 糖質コルチコイドの非全身的使用(関節内注射、関節周囲注射、腱周囲注射、硬膜外注射、皮内注射、吸入)は、禁止されていませんので、TUE は不要です。

Q 治療のために医師から薬を処方されていますが、大丈夫ですか？

A 病気の治療薬にも禁止物質があります。たとえば、(1)糖尿病治療薬のインスリン、(2)ぜん息治療薬の内服薬・吸入薬・貼付薬・注射薬、(3)痛風治療薬のプロベネシド、(4)高血圧治療薬の利尿薬・ベータ遮断薬などです。

処方される薬については主治医からよく説明を受けて、薬物名を記録しておきます。なお製品に関する問い合わせ先は、「薬について問い合わせ」のページを参照、また Global DRO でも検索してみましょう。

Q 病院で点滴(静脈内注入)をしたときはどうしたらよいですか？

A 「静脈内注入(点滴)」という方法と、「注入した薬剤」について確認が必要です。

①「静脈内注入(点滴)」について

静脈内注入および/または静脈内注射で、12時間あたり100mLを超える場合は禁止される。但し、入院*、外科手術、または臨床検査のそれぞれの過程において正当に受ける場合は除きます。

* JADA の日本語訳では「入院」となっていますが、原文(英語)は「in the course of hospital treatments」であり、本邦に当てはめれば「病院(あるいは有床診療所)での治療(入院・外来)」とも受け取れます。TUE 申請に関する事項ですので、詳細は JADA にお問い合わせ下さい。なお、JADA のホームページには、「無床診療所での静脈内注入および/または静脈注射で、12時間あたり計100mLを超える場合は TUE が必要であることに注意してください。」との記載があります。

②「注入(点滴)した薬剤」について

注入(点滴)した薬剤について禁止物質が含まれるか否かを確認してください。

禁止物質が含まれる場合には、その物質に対する TUE 申請が必要です。

Q 花粉症の治療をしたいのですが、どの薬であればドーピングになりませんか？

A ①病院の場合

医師に自分がドーピング検査の対象となる可能性があるため、禁止物質が含まれない薬を処方してもらおう伝えてください。

医師の禁止物質に対する知識が乏しい場合は、「薬剤師会アンチ・ドーピングホットライン」または「スポーツファーマシスト」に問合せてもらえるよう伝えましょう。

②ドラッグストアや薬局の場合

薬に禁止物質が含まれていないか「薬剤師会アンチ・ドーピングホットライン」または「スポーツファーマシスト」に問合せ確認しましょう。

事前にスポーツファーマシストが在籍する薬局を「スポーツファーマシスト検索ページ」で調べておくと、いざという時安心です。

また、Global DRO を活用し、処方してもらった薬や購入した薬の成分を自分で確認しましょう。

Q 大会直前にケガをして、緊急に病院で「糖質コルチコイド」を関節に局所注射(局所使用)し、点滴をしました。どうしたらいいですか？

A 医療記録(カルテ、様式任意)を必ず保存してください。

医療機関における糖質コルチコイドの局所注射(局所使用)は禁止されていませんので、TUE は不要です。

競技会のドーピング検査の結果、糖質コルチコイドが検出された場合には、

(1) JADA が、アスリートに使用状況を問い合わせる。

(2) アスリートは、上記の医療記録を JADA に提出し、局所使用であることを証明する。

(3) JADA が、検出結果がその医療記録と矛盾しないか確認し、局所注射使用かどうかを判断する。

(4) JADA が局所注射使用であると確認した場合、アスリートは違反なしと判断される。

上記(2)において必要となりますので、アスリートは、病院での医療行為を受けた際には、必ず医療記録を残しておきましょう。

Q 薬の使用についての問い合わせ先は？

A 以下のページを参照ください。

10. 問い合わせ対応手順

本書は、使用可能薬を一般用医薬品等・医療用医薬品に分け、さらにそれぞれ薬効群別に細分しており、使用可能薬を探す上で利便性の高いものとなっています。一方、ある医薬品が使用できるのかできないのかは、索引を使うことで手軽に検索することが出来ます。本書の使用に慣れるまでは、下記のような流れでの検索をお勧めします。

選手・コーチ等からドーピング禁止薬に関する質問を受けた場合には、まず本書の『索引(使用可能薬リスト掲載医薬品の一覧表(50音順))』を開き、該当の医薬品名があるかどうかをご確認ください。後発医薬品の場合には、先発品の販売名か一般名で検索して下さい。



索引に該当の医薬品がある場合には、そのページの内容や注意をご確認の上、質問者にご回答下さい。



索引に該当の医薬品がない場合には、本書第2章の『2018年WADA禁止表掲載のドーピング禁止物質の作用と医薬品例』で、該当の医薬品が禁止物質に該当するかどうかをご確認下さい。成分が禁止リストに掲載されていた場合には、使用不可の旨をご回答下さい。

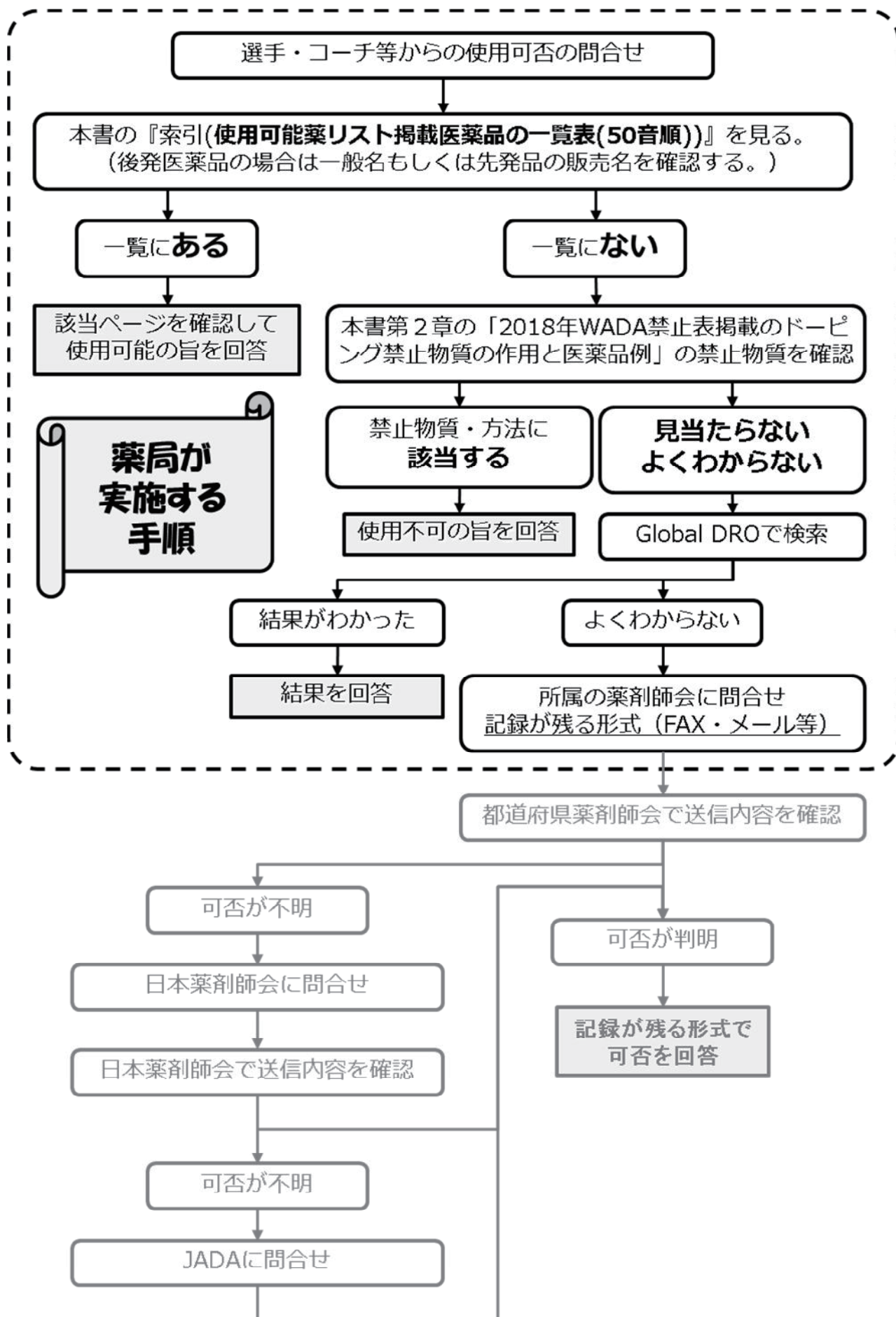


該当の医薬品が索引にも禁止リストにも掲載されていない場合、『薬剤師会ホットライン用問合せ用紙』等を利用して、所属の都道府県薬剤師会ホットライン宛に記録に残る形(FAX・メール等)でお問い合わせ下さい。



お問い合わせ受付後、都道府県薬剤師会は、医薬品の内容を確認して、使用の可否が判明した場合には、出来るだけ速やかにご回答致します。

なお、医薬品の内容によっては、都道府県薬剤師会から、本会、さらに、日本アンチ・ドーピング機構への問合せを実施致します関係上、回答にお時間がかかることがありますので、ご了承下さい。



11. 薬剤師会アンチ・ドーピングホットライン

ドーピングのお問い合わせは、原則として **FAX** で受け付けています。
電話ではお答えできませんので、次ページの専用用紙を FAX 等でお送り下さい。

名称	FAX 番号
日本薬剤師会 アンチ・ドーピング相談窓口	メール (anti-doping@nichiyaku.or.jp)のみ
ほっかいどう・おくすり情報室	011-831-6133
青森県薬剤師会薬事情報センター	017-743-7075
岩手県薬剤師会くすりの情報センター	019-653-4592
宮城県薬剤師会くすりの相談室	022-391-6630
秋田県薬剤師会くすり110番	018-835-2576
山形県薬剤師会薬事情報センター	023-625-3970
福島県薬剤師会薬事情報センター	024-549-2209
茨城県薬剤師会 くすりの相談室	029-306-8040
栃木県薬剤師会薬事情報センター	028-658-9847
群馬県薬剤師会薬事情報センター	027-223-5308
埼玉県薬剤師会情報センター	048-667-5580(H30.9 まで)
	048-827-0063(H30.10 より)
千葉県薬剤師会薬事情報センター	043-247-4402
東京都薬剤師会 薬事情報課	03-3295-2333
神奈川県薬剤師会薬事情報センター	045-751-4460
新潟県薬剤師会薬事情報センター	025-281-7735
富山県薬剤師会 くすり相談	076-442-3308
石川県薬剤師会薬事情報センター	076-231-6721
福井県薬剤師会薬事情報センター	0776-61-6561
山梨県薬剤師会薬事情報センター	055-254-3401
長野県薬剤師会医薬品情報室	0263-34-0075
岐阜県薬剤師会ぎふ薬事情報センター	058-247-5757
静岡県薬剤師会医薬品情報管理センター	054-203-2028
愛知県薬剤師会薬事情報センター	052-971-2889
三重県薬剤師会 薬の相談テレホン	059-225-4728
滋賀県薬剤師会薬事情報センター	077-563-9033
京都府薬剤師会薬事情報センター	075-525-2332
大阪府薬剤師会薬事情報センター	06-6947-5487
兵庫県薬剤師会薬事情報センター	078-341-6099
奈良県薬剤師会薬事情報センター	0742-24-1291
和歌山県薬剤師会薬事情報センター	073-424-3353
鳥取県薬剤師会薬事情報センター	0859-38-5758
島根県薬剤師会情報センター	0852-26-5358
岡山県薬剤師会薬事情報センター	086-294-9056
広島県薬剤師会 薬事情報センター	082-248-1904
山口県薬剤師会	083-924-7704
徳島県薬剤師会薬事情報センター	088-625-5763
香川県薬剤師会営業局県庁前	087-833-2132
愛媛県薬剤師会 おくすり相談窓口	089-921-5353
高知県薬剤師会情報センター	088-820-5010
福岡県薬剤師会 くすりなんでもテレホン	092-281-4104
佐賀県薬剤師会薬事情報センター	0952-23-8941
長崎県薬剤師会 薬相談窓口	095-848-6160
熊本県薬剤師会医薬情報センター	096-285-8248
大分県薬剤師会薬事情報センター	097-544-8060
宮崎県薬剤師会薬事情報センター	0985-29-8127
鹿児島県薬剤師会薬事情報センター	099-257-2516
沖縄県薬剤師会 おくすり相談室	098-963-8937

12. 索引(使用可能薬リスト掲載医薬品の一覧表(50音順))

本ガイドブックに掲載されている医薬品のうち、使用方法を守り正しく使用した場合に使用できる医薬品を50音順に並べたものです(一部、使用方法や投与経路等によっては禁止されるものを含む)。索引の使用に際しましては、以下の点にご注意下さい。

- ◇ 成分名と販売名のどちらでも検索できます。
- ◇ 成分等が変更になっている場合がありますので、索引にある医薬品につきましても必ず該当ページでご確認下さい。

D

dI-カンフル	40, 41
DL-メチオニン	52
dI-メントール	40
d-カンフル	39
d-クロルフェニラミンマレイン酸塩	30, 35, 46, 73

F

FAD 点眼液	65
---------	----

H

HP クリーム	39
---------	----

L

L-アスパラギン酸カリウム	37, 38
L-カルボシステイン	30, 45
L-グルタミン	48, 71
L-ケフレックス	59
l-メントール	36, 39, 40, 41

N

New マイティア CL-a	37
----------------	----

P

PL 配合顆粒	43
---------	----

S

SG 配合顆粒	43, 70
SP トローチ	66, 70

あ

アイスラプゲル	40
アイピーディ	47
アイフリーコーワ AL	38
アイブルーCL	37
アイボン d	37
アイラート AG	38
アイリス 50	37
アイリス AG ガード	38
アイリス CL-I ネオ	37
アイロミールエアゾール	46
亜鉛華軟膏	67
アカルボース	58
アクアチム	66
アクアナチュラル便秘薬	32
アクチビア軟膏	41
アクトス	58
アクロマイシン	60, 71
アクロマイシン軟膏	66
アコチアミド塩酸塩水和物	49
アコファイド錠	49
浅田飴のどクールスプレー	38
亜酸化窒素	69
アシクロビル	41, 61, 65
アジスロマイシン水和物	60, 71
アシタザノラスト水和物	38
アシドフィルス菌	33
アシノン Z	31
アシノン Z 胃腸内服液	31
アシノン Z 錠	31
アシノン錠	48
アジルサルタン	53
アジルバ錠	53
アスコルビン酸	30, 35, 73
アスコルビン酸散	33
アストミン	44
アズノール	48
アズノール ST 錠口腔用	66, 70
アズノールうがい液	66, 70
アスパラ目薬モイスト CL	37
アスピリン	28, 42, 43, 70
アスベリン	44

アスペルギルス産生消化酵素	49
アズマネックスツイストヘラー	46
アズレンスルホン酸ナトリウム	38
アズレンスルホン酸ナトリウム水和物	38, 48, 66, 70, 71
アセトアミノフェン	28, 29, 30, 42, 43, 70
アゼプチン	47
アセメタシン	43, 70
アゼラスチン塩酸塩	33, 47
アゼルニジピン	53
アタバニン散	50
アダパレン	67
アダラート	53
アタラックス	47
アットノン	39
アデカット錠	53
アドエア	46
アドソルビン原末	50, 71
アドナ錠・散	73
アドフィードパップ	67
アトラント	67
アトルバスタチンカルシウム水和物	52
アドレナリン	69
アトロベントエロゾル	45
アナグリプチン	58
アネロン「ニスキャップ」	35
アバプロ錠	53
アビリット錠	55
アフタゾロン口腔用軟膏	66, 70
アフタッチ口腔用貼付剤	66, 70
アブルウェイ錠	59
アフロクアロン	44
アベマイド錠	58
アベロックス錠	60
アマージ錠	43
アマリール	58
アマンタジン塩酸塩	61
アミティーザカプセル	50
アミノ安息香酸エチル	35, 64, 69
アミノフィリン水和物	45
アムロジピンベシル酸塩	53
アムロジン	53
アモキシシリン水和物	59, 71
アモバン錠	55, 72
アモリン	59, 71
アモロルフィン塩酸塩	41
アラセナ-A 軟膏・A クリーム	61
アラセナ S	41
アラセナ S クリーム	41
アラセプリル	53
アラントイン	36, 37, 39, 40
アリナミン F 糖衣錠	73
アリピプラゾール	55
アリルイソプロピルアセチル尿素	43, 70
アルガード目すっきり洗眼薬 α	37
アルギン酸ナトリウム	48
アルサルミン	48, 71
アルジオキサ	48
アルタットカプセル・細粒	48
アルプラゾラム	54, 72

アルボ錠	43, 70
アルミノプロフェン	28
アルロイド G	48
アレギサル点眼液	65
アレギサル鼻炎	34
アレギトール	33
アレグラ	47
アレグラ FX	34
アレジオン	47
アレジオン 10	33
アレジオン 20	33
アレジオン点眼液	65
アレビアチン錠・散	57
アレルギール錠	33
アレルギン散	46, 73
アレロック	47
アログリプチン安息香酸塩	59
アロフト錠	44
アロプリノール	58
アンジュ 21 錠、28 錠	63
アンチピリン	42
アンテベート	67
アンピシリン水和物	59, 71
アンピロキシカム	43
アンフェナクナトリウム水和物	43, 70
アンブロキソール塩酸塩	30, 45
アンメルツヨコヨコ	40

い

イーケプラ錠・ドライシロップ	57
イサロン	48
イソコナゾール硝酸塩	36
イソコロナール R カプセル	54
イソジン	68
イソジンうがい薬	38
イソジンガーゲル液	66, 70
イソジンきず薬	39
イソジン軟膏	39
イソプロピルアンチピリン	43, 70
イソプロピルウノプロストン	65
イソプロピルメチルフェノール	40, 41
イチジク浣腸	32
イトブリド塩酸塩	49
イドメシニコワ	67
イトラコナゾール	61, 71
イトリゾールカプセル・内用液	61, 71
イナビル吸入粉末剤	61
イノセアワンブロック	31
イノック下痢止め	33
イブ	28
イブシロン-アミノカプロン酸	36, 37
イブプロフェン	28, 29, 43, 70
イブプロフェンピコノール	41, 67
イブラグリフロジン L-プロリン	59
イプラトロピウム臭化物水和物	45
イミグラン	43
イミダフェナシン	51
イミダプリル塩酸塩	53

イリボー	50
イルベサルタン	53
イルベタン錠	53
インヴェガ錠	55
インサイドテープ	39
インサイドパップ	67
インターール	47
インターール点眼液	65
インターール点鼻液	64
インテバン SP	43, 70
インドメタシン	39, 43, 67, 70
インドメタシンファルネシル	43
インヒベース錠	53
インフリー	43
インフルエンザ HA ワクチン	62

う

ヴァイクスメディケイテッドドロップ B・C・GA・GF・HL・L・O・R・U	38
うがい薬コロロ SP	38
ウフェナマート	41, 67
ウラリット配合錠	58
ウリアデック錠	58
ウリトス	51
ウルグートカプセル	49, 72
ウルソ	52
ウルソデオキシコール酸	32, 52

え

エイゾプト懸濁性点眼液	65
エージーアレルカット EX〈季節性アレルギー専用〉	34
エースコール錠	53
エーゼットアルファ	38
エーワン L	41
エーワン L クリーム	41
エーワン L スプレー	41
エカベトナトリウム水和物	48
エキセナチド	59
エクア錠	59
エクセグラン	56
エコリシン	65
エシタロプラムシュウ酸塩	56
エソピクロン	55
エストラジオール	63
エソメプラゾール	48
エチゾラム	55, 72
エチニルエストラジオール	62, 63
エトドラク	43, 70
エナラプリルマレイン酸塩	53
エバスチン	34, 47
エバステル	47
エバステル AL	34
エバミール錠	54, 72
エバユースにきび薬	41
エビオス錠	32
エビデュオゲル	67

エピナスチン塩酸塩	33, 47, 65
エピネフリン	69
エビリファイ	55
エフィナコナゾール	67
エフコート	38
エフストリン去たん錠	30
エフストリントローチ	30
エブラジノン塩酸塩	44
エペリゾン塩酸塩	44
エメダスチンフマル酸塩	47
エリーテン錠	49
エリスロシン	60, 71
エリスロマイシン	60, 71
エリスロマイシン錠	60, 71
エリスロマイシンラクトビオン酸塩	65
エルペインコーワ	28
エルトリプタン臭化水素酸塩	43
塩化カリウム	37, 65, 70
塩化カルシウム水和物	70
塩化セチルピリジニウム	30, 31
塩化ナトリウム	37, 65, 70
塩化マグネシウム	70
塩酸セルトラリン	56
塩酸テトラヒドロゾリン	34, 64
塩酸メクリジン	35
塩酸リドカイン	34, 41
塩酸ロペラミド	33
塩酸ロメリジン	43
エンテロノン-R 散	50, 72
エンパグリフロジン	59
エンペシド L	36

お

オイグルコン錠	58
オイラックスクリーム	66
オイラックスソフト	40
近江兄弟社メンターム EX ソフト	40
オーキスタービューヘイラー	46
オーグメンチン配合錠	59
オーソ 777-21 錠	62
オーソ M-21 錠	62
オーラ注歯科用	69
オキサトミド	47
オキサプロジン	43, 70
オキサロール軟膏・ローション	67
オキナゾール L100	36
オキシコナゾール硝酸塩	36, 41
オキシテトラコーン歯科用挿入剤	69
オキシテトラサイクリン塩酸塩	41, 66, 69
オキシドール	39
オキシブチニン塩酸塩	51
オキシメタゾリン塩酸塩	34
オキセサゼイン	31
オクトチアミン	73
オステラック錠	43, 70
オスバン	68
オスバン S	39
オゼックス	60

オゼックス錠	71
オゼックス点眼液	65
オゼノキサシン	66
オセルタミビルリン酸塩	61
オドリック錠	53
オノテース	49, 72
オノブローゼ A	49, 72
オノン	45
オフロキサシン	60, 65, 71
オベガン	65
オベリド	65
オマリグリプチン	59
オムニードケトプロフェンパップ	39
オメプラール錠	48
オメプラゾール	48
オメプラゾン錠	48
オラスポア小児用ドライシロップ	59
オラセフ錠	60, 71
オラドル	70
オランザピン	55
オルベスコインヘラー	46
オルメサルタンメドキシミル	53
オルメテック	53
オロナイン H 軟膏	41
オロパタジン塩酸塩	47, 65
オングリザ錠	59

か

ガーダシル	62
カイペール C	32
カイラックス	32
カイロック細粒	48
過酸化ベンゾイル	67
ガスコン	49
ガスター10	31
ガスター10 S 錠	31
ガスター10 内服液	31
ガスター10(散)	31
ガスター錠・D 錠・散	48
ガストール細粒	31
ガストール錠	31
ガストローム顆粒	48
ガスモチン	49
カゼイ菌	33
ガチフロキサシン水和物	65
ガチフロ点眼液	65
カトレップ	67
カナグリフロジン水和物	59
カナグル錠	59
ガナトン錠	49
カナマイシン	60
カナマイシン一硫酸塩	60
ガバペン	56
ガバペンチン	56
カフェイン	42
カフェイン水和物	30
カプトプリル	53
カプトリル	53

カルスロット錠	53
カルデナリン	53
カルバゾクロムスルホン酸ナトリウム水和物	73
カルバマゼピン	56, 73
カルブロック錠	53
カルブロニウム塩化物水和物	67
カルボキシメチルセルロースナトリウム	49
カルメロースナトリウム	49
カルメロースナトリウム原末「マルイシ」	49
カロナール	42, 70
乾燥酵母	32, 50
乾燥酵母エビオス	50
乾燥水酸化アルミニウムゲル	29, 31, 48
乾燥炭酸ナトリウム	65
含嗽用ハチアズレ顆粒	66, 70
カンデサルタンシレキセチル	53

き

キオフィーバ	29
キサラン点眼液	65
キズアワウ	39
キナプリル塩酸塩	53
キプレス	45
逆性石ケン	68
キャベジン U コーワ錠	48
キューバルエアゾール	46
キョウベリン錠	50
強ミヤリサン(錠)	33
キョーリン AP2 配合顆粒	42, 70
キンカン虫よけスプレーP	41

く

グ・スリーP	35
グアイフェネシン	30
グアヤコールスルホン酸カリウム	29, 30, 31
クールワン去たんソフトカプセル	30
クールワン鼻スプレー	34
クエチアピンフマル酸塩	55
クエン酸	42
クエン酸カリウム	58
クエン酸第一鉄ナトリウム	57
クエン酸ナトリウム水和物	58
組換え沈降 2 価ヒトパピローマウイルス様粒子ワクチン	62
組換え沈降 4 価ヒトパピローマウイルス様粒子ワクチン	62
グラクティブ錠	59
クラバモックス小児用配合ドライシロップ	59
クラビット錠・細粒	60, 71
クラビット点眼液	65
クラブラン酸カリウム	59
クラリシッド	60, 71
クラリス	60, 71
クラリスロマイシン	60, 71
クラリチン	47
グランダキシン	57
クリアナール	45
グリクロピラミド	58

グリコピロニウム臭化物	45
グリコラン錠	58
グリシン	52
グリセリン	32, 50
グリセリン浣腸	32, 50
グリチルリチン酸	33, 36, 37, 38, 40
グリチルリチン酸カリウム	33
グリチルリチン酸二カリウム	36, 37, 38, 39, 41
グリチルリチン酸モノアンモニウム	52
グリチルレチン酸	36, 38, 40, 41
グリチロン配合錠	52
クリノフィブラート	52
クリノリル錠	43
グリベンクラミド	58
グリマック配合顆粒	48
グリメピリド	58
クリンダマイシンリン酸エステル	66
クリンダマイシンリン酸エステル水和物	67
グルコバイ	58
グルコン酸カルシウム水和物	33
グレースビット	60
クレストール	52
クレゾールスルホン酸カリウム	44
クレナフィン爪外用液	67
クレマستنフマル酸塩	46, 73
グレラン・ビット	28
クロザピン	55
クロザリル錠	55
クロタミン	40, 41, 66
クロダミンシロップ	46
クロチアゼパム	55, 72
クロトリマゾール	36
クロナゼパム	56
クロバザム	56
クロフェダノール塩酸塩	44
クロペラスチン	44
クロモグリク酸ナトリウム	34, 38, 47, 64, 65
クロルフェニラミンマレイン酸塩	30, 33, 34, 36, 37, 38, 39, 40, 41, 43, 46, 73
クロルフェネシンカルバミン酸エステル	44
クロルプロパミド	58
クロルヘキシジン塩酸塩	36, 70
クロルヘキシジングルコン酸塩	38, 39, 41, 68

け

結合型エストロゲン	63
ケトチフェンフマル酸塩	33, 34, 38, 47, 64, 65
ケトプロフェン	39, 43, 67, 70
ケトプロフェン坐剤	43, 70
ケナログ口腔用軟膏	66, 70
ケフラール	59, 71
ケフレックス	59, 71
ゲンタシン	66
ゲンタマイシン硫酸塩	65, 66, 67
ゲンタロール点眼液	65

こ

抗菌アイリス使いきり	36
合成ケイ酸アルミニウム	48, 71
合成ヒドロタルサイト	28
コーラック	32
コーラック坐薬タイプ	32
コデインリン酸塩	44
コデインリン酸塩水和物	44
コデステシントローチ	30
コデミン G トローチ	31
こどもパブロン坐薬	29
こどもリングルサット	28
コナン錠	53
コニール錠	53
コハク酸ソリフェナシン	51
コバシル錠	53
コランチル A 顆粒	31
コリオパン	49
コリスチンメタンスルホン酸ナトリウム	65
コリスチン硫酸塩	41
コルドリン	44
コルヒチン	58
コルヒチン錠「タカタ」	58
コロスキ	39
コロネル	50
コンク・アシドフィルス菌末	33
コンク・ピフィズス菌末	33
コンク・フェーカリス菌末	33
コンスタン錠	54, 72
コンタック 600 ファースト	33
コンタックせき止め ST	30
コンタック鼻炎 Z	34
コンタック鼻炎スプレー〈季節性アレルギー専用〉	34
コンドロイチン硫酸エステルナトリウム	37, 38
コンドロイチン硫酸ナトリウム	38
コンベック	67

さ

サーバリックス	62
細菌性脂肪分解酵素	49
ザイザル	47
サイレース錠	55, 72
ザイロリック錠	58
サインバルタカプセル	56
サカムケア a	39
サキサグリプチン水和物	59
酢酸 d- α -トコフェロール	37, 38
酢酸ノルエチステロン	63
サクロン Q	31
ザジテン	47
ザジテン AL 点眼薬	38
ザジテン AL 鼻炎カプセル	33
ザジテン AL 鼻炎スプレー α	34
ザジテン点眼液	65
ザジテン点鼻液	64
サトウ口内軟膏	38

ザナミビル水和物	61
ザファテック錠	59
サラテクト FA	41
サリチルアミド	30, 43
サリチル酸グリコール	40
サリチル酸メチル	40
サリベートエアゾール	70
サルコートカプセル外用	70
サルタノールインヘラー	46
ザルトプロフェン	43, 70
サルブタモール硫酸塩	46
サルメテロールキシナホ酸塩	46
サロメチール FB ゲル α	40
サロメチールジクロローション	40
サロンパス EX	39
サワシリン	59, 71
酸化亜鉛	36, 40
酸化マグネシウム	29, 31, 50, 71
サンコバ点眼液	65
ザンタック錠	48
サンテ 40 プラス	37
サンテアルフリー新目薬	38
サンテ抗菌新目薬	36
サンテドウ	37

し

ジアスターゼ	49, 72
ジアスメン	49, 72
ジアゼパム	55, 72
シアノコバラミン	35, 37, 65, 73
シーブリ吸入用カプセル	45
ジェイゾロフト	56
ジェニナック錠	60
ジオクチルソジウムスルホサクシネート(DSS)	32
歯科用キシロカイン	69
歯科用シタネスト-オクタプレシン	69
ジキリオンシロップ	47
ジクアス点眼液	65
ジクアホルナトリウム	65
シクレソニド	46
ジクロテクト PRO スプレー	40
ジクロテクト PRO テープ	40
ジクロフェナクナトリウム	40, 43, 67, 70
ジサイクロミン塩酸塩	31
ジスロマック	60
ジスロマック錠・SR	71
ジソペイン錠	43, 70
シタグリプチンリン酸塩水和物	59
シタフロキサシン水和物	60
ジドロゲステロン	63
ジヒドロコデインリン酸塩	29, 30
ジフェニドール塩酸塩	47
ジフェニルピラリン塩酸塩	29
ジフェンヒドラミン	39, 40, 41, 66
ジフェンヒドラミン塩酸塩	33, 35, 39, 40, 41, 46, 73
ジフェンヒドラミンサリチル酸塩	35, 47, 70
ジブカイン塩酸塩	39
ジフルカンカプセル・ドライシロップ	61

ジフルコルトロン吉草酸エステル	67
ジフルプレドナート	67
ジプレキサ	55
シプロロキサン錠	60
ジプロフィリン	30, 35, 47
シプロフロキサシン	60
シプロヘプタジン塩酸塩水和物	46, 73
次没食子酸ビスマス	64
シムビコートタービュヘイラー	46
シメチジン	48
ジメチルポリシロキサン	33, 49
シメトリド	42, 70
ジメモルファンリン酸塩	44
ジメンヒドリナート	47
シモアキュア	39
ジャディアンス錠	59
ジャヌビア錠	59
重質酸化マグネシウム	50
酒石酸トルテロジン	51
笑気ガス	69
硝酸イソソルビド	54
小児用バファリン C II	28
小児用ベレックス配合顆粒	43
ジョサマイシン	60, 71
ジョサマイシン錠	60, 71
シラザプリル水和物	53
ジルチアゼム塩酸塩	53
ジルテック	47
シロドシン	51
新エスタック「W」	30
新エスベナントローチ	31
シングレア	45
人工涙液マイティア点眼液	65
新サルファ・ルビー	36
シンバスタチン	52
新ビオフェルミン S 細粒	33
新ビオフェルミン S 錠	33
シンフェーズ T28 錠	62
新ブロン液エース	30
シンメトレル	61
新ルビカップ	30
新ルルエース	30
新ルル点鼻薬	34
新レシカルボン坐剤	50
新レシカルボン坐剤 S	32
シンレスタール	52
新レブメント-FN	39

す

水酸化マグネシウム	32, 48
スイニー錠	58
スイマグ	32
スーグラ錠	59
スカイナーAL 錠	33
スカイラブソフト	35
スキヤンドネスト	69
スキンペープミスト SH	41
スクラルファート水和物	48, 71

スコポラミン臭化水素酸塩水和物	35
スコルバEX	41
スタデルム	67
ステイバンパップ	67
ステーブラ	51
ストナアイビー	29
ストナ去たんカプセル	30
ストナリニ・ガード	33
ストナリニ Z	34
ストマオフ糖衣錠	31
スナイリンドライシロップ	50
スピリーバ	45
スプラタストシル酸塩	47
スポレキサント	55
スマイルアミノウォッシュ	37
スマイルコンタクトピュア	37
スマトリプタンコハク酸塩	43
スリンダク	43
スルーラックプラス	32
スルタミシリントシル酸塩水和物	59
スルピリド	55
スルファメキサゾール	36, 61
スルファメキサゾールナトリウム	36, 37
スロービッド	45

せ

セイブル錠	58
セキトローチ	31
セスデンカプセル・細粒	49
ゼストリル錠	53
ゼスラン	47, 73
セタプリル錠	53
セチリジン塩酸塩	34, 47
セチルピリジニウム塩化物水和物	31, 38, 39, 70
セチルピリジニウム塩化物トローチ	70
セトラキサート塩酸塩	49
セニラン	55, 72
ゼノールエクサム SX	40
ゼノールエクサム液ゲル	40
セバミット	53
ゼビアックスローション	66
セビーAZ のどスプレークール	38
セファクロル	59, 71
セファドール	47
セファレキシム	59, 71
セフィキシム水和物	60
セフォチアムヘキセチル塩酸塩	59
セフカペンピボキシル塩酸塩水和物	60, 71
セフジトレンピボキシル	60, 71
セフジニル	60, 71
セフスパン	60
セフゾン	60, 71
セフチブテン水和物	60
セフテムカプセル	60
セフテラムピボキシル	60, 71
セフポドキシムプロキセチル	60, 71
セフロキサジン水和物	59
セフロキシムアキセチル	60, 71

セルシン錠・散・シロップ	55, 72
セルテクト	47
セルベックス	48
セルラーゼ AP3	49
セルロシン AP	49, 72
セレキノン	50
セレコキシブ	43, 70
セレコックス錠	43, 70
セレニカ R	56
セレベント	46
セロクエル	55
繊維素分解酵素	49
センセファリン	59, 71
センノサイドカルシウム	32
センノシド	32
センノシド A・B	50
センノシド錠	50
センバパ QT	35
センバパ QT<ジュニア>	35

そ

ゾーミグ	43
ゾニサミド	56
ゾピクロン	55, 72
ゾビラックス眼軟膏	65
ゾビラックス錠・顆粒・軟膏・クリーム	61
ソファルコン	49
ソフィア A 配合錠	63
ソフィア C 配合錠	63
ソフティア点眼液	65
ソフトサンティア	37
ソフラチュール貼付剤	66
ソラナックス錠	54, 72
ソランタール錠	43, 70
ゾルピデム酒石酸塩	55
ゾルミトリブタン	43
ソレトン錠	43, 70
ソロン	49

た

タカデアスターゼ N1	32
ダイアルミネート	42, 70
耐性乳酸菌	50, 72
大腸菌死菌浮遊液	64
ダイプロセル	67
タイムコール去たん錠	30
タイレノール A	28
タイワケシノールトローチ	31
タウリン	36, 37, 38
ダオニール錠	58
タガメット錠・細粒	48
タクロリムス水和物	66
タケキャブ錠	48
タケダ乗り物酔い止め	35
タケブロンカプセル・OD 錠	48
タナトリル錠	53

タナベ胃腸薬ウルソ	32
ダパグリフロジン	59
タフマック E	49, 72
タフルプロスト	65
タブロス	65
タベジール	46, 73
ダマリン L	41
ダマリン S	41
タミナス A 錠	33
タミフル	61
タムスロシン塩酸塩	51
ダラシン T	66
タリオン	47
タリビッド	65
タリビッド錠	60, 71
ダルメートカプセル	55, 72
炭酸水素ナトリウム	31, 32, 50, 66, 70, 71
タンナルビン	50
タンニン酸アルブミン	50

ち

チアトン	50
チアマゾール	62
チアミトール	68
チアラミド塩酸塩	43, 70
チウラジール錠	62
チオトロピウム臭化物水和物	45
チキジウム臭化物	50
チザニジン塩酸塩	44
チバセン錠	53
チペピジンヒベンズ酸塩	30, 44
チメピジウム臭化物水和物	49
チモール	40
チャルドール	50
チョコラ BB 口内炎リペアショット	38
チラーヂン S	62
チロナミン錠	62

つ

ツージーQ	32
-------	----

て

デアメリン S 錠	58
ティアレ抗菌目薬	37
ディート	41
ディオバン	53
ディフェリンゲル	67
テオドール	45
テオフィリン	45
テオロング	45
デカリニウム塩化物	66, 70
デキサメタゾン	66, 70
デキサメタゾンプロピオン酸エステル	67
デキサルチン口腔用軟膏	66, 70
デキストロメトlfアン臭化水素酸塩水和物	30, 44

デキストロメトlfアンフェノールフタリン塩	30, 31
テグレートール	56, 73
デザレックス錠	47
デスパコーワ口腔用クリーム	70
デスロラタジン	47
デソゲストレル	62
デタントール	53
テツクール徐放錠	57
テトラサイクリン塩酸塩	60, 66, 69, 71
テトラサイクリン塩酸塩 pasta	69
テトラヒドロゾリン鼻用スプレー	64
デルシトールカプセル	51
テネリア錠	59
テネリグリプチン臭化水素酸塩水和物	59
デパケン	56
デパス	55, 72
テプレノン	48
デプロメール錠	56
デベルザ錠	59
デメチルクロルテトラサイクリン塩酸塩	60, 66
テモカプリル塩酸塩	53
デュアック配合ゲル	67
デュファストン錠	63
デュロキセチン塩酸塩	56
テラ・コートリル軟膏	69
デラプリル塩酸塩	53
テラポニンセキトローチ	31
テラマイシン軟膏(ポリミキシン B 含有)	66
テラマイシン軟膏 a	41
テルギン G	46
テルネリン	44
テルビナフィン塩酸塩	41, 61, 67
テルペラン錠	49
テルミサルタン	53
デルモゾール G	67
テレミンソフト坐薬	50
デンターゲル含嗽用散	70
天然ケイ酸アルミニウム	50, 71

と

糖化菌	50, 72
トークール	41
トーチーム配合顆粒	43
ドキサゾシンメシル酸塩	53
ドキシサイクリン塩酸塩水和物	60, 71
トクホン チール A	40
トクホン E	40
ドグマチール	55
トクレススパンスールカプセル	44
トコフェロール酢酸エステル	35, 36, 37, 40, 64, 73
トスキサシン錠	60, 71
トスフロキサシントシル酸塩水和物	60, 65, 71
トスフロ点眼液	65
トビエース錠	51
トピロキソスタット	58
トピロリック錠	58
トフィソパム	57
トホグリフロジン水和物	59

ドミフェン臭化物	70
トミロン	60, 71
トメダインコーワフィルム	33
トライコア錠	52
トラゼンタ錠	59
トラニラスト	38, 47, 65
トラネキサム酸	47, 73
トラバタンズ点眼液	65
トラベルミン	35
トラベルミン チュロップぶどう味	35
トラベルミン チュロップれもん味	35
トラベルミン配合錠	47
トラボプロスト	65
トラマゾリン塩酸塩	64
トラマゾリン点鼻液	64
ドラマミン錠	47
トラメラス	65
トランコロン錠	50
トランサミンカプセル・錠・散・シロップ	47, 73
トランドラプリル	53
トリアゾラム	54, 72
トリアムシノロンアセトニド	66, 70
ドリエル	35
トリキュラー錠 21、28	63
トリブラ S 錠	35
トリベノシド	63, 64
トリメトプリム	61
トリメブチンマレイン酸塩	50
トルソプト点眼液	65
ドルゾラミド塩酸塩	65
ドルマイシン軟膏	41
トレドミン錠	56
トレラグリプチンコハク酸塩	59
ドロスピレノン	63
ドンベリドン	49

な

ナイキサン錠	43, 70
ナウゼリン	49
ナザール α AR<季節性アレルギー専用>	34
ナザールブロック	34
ナシピン M スプレー	34
ナジフロキサシン	66
ナパゲルン	67
ナファゾリン塩酸塩	34, 39
ナファゾリン硝酸塩	64
ナフトピジル	51
ナブメトン	43
ナプロキセン	43, 70
ナポール	67
ナポール SR カプセル	43
ナボリン フェルビナク 70	40
なみだロートコンタクト	37
ナラトリプタン塩酸塩	43

に

ニカルジピン塩酸塩	53
ニコチン酸アミド	33
ニコチン酸ベンジルエステル	39
ニザチジン	31, 48
ニシモン液小児用	30
ニソルジピン	53
ニッシンせき止め顆粒	30
ニトラゼパム	55, 72
ニトロール錠・R カプセル・スプレー	54
ニトログリセリン	54
ニトロダーム TTS	54
ニトロペン舌下錠	54
ニバジール錠	53
ニフェジピン	53
ニフラン錠	43, 70
ニフラン点眼液	65
ニボラジン	47, 73
乳酸菌	32
ニュータムシチンキゴールド	41
ニューロタン錠	53
尿素	41
ニルバジピン	53

ね

ネオキシテープ	51
ネオスチグミンメチル硫酸塩	37
ネオステリングリーナうがい液	70
ネオデイ	35
ネオファーゲン C 配合錠	52
ネオフィリン原末・錠	45
ネオヨジン	68
ネオヨジンうがいぐすり	38
ネオレスタミンコーワ散	46
ネキシウムカプセル	48
ネシーナ錠	59
ネチコナゾール塩酸塩	67
ネリゾナ	67
ネルボン	55, 72

の

ノアール P ガード点眼液	38
ノアール SG	36
ノアール小児用	37
ノアールワン SG	36
ノアルテン錠	63
ノイエル	49
ノイロビタン配合錠	73
濃厚膵臓性消化酵素	49
濃厚パングレアチン	49
ノーシンアイ頭痛薬	28
ノスカピン	30, 31
ノスカピン塩酸塩水和物	30
ノドロップコフ	31
ノナン酸バニリルアミド	40

ノニル酸ワニリルアミド	40
ノバミン	55
乗り物酔い止め QD 錠	35
ノルエチステロン	62, 63
ノルゲストレル	63
ノルバスク	53
ノルフロキサシン	60, 65
ノルレボ錠	63

は

バイエッタ	59
バイエルアスピリン	28
ハイシー顆粒	73
ハイスキール	39
バイナス錠	47
ハイペン錠	43, 70
バイミカード錠	53
パキシル	56
パキソ	43
バクシダール錠	60
バクシダール点眼液	65
白色ワセリン	39
バクタ	61
バクトラミン配合錠・配合顆粒	61
バシトラシン	41, 66
パスタタイム FX7	40
パセトシン	59, 71
パソレーターテープ	54
パタノール点眼液	65
ハッカ油	40
パップフォー	51
パナン	60, 71
パファリン A	28
パファリン EX	29
パファリン配合錠 A330	42, 70
パファリンルナ J	28
パブロン S ゴールド W 錠	30
パブロン S ゴールド W 微粒	30
パブロンうがい薬 AZ	38
パブロン点鼻クイック	34
バラシクロビル塩酸塩	61
パラセタモール	42, 70
バラマイシン軟膏	66
バリアクト Hi 液	41
バリアクト Hi クリーム	41
パリエット錠	48
ハリケイン	69
パリペリドン	55
バルコーゼ顆粒	49
バルサルタン	53
ハルシオン錠	54, 72
バルトレックス	61
ハルナール D 錠	51
バルニジピン塩酸塩	53
バルプロ酸ナトリウム	56
パルミコート	46
パロキセチン塩酸塩水和物	56
パンクレアチン	49, 72

パンスポリン T 錠	59
パンテノール	37, 40
バンテリンコーワ液 S	39
バンテリンコーワゲル LT	39
バンテリンコーワ新ミニパット	39
パンラクミン錠	32

ひ

ヒアルロン酸ナトリウム	65
ヒアレイン	65
ピーエイ配合錠	43
ビーゾカイン歯科用ゼリー	69
ヒーロン	65
ピオグリタゾン塩酸塩	58
ピオチアスターゼ	31
ピオチアスターゼ 2000	31
ピオチン	32
ピオフェルミン R	50, 72
ピオフェルミン錠剤	50, 72
ピオフェルミン配合散	50, 72
ピオフェルミン便秘薬	32
ビクシリンカプセル・ドライシロップ	59, 71
ビクトーザ	59
ピコスルファートナトリウム水和物	32, 50
ピコダラム顆粒	50
ピコラックス	32
ピサコジル	32, 50
ヒストミン鼻炎カプセル Z	33
ピソルボン錠・細粒	45
ピタバスタチンカルシウム水和物	52
ビタミン B6	38
ビタミン E 酢酸エステル	40
ビタミン E 酢酸エステル	39, 40
ビタミン E 酢酸エステル	40
ビダラビン	41, 61
ヒダントール	57
ビデュリオン	59
ビドキサール錠	73
ヒドロキシエチルセルロース	37
ヒドロキシジン	47
ヒドロコルチゾン	69
ヒドロコルチゾン酢酸エステル	70
ヒドロコルチゾン酪酸エステル	67
ヒノキチオール	70
ヒノポロン口腔用軟膏	70
ヒビスコール S	39
ヒビテン	68
ビフィズゲン散	50, 72
ビフィズス菌	32, 33, 50, 72
ビブラマイシン錠	60, 71
ヒプロメロース	37
ヒベルナ散・糖衣錠	47
ヒポカカプセル	53
ビホナゾール	41
ビュークリア AL クール	38
ビュースルー・ソフト	32
ピラスチン	47
ピラノア	47

ピリドキサルリン酸エステル水和物	73
ピリドキシン塩酸塩	33, 35, 36, 37, 73
ビルダグリプチン	59
ヒルドイド	67
ピレチア	47
ピレンゼピン塩酸塩水和物	31
ピロエース Z ジェットスプレー	41
ピロキシカム	43
ピロキシリン	39
ヒロダーゼ	49
ピロット A 錠	33

ふ

ファイチ	35
ファボワール錠 21、28	62
ファムシクロビル	61
ファムビル錠	61
ファモチジン	31, 48
フィニッシュコーワ	38
フェイタス Z α ローション	40
フェイタスシップ	40
フェキソフェナジン塩酸塩	34, 47
フェソテロジンフマル酸塩	51
フェナゾックスカプセル	43, 70
フェントイン	57
フェノバル	57
フェノバルピタール	57
フェノバルピタールナトリウム	57
フェノフィブラート	52
フェブキソスタット	58
フェブリック錠	58
フェミニーナ 腔カンジダ錠	36
フェミニーナ軟膏 S	40
フェリプレシン	69
フェルピナク	40, 67
フェルムカプセル	57
フェロ・グラデュメット錠	57
フェロミア	57
フォシーガ錠	59
フォスターALG	38
ブスコパン A 錠	31
ブスコパン M カプセル	31
ブスコパン錠	49
フスタゾール	44
ブチスコミン	31
ブチルスコポラミン臭化物	28, 31, 49
フッ化ナトリウム	38
ブデソニド	46
ブテナフィン塩酸塩	41, 67
ブドウ糖	37
ブドステイン	45
ブトロピウム臭化物	49
ブナゾシン塩酸塩	53
フマル酸第一鉄	57
フラジオマイシン硫酸塩	66, 70
プラゾシン塩酸塩	53
ブラダロン	51
プラノバル配合錠	63

プラノプロフェン	38, 43, 65, 70
プラバスタチンナトリウム	52
フラビタン	65, 73
フラビンアデニンジヌクレオチドナトリウム	37, 65, 73
フラベリック錠	44
フラボキサート塩酸塩	51
フランドル	54
ブランルカスト水和物	45
フリバス	51
プリピナ液	64
プリンゾラミド	65
プリンペラン錠・細粒・シロップ	49
フルカムカプセル	43
フルコナゾール	61
フルスルチアミン	73
プルゼニド錠	50
フルタイド	46
フルチカゾンプロピオン酸エステル	46, 64
フルティフォームエアゾール	46
フルナーゼ	64
フルニトラゼパム	55, 72
フルバスタチンナトリウム	52
ブルフェン	43, 70
フルボキサミンマレイン酸塩	56
フルラゼパム塩酸塩	55, 72
フルルバンパップ	67
フルルビプロフェン	43, 67, 70
プレガバリン	43
フレッシュアイ AG	37
フレッシュアクネクリーム	41
プレドニゾン吉草酸エステル酢酸エステル	67
プレマリン錠	63
プレラン錠	53
プロクロルペラジン	55
フロジン外用液	67
プロチゾラム	54, 72
プロテカジン	48
プロトピック軟膏	66
プロナンセリン	56
プロバジール錠	62
プロバリン原末	55, 72
プロピトカイン塩酸塩	69
プロピベリン塩酸塩	51
プロピルチオウラシル	62
プロブコール	52
プロプレス錠	53
フロベン	43, 70
プロマゼパム	55, 72
プロマック	48
ブロムヘキシン塩酸塩	30, 45
ブロムワレリル尿素	55, 72
プロメタジン	47
プロメタジンメチレンジサリチル酸塩	43
プロメライン	64
フロモックス	60, 71
ブロモバレリル尿素	55, 72
フロリード	61
フロリードゲル	71
フロリズム	35

へ

ペアアクネクリーム W	41
ペイسن	58
ペオン錠	43, 70
ベガモックス点眼液	65
ベクロメタゾンプロピオン酸エステル	34, 46, 70
ベザトール SR 錠	52
ベザフィブラート	52
ベザリップ錠	52
ベシカム	67
ベシケア	51
ベタヒスチンメシル酸塩	47
ベタメタゾン吉草酸エステル	67
ベタメタゾンジプロピオン酸エステル	67
ベタメタゾン酪酸エステルプロピオン酸エステル	67
ベッセン H2	31
ベトネベート	67
ベナゼプリル塩酸塩	53
ベニジピン塩酸塩	53
ベネキサート塩酸塩ベータデクス	49, 72
ベネトリン吸入液	46
ヘパリン類似物質	39, 67
ベビオゲル	67
ベポタスチンベシル酸塩	47
ヘマニック	35
ペミラストン点眼液	65
ペミロラストカリウム	34, 38, 65
ヘモクロンカプセル	63
ヘモナーゼ配合錠	64
ペラミビル水和物	61
ペリアクチン	46, 73
ペリオクリン歯科用軟膏	69
ペリオフィール歯科用軟膏	69
ベリチーム配合顆粒	49, 72
ペリンドプリルエルブミン	53
ペルジピン錠・散・LA カプセル	53
ベルソムラ錠	55
ヘルベシアクリーム	41
ヘルベッサ錠・R カプセル	53
ベルベリン塩化物水和物	50
ヘルミチン S 坐剤	64
ペレックストローチ	38
ペレックス配合顆粒	43
ペロスピロン塩酸塩	56
ペロット下痢止め	33
ベンザ鼻炎スプレー	34
ベンザブロケットローチ	31
ベンザリン	55, 72
ベンザルコニウム塩化物	34, 39, 41, 68, 70
ベンズブロマロン	58
ベンゼトニウム塩化物	34, 39, 70
ペントキシベリンクエン酸塩	30, 44
ペントバルビタールカルシウム	55, 72
ベンプロベリンリン酸塩	44

ほ

ホウ酸	65
ボグリボース	58
ポジナール M 錠	33
ボステリザン(軟膏)	64
ホスホマイシシカルシウム水和物	60
ホスミン錠・ドライシロップ	60
ボノプラザン	48
ポビドンヨード	38, 39, 66, 68, 70
ポポンピュメリ目薬 R	37
ホモクロミン錠	47, 73
ホモクロルシクリジン塩酸塩	47, 73
ポラキス錠	51
ボラギノール M 坐剤	36
ボラギノール M 軟膏	36
ボラザ G	64
ポラプレジック	48
ポララミン錠・散・シロップ・ドライシロップ	46, 73
ポリカルボフィルカルシウム	50
ポリトーゼ	49, 72
ポリパーゼ	49, 72
ポリフル	50
ポリミキシシ B 硫酸塩	41, 66
ポルトレン	43, 67, 70
ポルトレン AC ローション	40
ポルトレン EX スプレー	40
ポルトレン EX テープ	40
ホルモテロールフマル酸塩水和物	46
ボレー	67
ポンタール	43, 70
ボンラーゼ	49, 72

ま

マーズレン	48, 71
マーベロン 21, 28	62
マーロックス懸濁用配合顆粒	48
マイザー	67
マイスタン	56
マイスリー錠	55
マイトラベル錠	35
マキサカルシトール	67
マキロン S	39
マクサルト	43
マグミット	50
マグラックス	50
マシチゲン錠	35
マズレニンガーゲル散	66, 70
マニジピン塩酸塩	53
マミターゼ	49
マリゼブ錠	59
マルファ懸濁用配合顆粒	48
マレイン酸フェニラミン	35

み

ミオコールスプレー	54
-----------	----

ミオナール	44
ミカルディス錠	53
ミグシス錠	43
ミグリトール	58
ミグレニン	42
ミコナゾール	61, 71
ミコナゾール硝酸塩	36, 41
ミニプレス錠	53
ミノキシジル	41
ミノサイクリン塩酸塩	60, 69, 71
ミノマイシン錠・カプセル・顆粒	60, 71
ミヤ BM	50, 72
宮入菌 (酪酸菌)末	32, 33
ミヤリサン U 錠	32
ミリステープ	54
ミルタザピン	56
ミルタックスパップ	67
ミルナシブラン塩酸塩	56
ミルマグ液	32

む

ムイロジン細粒	58
ムコサール	45
ムコスタ	48
ムコスタ点眼液 UD	65
ムコソルバン	45
ムコダイン	45
無水カフェイン	29, 30, 35, 42, 43, 70
無水リン酸二水素ナトリウム	32, 50
ムヒ S	40
ムヒソフト GX	40
ムヒソフト GX 乳状液	40
ムヒのきず液	39
ムヒの虫よけムシペール α	41

め

メイアクト MS	60, 71
メイラックス	55, 72
メキタジン	33, 47, 73
メサデルム	67
メジコン散・錠	44
メジコン配合シロップ	44
メシル酸ガレノキサシン水和物	60
メストラノール	63
メタケイ酸アルミン酸マグネシウム	31
メチルメチオニンスルホニウムクロリド	48
メデイトリート	36
メデイトリートクリーム	36
メグルコ錠	58
メクロプラミド	49
メホルミン塩酸塩	58
メノエイドコンビパッチ	63
メバロチン	52
メピパカイン塩酸塩	69
メフェナム酸	43, 70
メペンゾラート臭化物	50

メリスロン錠	47
メルカゾール錠	62
メロキシカム	43
メンソレータムフレディ CC クリーム	36
メンソレータムフレディ CC 膾錠	36
メンタックス	67
メンフラ A	40

も

モービック錠	43
モーラス	67
モキシフロキサシン塩酸塩	60, 65
モサプリドクエン酸塩水和物	49
モフェブラク	43, 70
モメタゾンフランカルボン酸エステル	46
モルシン	49, 72
モンテルカストナトリウム	45

や

ヤーズ配合錠	63
ヤクバンテープ	67
ヤクルト BL 整腸薬	33

ゆ

ユースキン I	40
ユースキン I ローション	40
ユースキン N	40
有孢子性乳酸菌(ラクボン原末)	32
ユナシン	59
ユニーサルファ目薬	36
ユニフィル LA 錠	45
ユニペイン L	29
ユベラ	73
ユリーフ	51
ユリノーム錠	58

よ

葉酸	35
幼児用 PL 配合顆粒	43
溶性ピロリン酸第二鉄	35

ら

ラキソベロン	50
酪酸菌	50, 72
ラクトール S	32
ラクトミン	32, 33, 50, 72
ラタノプロスト	65
ラックビー-R 散	50, 72
ラックビー-微粒 N	50, 72
ラッパ整腸薬 BF	33
ラニチジン塩酸塩	48
ラニナミビルオクタン酸エステル水和物	61

ラノコナゾール	41
ラピアクタ	61
ラビネット P	39
ラフチジン	48
ラベプラゾールナトリウム	48
ラベルフィーユ 21 錠、28 錠	63
ラボナ錠	55, 72
ラマストン MX2	41
ラマストン MX2 液	41
ラマストン MX2 ゲル	41
ラマトロバン	47
ラミクタール	57
ラミシール	67
ラミシール AT 液	41
ラミシール AT クリーム	41
ラミシール錠	61
ラメルテオン	55
ラモセトロン塩酸塩	50
ラモトリギン	57
ラリキシ	59, 71
ランソプラゾール	48
ランツジールコーワ錠	43, 70
ランドセン	56

り

リアップ	41
リーゼ	55, 72
リオチロニンナトリウム	62
リキシセナチド	59
リクスミア	59
リザトリプタン安息香酸塩	43
リザベン	47
リザベン点眼液	65
リシノプリル水和物	53
リスパダール	56
リスベリドン	56
リスミー錠	54, 72
リゾチーム塩酸塩	30
リドカイン	34, 36, 40, 41, 64, 69
リドメックスコーワ	67
リナグリプチン	59
リパーゼ A	49
リバロ	52
リピディル錠	52
リピトール錠	52
リフレックス錠	56
リポール	58
リボクリン錠	52
リボスチン点眼液	65
リボトリール	56
リポバス錠	52
リボフラビン	30, 33, 73
硫酸鉄	57
リラゲルチド	59
リリカカプセル	43
リルマザホン塩酸塩水和物	54, 72
リレンザ	61
リングルアイビー α 200	28

リン酸水素ナトリウム水和物	65
リン酸ニカリウム	70
リン酸ピリドキサル	33
リンデロン-DP	67
リンデロン-V	67
リンデロン-VG	67
リンラキサー錠	44

る

ルーラン錠	56
ルコナック爪外用液	67
ルセオグリフロジン水和物	59
ルセフィ錠	59
ルナベル配合錠 LD、ULD	63
ルネスタ錠	55
ルパタジンフマル酸塩	47
ルパフィン	47
ルピアル坐剤	57
ルビプロストン	50
ルボックス錠	56
ルミフェン	28
ルリコナゾール	67
ルリコン	67
ルリッド錠	60, 71
ルルのどスプレー	38

れ

レキソタン	55, 72
レクサプロ錠	56
レスキュラ点眼液	65
レスタミンコーワクリーム	66
レスタミンコーワ錠	46, 73
レスタミンコーワ糖衣錠	33
レスタミンコーワパウダークリーム	40
レスプレン錠	44
レダマイシンカプセル	60
レダマイシン軟膏	66
レック H 坐剤	36
レック H 軟膏	36
レニベース錠	53
レバミピド	48, 65
レベチラセタム	57
レベニン	50, 72
レボカバステン塩酸塩	65
レボセチリジン塩酸塩	47
レボチロキシナトリウム水和物	62
レボノルゲストレル	63
レボフロキサシン水和物	60, 65, 71
レミカットカプセル	47
レメロン錠	56
レリフェン錠	43
レルパックス錠	43
レンドルミン	54, 72

ろ

ローコール錠	52
ロートCキューブアミノモイスト	38
ロートアルガードクリアブロックZ	38
ロートアルガードクリアマイルドZ	38
ロートアルガードプレテクト	38
ロート抗菌目薬EX	37
ロートゴールド40	37
ロキサチジン酢酸エステル塩酸塩	31, 48
ロキシスロマイシン	60, 71
ロキソニン	43, 67, 70
ロキソニンS	29
ロキソニンSゲル	40
ロキソニンSテープ	40
ロキソニンSパップ	40
ロキソニンSプラス	29
ロキソプロフェンナトリウム水和物	29, 40, 43, 67, 70
ロコイド	67
ロサルタンカリウム	53
ロスバスタチンカルシウム	52
ロゼレム錠	55
ロナセン	56

ロバックU	41
ロヒプノール錠	55, 72
ロフラゼブ酸エチル	55, 72
ロペミン	50
ロペラマックサット	33
ロペラミド塩酸塩	50
ロミノン三宝 Oz	31
ロラゼパム	55, 72
ロラタジン	47
ロラメット錠	54, 72
ロルカム錠	43, 70
ロルノキシカム	43, 70
ロルメタゼパム	54, 72
ロレルコ	52
ロンゲス錠	53

わ

ワイドシリン細粒	59, 71
ワイパックス錠	55, 72
わかもと整腸薬	33
ワコビタール坐剤	57

薬剤師のためのアンチ・ドーピングガイドブック 2018 年版

2018 年 6 月 1 日 発行

著 者

日本薬剤師会 アンチ・ドーピング委員会

石井 甲一、亀井 美和子、村松 章伊、明石 文吾

足永 貴義、岩倉 ひろみ、上田 泰之、小沼 祐之、笠師 久美子、

杉本 幸枝、七嶋 和孝、原 博、本田 昭二、山下 真経、山本 将之、大石 順子(WG 委員)

日本スポーツ協会 スポーツ医・科学専門委員会 アンチ・ドーピング部会

川原 貴、赤間 高雄、東 宏一郎、伊藤 静夫、植木 眞琴、大石 順子、

小杉 義幸、向井 直樹、渡辺 一夫、西田 晴之、青野 博、山田 早智子

協 力

福井県薬剤師会

静岡県薬剤師会 埼玉県薬剤師会 岡山県薬剤師会 兵庫県薬剤師会

秋田県薬剤師会 大分県薬剤師会 新潟県薬剤師会 千葉県薬剤師会

山口県薬剤師会 岐阜県薬剤師会 東京都薬剤師会 長崎県薬剤師会

和歌山県薬剤師会 岩手県薬剤師会 愛媛県薬剤師会

編 集・発 行 日本薬剤師会

〒160-8389 東京都新宿区四谷三丁目 3-1 四谷安田ビル 7 階

電 話 03(3353)1170 FAX 03(3353)6270

E-mail anti-doping@nichiyaku.or.jp

印 刷 興和印刷株式会社
